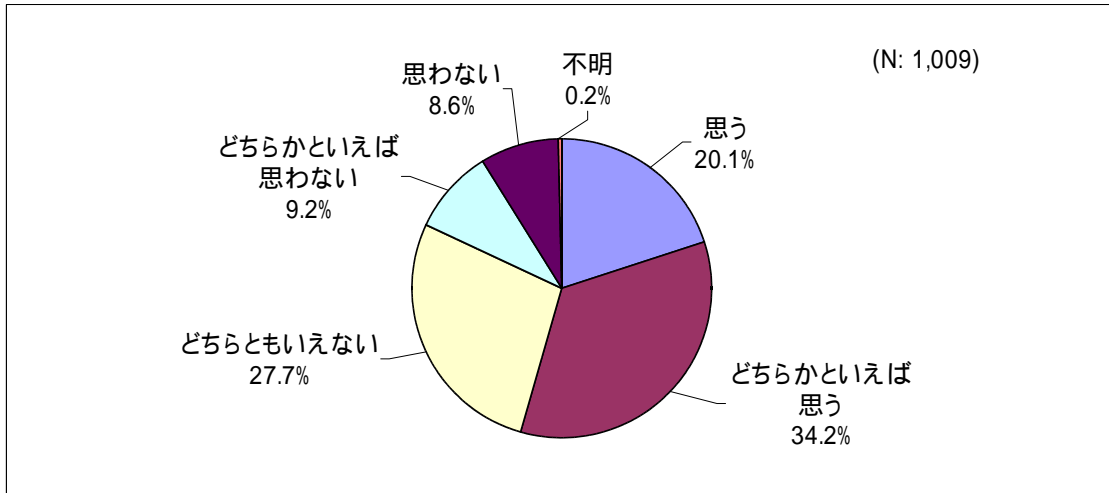


Q1：先生は、あなたのことをわかっているか（SA）

【図表1 先生は、あなたのことをわかっているか】



[調査結果]

中学生、高校生に対して「先生はあなたのことを、わかってくれているか」と聞いた。

全体では、「思う」(20.1%)と「どちらかといえば思う」(34.2%)を合わせた回答を「理解意向」とし、「どちらかといえば思わない」(9.2%)と「思わない」(8.6%)を合わせた回答を「否理解意向」とすると「理解意向」(54.3%)が「否理解意向」(17.8%)を上回り、「その差」(「理解意向」 - 「否理解意向」)は36.5%であった。

男女年齢層別にみると、各男女年齢層において「理解意向」が「否理解意向」を上回り、「その差」は12歳～14歳男性において51.9%と最も高く、15歳～17歳女性において21.0%と最も低くなっている。(図表1- )

【図表1- 先生は、あなたのことをわかっているか 男女別年齢層別】(単位：%)

	思う	どちらかとい えば思う	どちらともい えない	どちらかとい えば思わない	思わない	理解 意向	否理解 意向	その差
全 体	20.1	34.2	27.7	9.2	8.6	54.3	17.8	36.5
12歳～14歳男性	28.4	35.8	23.5	7.8	4.5	64.2	12.3	51.9
15歳～17歳男性	17.2	36.0	29.5	6.5	10.0	53.2	16.5	36.7
12歳～14歳女性	25.6	31.1	24.4	10.5	8.4	56.7	18.9	37.8
15歳～17歳女性	10.5	33.7	32.6	12.0	11.2	44.2	23.2	21.0

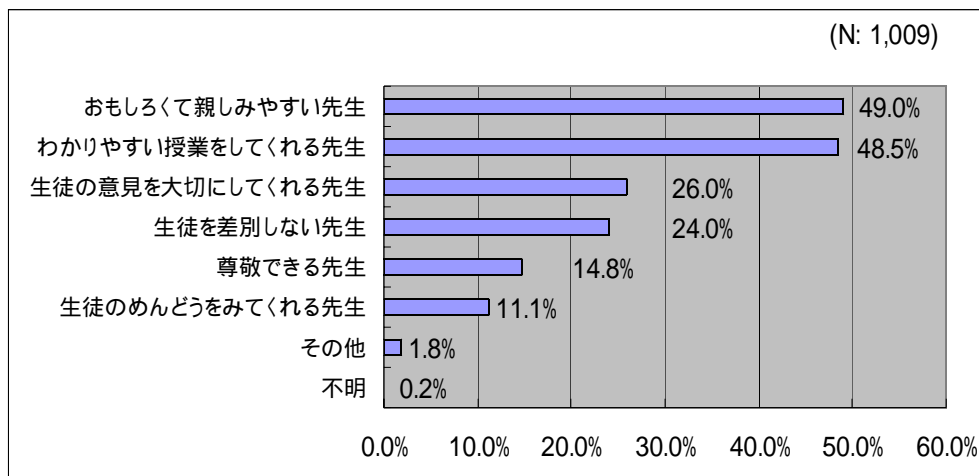
参考：前回調査においても、全体では「思う」が「思わない」を上回っている。  
(図表1- )

【図表1- 先生はあなたのことをわかっているか】(単位：%)

前回調査	思う	思わない	どちらともいえない
全 体	16.7	11.8	35.2
12歳～14歳男性	27.8	9.8	25.2
15歳～17歳男性	11.1	15.4	37.9
12歳～14歳女性	19.1	8.3	35.7
15歳～17歳女性	9.7	13.3	41.5

Q 2 : どんな先生に教わりたいか ( M A )

【図表 2 どんな先生に教わりたいか】



[調査結果]

中学生、高校生に対して「どんな先生に教わりたいか」と聞いた。

全体では、「おもしろくて親しみやすい先生」(49.0%)が最も多く、以下、「わかりやすい授業をしてくれる先生」(48.5%)、「生徒の意見を大切にしてくれる先生」(26.0%)と続いている。

男女年齢層別にみると、図表 2-i のとおりである。12 歳～14 歳男性は、全体と比較して「おもしろくて親しみやすい先生」の割合が高くなっている。また、12 歳～14 歳女性は、全体と比較して「生徒を差別しない先生」の割合が高く、「尊敬できる先生」の割合が低くなっている。

【図表 2-i どんな先生に教わりたいか 男女年齢層別】(単位: %)

	おもしろくて親しみやすい先生	わかりやすい授業をしてくれる先生	生徒の意見を大切にしてくれる先生	生徒を差別しない先生	尊敬できる先生	生徒のめんどろをみてる先生	その他
全 体	49.0	48.5	26.0	24.0	14.8	11.1	1.8
12歳～14歳男性	58.4	48.1	18.1	21.4	17.3	9.5	1.2
15歳～17歳男性	42.1	46.0	23.8	15.7	18.8	14.9	1.5
12歳～14歳女性	49.2	50.4	30.7	36.6	7.1	8.4	2.5
15歳～17歳女性	46.8	49.4	31.1	23.2	15.4	11.2	1.9

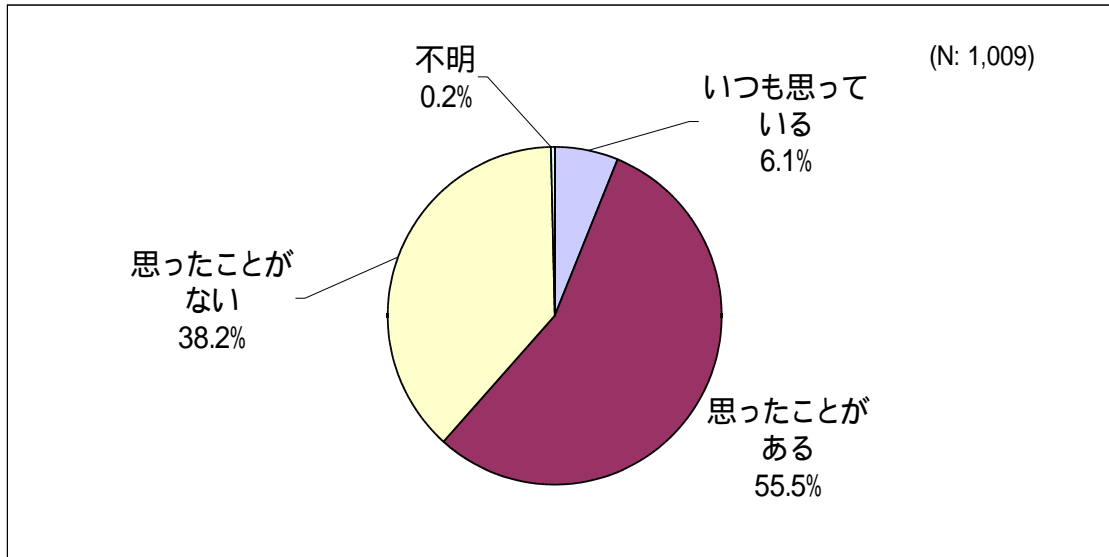
網掛けは、全体と比較して有意差のあるもの

【図表 2- どんな先生に教わりたいか 前回調査】(単位: %)

	おもしろくて親しみやすい先生	わかりやすい授業をしてくれる先生	生徒の意見を大切にしてくれる先生	生徒を差別しない先生	尊敬できる先生	生徒のめんどろをみてる先生	その他
全 体	51.7	40.0	32.7	24.2	12.1	7.8	1.9
12歳～14歳男性	57.3	43.2	23.9	16.7	8.1	10.7	2.1
15歳～17歳男性	43.5	42.7	27.7	17.8	17.4	10.3	2.0
12歳～14歳女性	53.1	33.6	45.2	34.0	10.0	4.1	3.3
15歳～17歳女性	53.6	40.3	33.9	28.2	12.5	6.0	0.4

Q3：学校に行きたくないと思ったことがあるか（SA）

【図表3 学校に行きたくないと思ったことがあるか】



[調査結果]

中学生、高校生に対して「学校に行きたくないと思ったことがあるか」と聞いた。

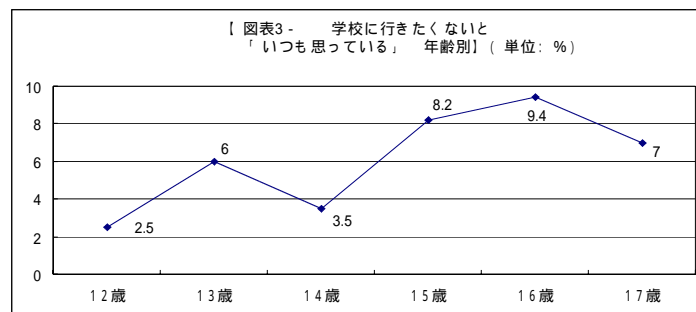
全体では、「いつも思っている」

【図表3-i 学校に行きたくないと思った

ことがあるか 男女年齢別】 (単位: %)

(6.1%)と「思ったことがある」(55.5%)を合わせた回答を「不登校意向」とし、「思ったことがない」(38.2%)を「登校意向」とすると、「不登校意向」(61.6%)が、「登校意向」が上回っている。男女年齢層別にみると、「不登校意向」は、12歳～14歳男性において低く、15歳～17歳女性において高くなっている。(図表3- )「いつも思っている」割合は、高校生年齢である15歳以降が中学生年齢に比べ高くなっている(図表3- )

	いつも思っている	思ったことがある	思ったことがない(登校意向)	不登校意向
全 体	6.1	55.5	38.2	61.6
12歳～14歳男性	4.5	43.2	52.3	47.7
15歳～17歳男性	7.3	57.5	34.5	64.8
12歳～14歳女性	3.4	55.0	41.6	58.4
15歳～17歳女性	9.0	65.2	25.8	74.2

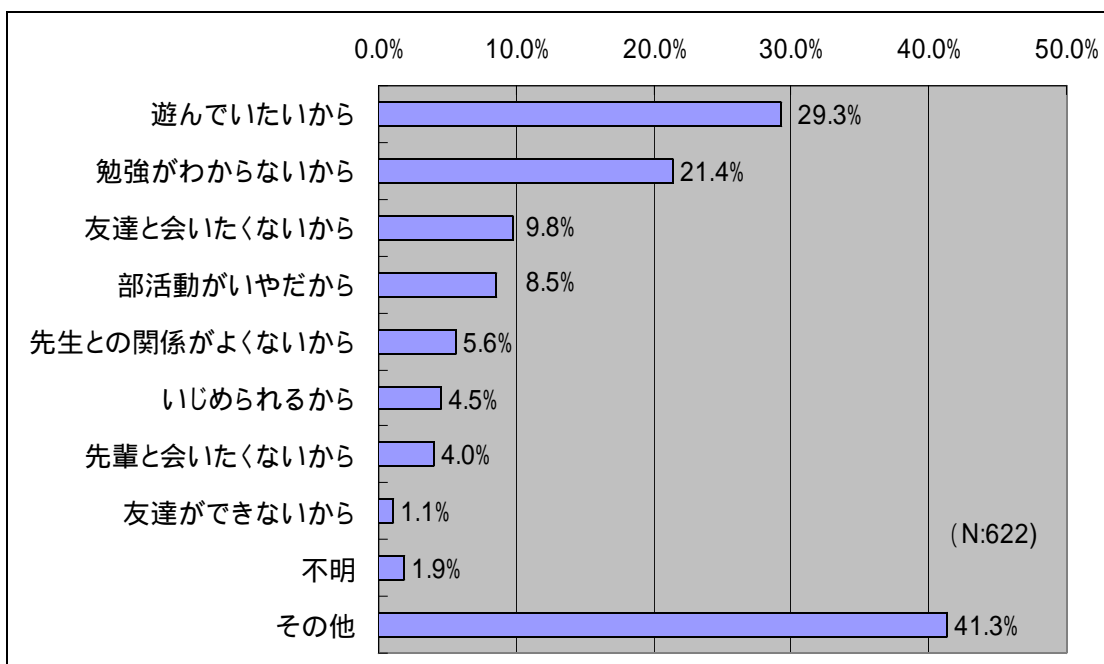


参考：前回調査では、今回調査と同様「ある」は中学生において低く、高校生女子において高くなっている。

	「ある」	「ない」
全 体	66.9	32.9
12歳～14歳男性	48.7	50.4
15歳～17歳男性	71.6	28.5
12歳～14歳女性	67.6	32.0
15歳～17歳女性	78.3	21.8

Q 3 - 1 : 学校に行きたくない理由 ( M A )

【図表 3 - 1 学校に行きたくない理由】



[調査結果]

Q 3 で「いつも思っている」または「思ったことがある」と回答した生徒に、「学校に行きたくない理由」について聞いた。

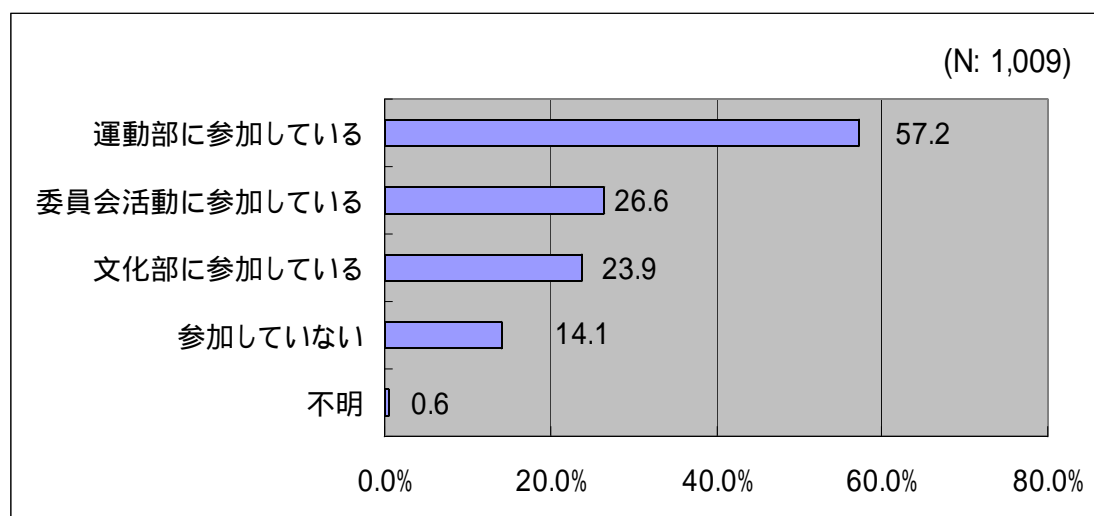
全体では、「その他」が 41.3%で最も多く、以下、「遊んでいたいから」(29.3%)、「勉強がわからないから」(21.4%)と続いている。「その他」の内訳をみると「面倒くさい」「眠い」「疲れる」といった回答が多くみられた。(末尾集計資料)

男女別にみると、男性は「その他」が 41.1%で最も多く、以下、「遊んでいたいから」(33.3%)、「勉強がわからないから」(18.2%)と続き、女性は「その他」が 41.5%で最も多く、以下、「遊んでいたいから」(25.8%)、「勉強がわからないから」(24.0%)と続いている。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳は「その他」が 41.2%で最も多く、以下、「遊んでいたいから」(22.4%)、「勉強がわからないから」(19.2%)と続いている。15 歳～ 17 歳は「その他」が 41.4%で最も多く、以下、「遊んでいたいから」(34.1%)、「勉強がわからないから」(22.9%)と続いている。

#### Q 4 : 部活動等に参加しているか ( M A )

【図表 4 部活動等に参加しているか】



#### [調査結果]

中学生、高校生に対して「部活動に参加しているか」と聞いた。

全体では、「運動部に参加している」が 57.2%で最も多く、以下、「委員会活動に参加している」(26.6%)、「文化部に参加している」(23.9%)と続いている。

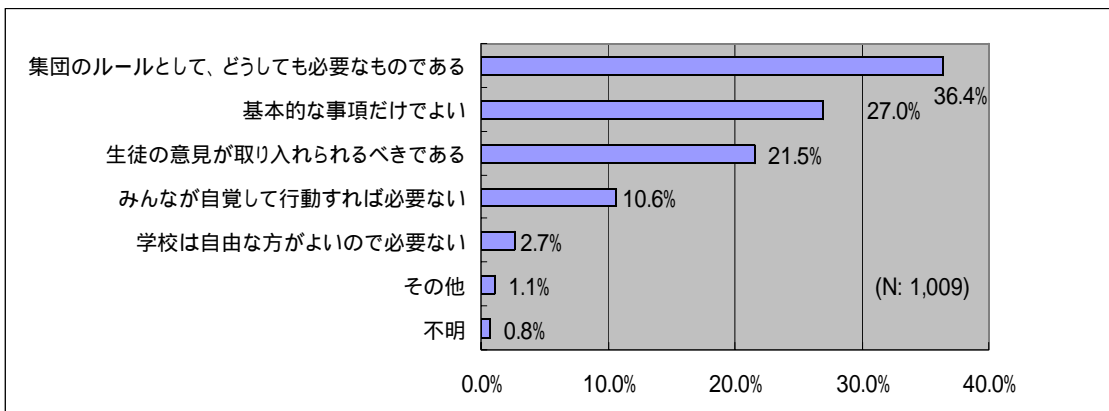
男女別にみると、男性は「運動部に参加している」が 68.1%で最も多く、以下、「委員会活動に参加している」(26.6%)、「参加していない」(14.9%)と続いている。女性は「運動部に参加している」が 46.3%で最も多く、以下、「文化部に参加している」(35.6%)、「委員会活動に参加している」(26.5%)と続いている。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「運動部に参加している」が 66.5%で最も多く、以下、「委員会活動に参加している」(39.1%)、「文化部に参加している」(19.3%)と続いている。15歳～17歳は「運動部に参加している」が 48.7%で最も多く、以下、「文化部に参加している」(28.0%)、「参加していない」(18.9%)と続いている。

女性より男性の方が「運動部に参加している」割合が高く、男性より女性の方が「文化部に参加している」割合が高くなっている。

Q5：学校の「きまり」や「規則」についてどう思うか（SA）

【図表5 学校の「きまり」や「規則」についてどう思うか】



[調査結果]

中学生、高校生に対して「学校の『きまり』や『規則』についてどう思うか」と聞いた。全体では、「集団のルールとして、どうしても必要なものである」が36.4%で最も多く、以下、「基本的な事項だけでよい」(27.0%)、「生徒の意見が取り入れられるべきである」(21.5%)と続いている。

男女年齢層別にみると、12歳～17歳男性、12歳～14歳女性は「集団のルールとして、どうしても必要なものである」、15歳～17歳女性は「基本的な事項だけでよい」が最も多かった。(図表5-i)

【図表5-i 学校の「きまり」や「規則」についてどう思うか】(単位：%)

	集団のルールとして、どうしても必要なものである	基本的な事項だけでよい	生徒の意見が取り入れられるべきである	みんなが自覚して行動すれば必要ない	学校は自由な方がよいので必要ない	その他
全体	36.4	27.0	21.5	10.6	2.7	1.1
12歳～14歳男性	48.6	18.1	20.2	9.1	2.1	1.2
15歳～17歳男性	34.1	30.7	16.9	13.0	3.4	0.8
12歳～14歳女性	33.2	24.8	27.3	10.9	2.5	0.4
15歳～17歳女性	30.3	33.3	22.1	9.4	2.6	1.9

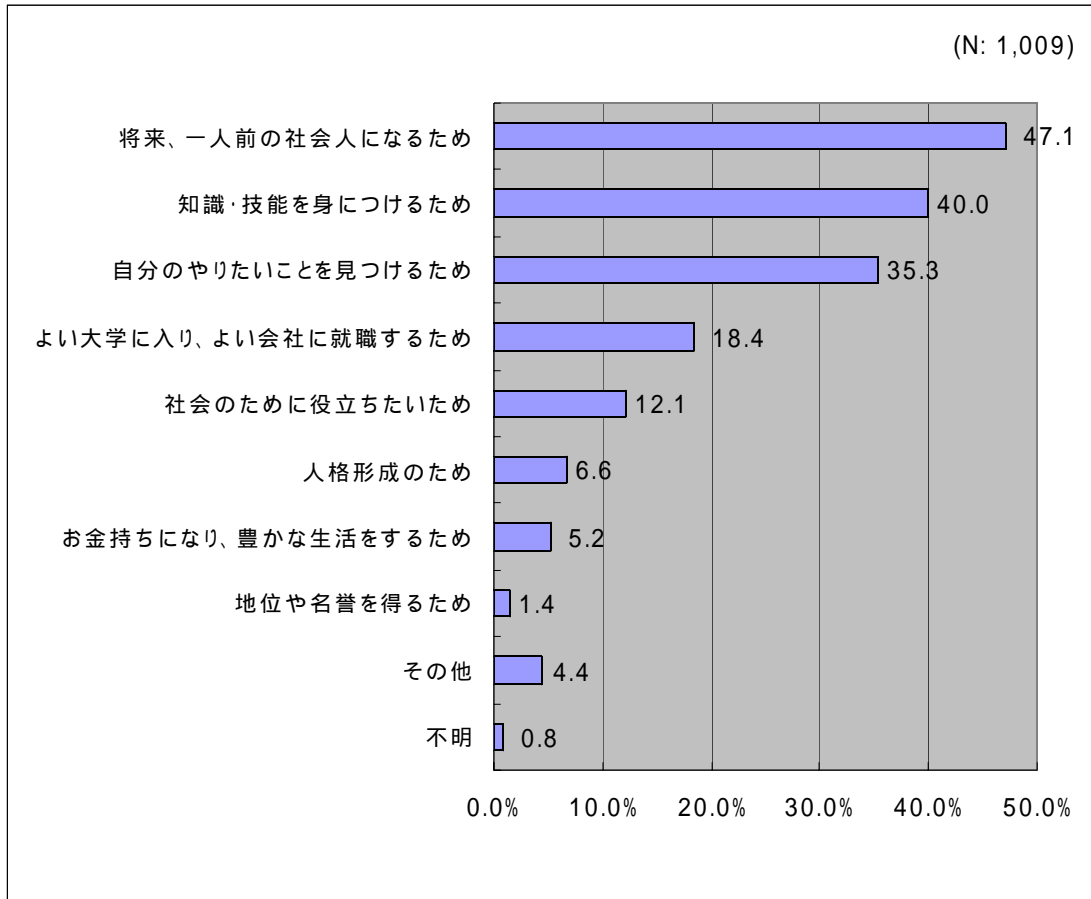
参考：前回調査では、12歳～17歳男性は「基本的な事項だけでよい」、12歳～17歳女性は「生徒の意見が取り入れられるべきである」が最も多かった。

【図表5- 学校の「きまり」や「きそく」について 前回調査】(単位：%)

	基本的な事項だけでよい	生徒の意見が取り入れられるべきである	集団のルールとして、どうしても必要なものである	みんなが自覚して行動すれば必要ない	学校は自由な方がよいので必要ない	その他
全体	29.4	29.3	20.2	12.9	6.8	0.9
12歳～14歳男性	25.2	23.9	27.8	15.4	6.0	1.3
15歳～17歳男性	34.4	20.9	22.5	13.8	7.1	1.2
12歳～14歳女性	25.7	36.5	16.2	12.4	7.1	0.8
15歳～17歳女性	31.9	35.9	14.5	10.1	6.9	0.4

## Q6：どうして勉強をしなければならないと思うか（MA）

【図表6 どうして勉強をしなければならないと思うか】



### [調査結果]

中学生、高校生に対して「どうして勉強をしなければならないのか」と聞いた。

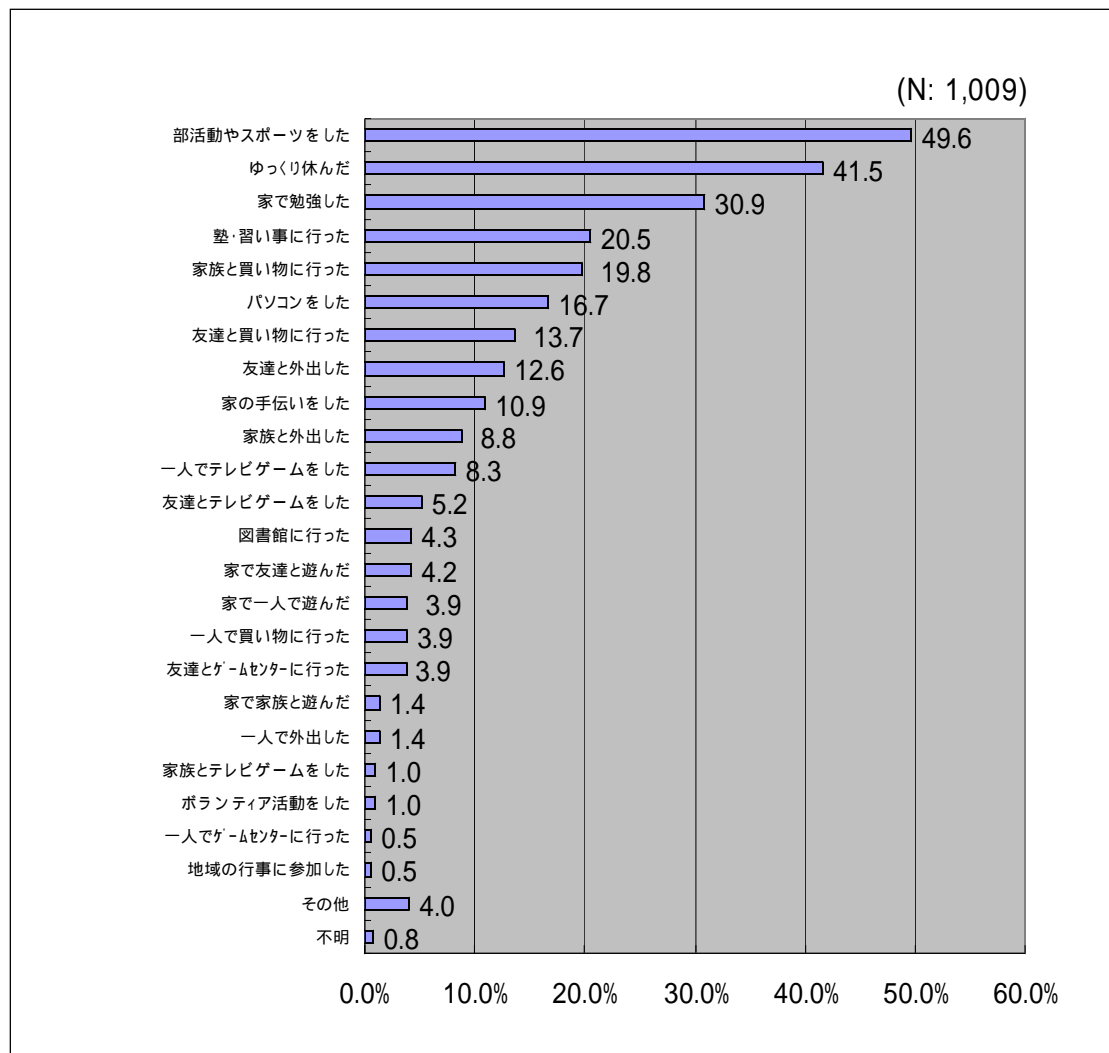
全体では、「将来、一人前の社会人になるため」が(47.1%)で最も多く、以下、「知識・技能を身につけるため」(40.0%)、「自分のやりたいことを見つけるため」(35.3%)と続いている。

男女別にみると、男性は「将来、一人前の社会人になるため」が46.6%で最も多く、以下、「知識・技能を身につけるため」(39.1%)、「自分のやりたいことを見つけるため」(31.5%)と続いている。女性は「将来、一人前の社会人になるため」が47.5%で最も多く、以下、「知識・技能を身につけるため」(41.0%)、「自分のやりたいことを見つけるため」(39.0%)と続いている。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「将来、一人前の社会人になるため」が50.5%で最も多く、以下、「知識・技能を身につけるため」(36.6%)、「自分のやりたいことを見つけるため」(33.9%)と続いている。15歳～17歳は「将来、一人前の社会人になるため」が43.9%で最も多く、以下、「知識・技能を身につけるため」(43.2%)、「自分のやりたいことを見つけるため」(36.6%)と続いている。

## Q7：土・日曜日におもに何をして過ごしたか（MA）

【図表7 土・日曜日におもに何をして過ごしたか】



### [調査結果]

中学、高校生に対して、「土、日曜日におもに何をして過ごしたか」と聞いた。

全体では、「部活動やスポーツをした」が 49.6%でもっとも多く、以下、「ゆっくり休んだ」(41.5%)、「家で勉強した」(30.9%)と続いている。

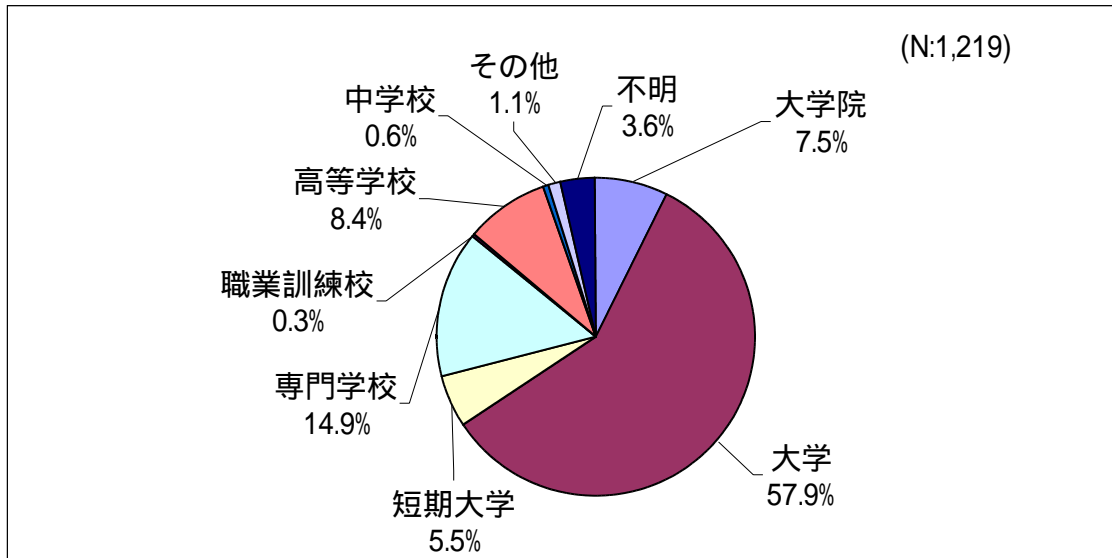
男女別にみると、男性は「部活動やスポーツをした」が 56.9%で最も多く、以下、「ゆっくり休んだ」(40.3%)、「家で勉強した」(32.1%)と続き、女性は「ゆっくり休んだ」が 42.8%で最も多く、以下、「部活動やスポーツをした」(42.2%)、「家で勉強した」と「家族と買い物に行った」が共に(29.7%)と続いている。

年齢層別でみると、12歳～14歳、15歳～17歳共に「部活動やスポーツをした」が(50.9%、48.3%)で最も多く、以下、「ゆっくり休んだ」(36.6%、46.0%)、「家で勉強した」(30.8%、31.1%)と続いている。



Q 8 : 希望する最終学歴は何か ( S A )

【図表 8 希望する最終学歴は何か】



[調査結果]

学校等の在学者に「希望する最終学歴は何か」と聞いた。

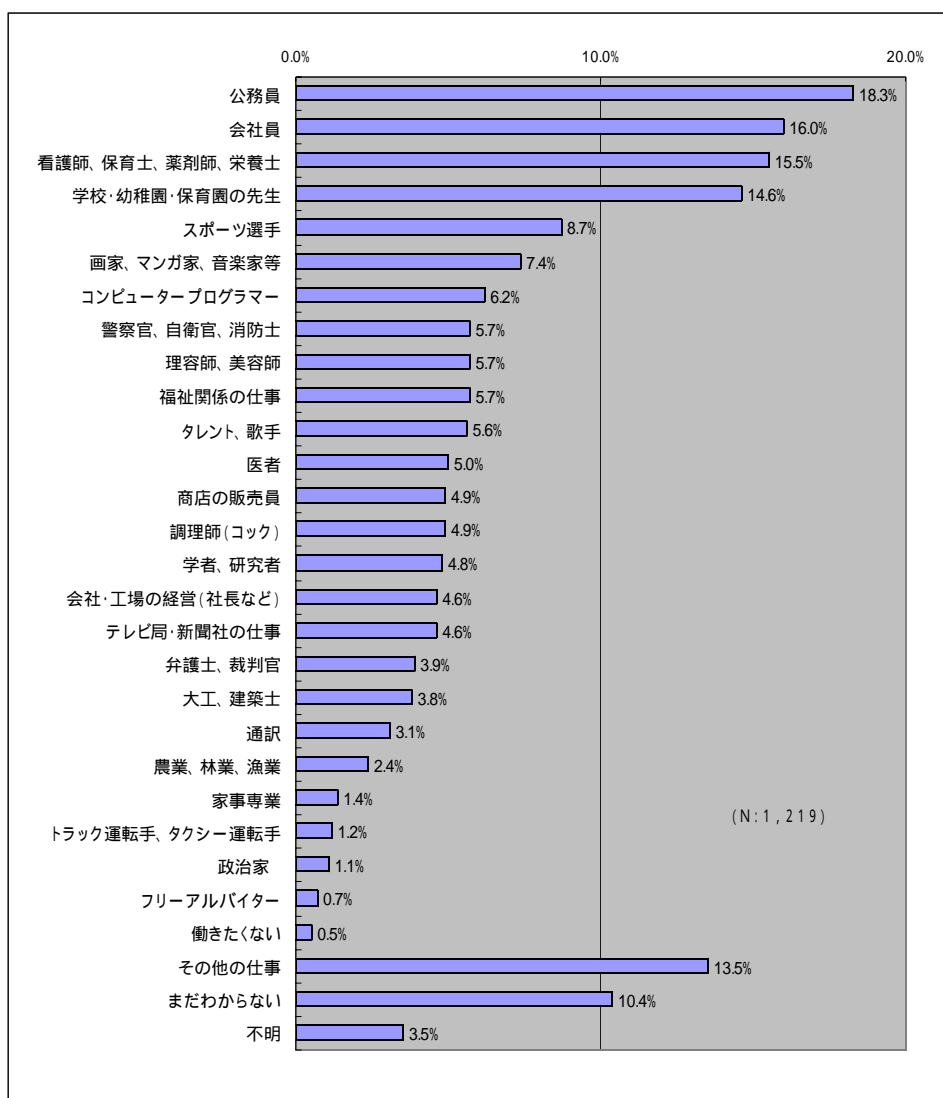
全体では、「大学」が(57.9%)で最も多く、以下、「専門学校」(14.9%)、「高等学校」(8.4%)と続いている。

男女別で見ると、男性は「大学」が 62.8%で最も多く、以下、「高等学校」(11.1%)、「大学院」と「専門学校」が共に(9.9%)と続き、女性は「大学」が 53.1%で最も多く、以下、「専門学校」(19.9%)、「高等学校」(5.9%)と続いている。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳は「大学」が 54.3%で最も多く、以下、「高等学校」(14.3%)、「専門学校」(13.9%)と続き、15 歳～ 17 歳は「大学」が 58.1%で最も多く、以下、「専門学校」(17.6%)、「大学院」(6.6%)と続き、18 歳～ 20 歳は「大学」が 58.5%で最も多く、以下、「大学院」(13.8%)、「専門学校」(13.1%)と続き、21 歳～ 23 歳は「大学」が 77.5%で最も多く、以下、「大学院」(15.0%)、「専門学校」(6.3%)と続いている。

## Q9：将来どんな仕事をしたいか（MA）

【図表9 将来どんな仕事をしたいか】



### [調査結果]

学校等の在学者に「将来どんな仕事をしたいか」と聞いた。

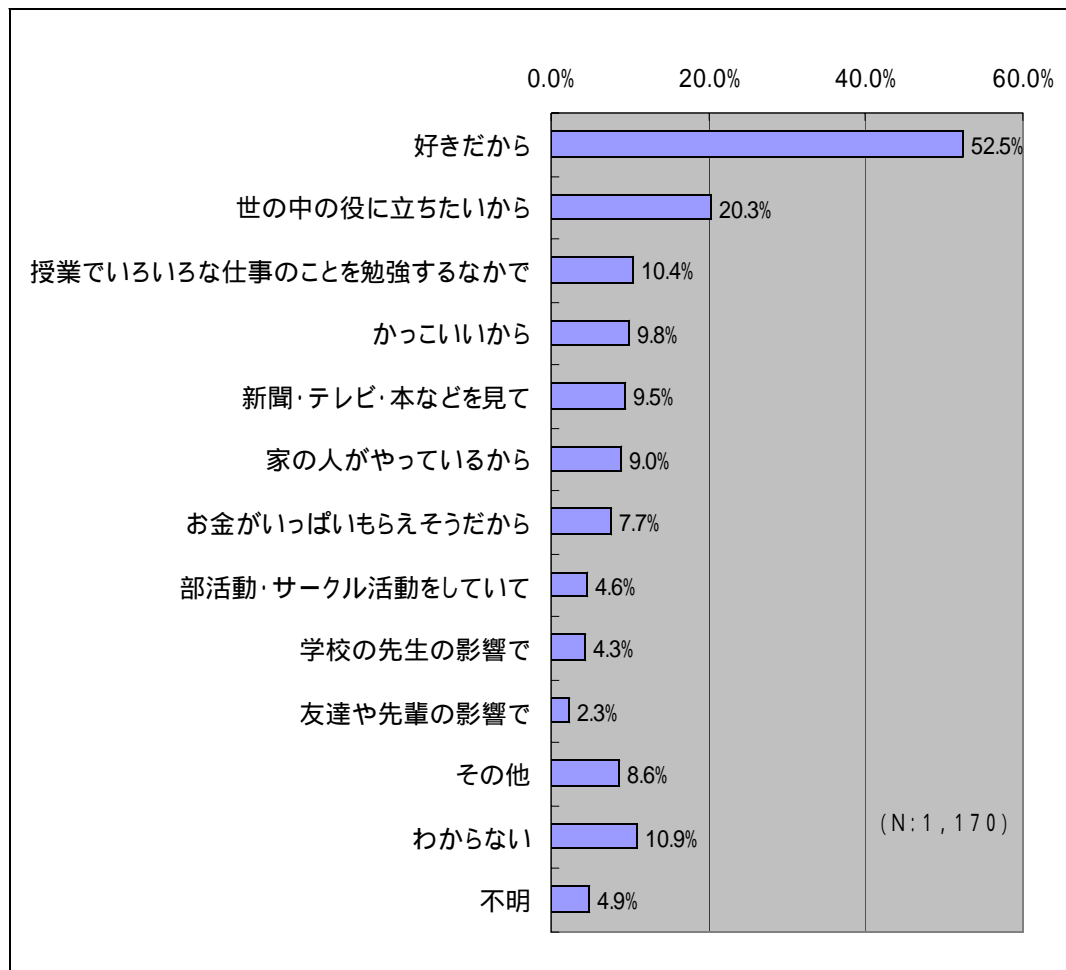
全体では、「公務員」が18.3%で最も多く、以下、「会社員」(16.0%)、「看護師・保育士・薬剤師・栄養士」(15.5%)と続いている。

男女別にみると、男性は「公務員」が23.5%で最も多く、以下、「会社員」(19.2%)、「スポーツ選手」(15.0%)と続き、女性は「看護師、保育士、薬剤師、栄養士」が26.5%で最も多く、以下、「学校、幼稚園、保育園の先生」(20.8%)、「公務員」(13.2%)と続いている。

参考：前回調査では、「学校・幼稚園・保育の先生」が(18.6%)で最も多く、「公務員」(17.2%)、「看護師、保育士、薬剤師、栄養士」(11.2%)と続いている。

Q10：Q9で選んだ仕事をしたいと思ったのはなぜか（MA）

【図表10 Q9で選んだ仕事をしたいと思ったのはなぜか】



[調査結果]

学校等の在学者に「Q9で選んだ仕事をしたいと思った理由」について聞いた。

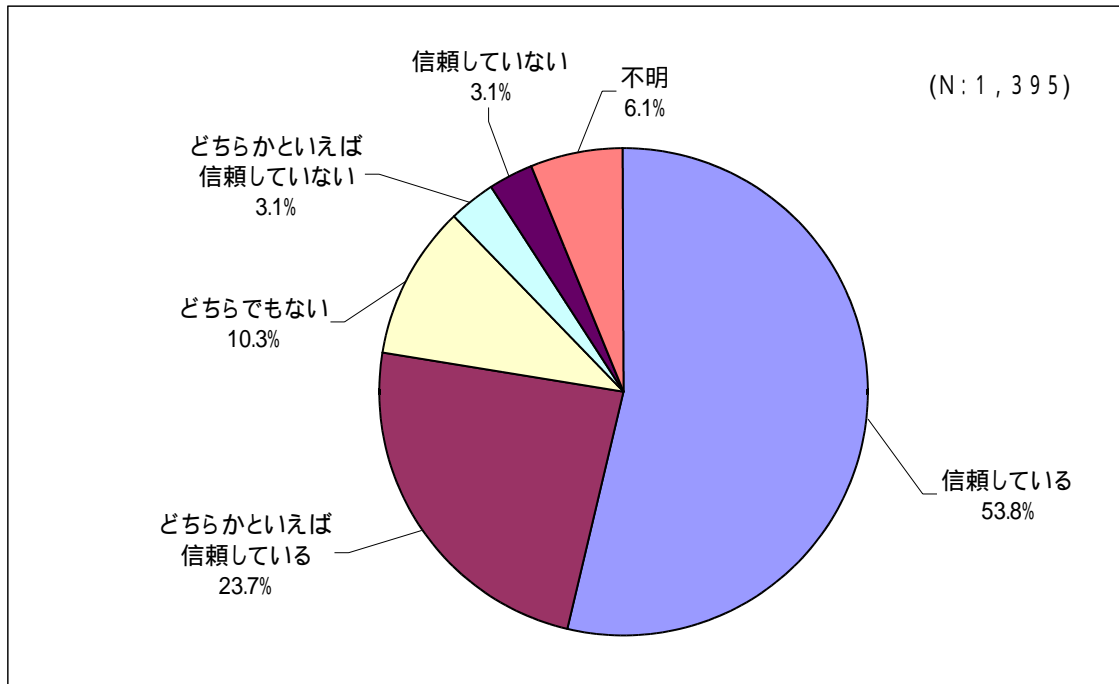
全体では、「好きだから」が52.5%で最も多く、以下、「世の中の役に立ちたいから」(20.3%)、「わからない」(10.9%)と続いている。

男女別にみると、男女共1～2は全体と同じで、1位は「好きだから」(男性：50.7%、女性：54.3%)、2位は「世の中の役に立ちたいから」(男性：20.5%、女性：20.0%)、男性3位「わからない」(12.2%)、女性3位「授業でいろいろな仕事のことを勉強するなかで」(11.1%)と続いている。

年齢層別にみると、12歳～23歳は共に「好きだから」(12歳～14歳：55.6%、15歳～17歳：52.7%、18歳～20歳：42.3%、21歳～23歳：50.0%)が最も多く、以下、「世の中の役に立ちたいから」(12歳～14歳：18.5%、15歳～17歳：19.5%、18歳～20歳：21.5%、21歳～23歳：33.3%)と続いている。

Q11-A：お父さんのことを信頼しているか（SA）

【図表11-A お父さんのことを信頼しているか】



[調査結果]

「お父さんのことを信頼しているか」と聞いた。

全体では、「信頼している」(53.8%)、と「どちらかといえば信頼している」(23.7%)を合わせた回答を「信頼意向」とすると、「信頼意向」は77.5%であった。(以下、11-Dまで同様)

男女別にみると、「信頼意向」は男性が77.7%、女性が77.1%であり、男性の方がお父さんのことを信頼している意向が高くなっている。(図表11-A-i)

年齢層別にみると、「信頼意向」は12歳～14歳が75.5%、15歳～17歳が77.8%、18歳～20歳が78.5%、21歳～23歳が80.0%であり、お父さんのことを信頼している意向は21歳～23歳が最も高くなっている。

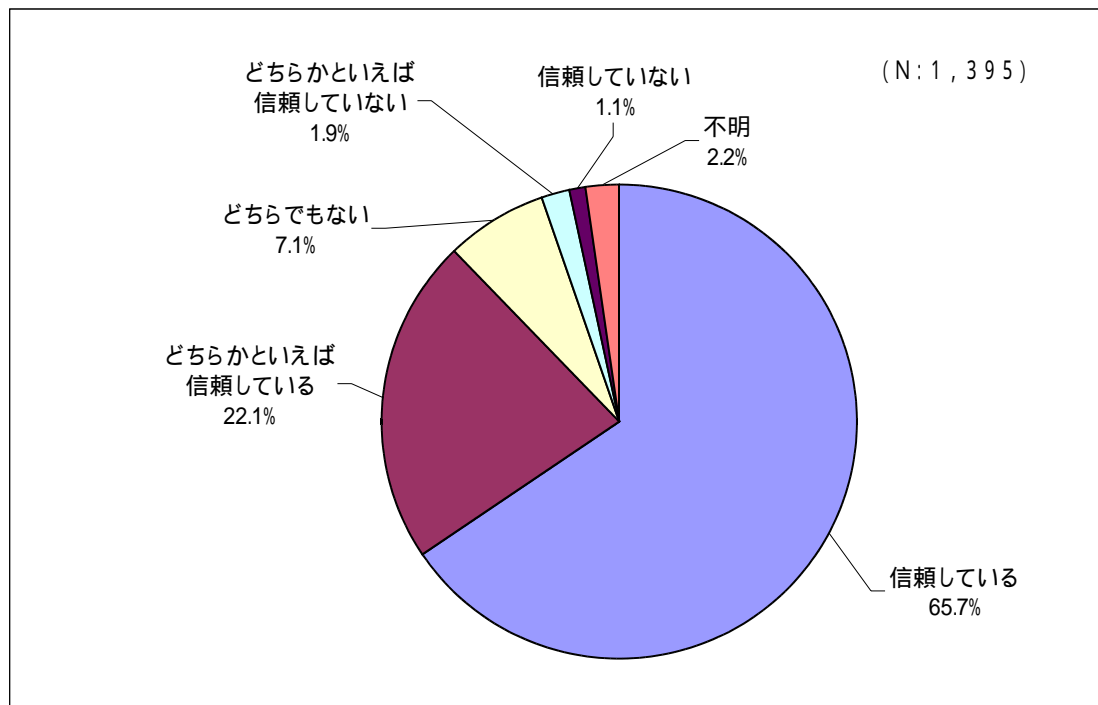
参考：前回調査と今回調査を比較すると、全体、男女別、中学・高校生別、全ての項目で「信頼傾向」は上回っている。(図表11-A-i)

【図表11-A-i 父親への信頼意向 前回調査と今回調査との比較】(単位：%)

	全体	男性	女性	中学生	高校生
前回調査	72.5	75.5	69.8	70.8	69.7
今回調査	77.5	77.7	77.1	75.5	77.8

Q 1 1 - B : お母さんのことを信頼しているか ( S A )

【図表 1 1 - B お母さんのことを信頼しているか】



[調査結果]

「お母さんのことを信頼しているか」と聞いた。

全体では、「信頼意向」は 87.8%であった。(図表 11-B-i)

男女別にみると、「信頼意向」は男性が 85.6%、女性が 89.9%であり、女性の方がお母さんのことを信頼している意向が高くなっている。(図表 11-B-i)

年齢層別にみると、「信頼意向」は 12 歳～ 14 歳が 86.9%、15 歳～ 17 歳が 86.0%、18 歳～ 20 歳が 92.0%、21 歳～ 23 歳が 90.9%であり、お母さんのことを信頼している意向は 18 歳～ 20 歳が最も高くなっている。

男女・各年齢層において、Q 11-A より Q 11-B の方が「信頼傾向」が高くなっており、「お父さん」より「お母さん」のことを信頼していると考えられる。

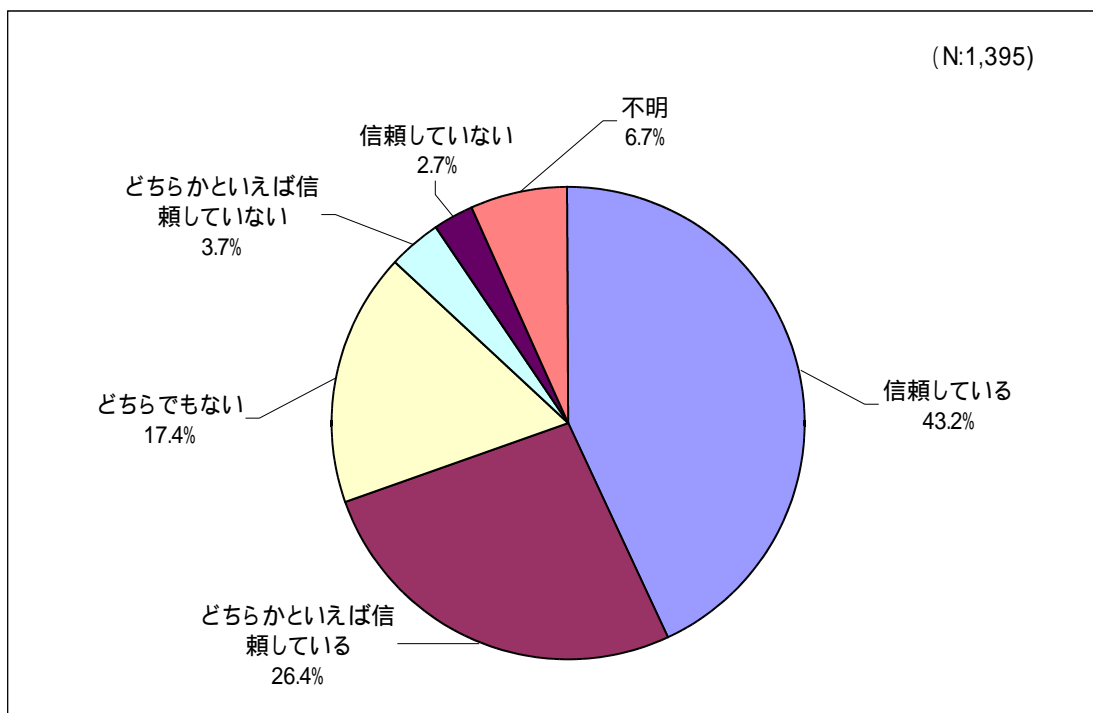
参考：前回調査と今回調査を比較すると、全体、男女別、中学・高校生別、全ての項目で「信頼傾向」は上回っている。(図表 11-B-i)

【図表 11-B-i 母親への信頼意向 前回調査と今回調査との比較】(単位：%)

	全体	男性	女性	中学生	高校生
前回調査	84.0	84.6	83.4	80.5	83.3
今回調査	87.8	85.6	89.9	86.9	86.0

Q11-C：お父さんはあなたのことを信頼していると思うか（SA）

【図表11-C お父さんはあなたのことを信頼していると思うか】



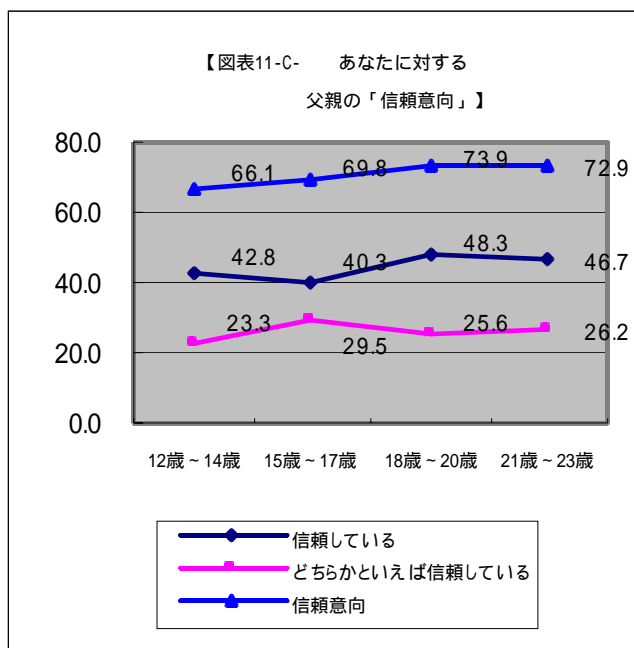
【調査結果】

「お父さんはあなたのことを信頼していると思うか」と聞いた。

全体では、「信頼意向」は 69.6% であった。

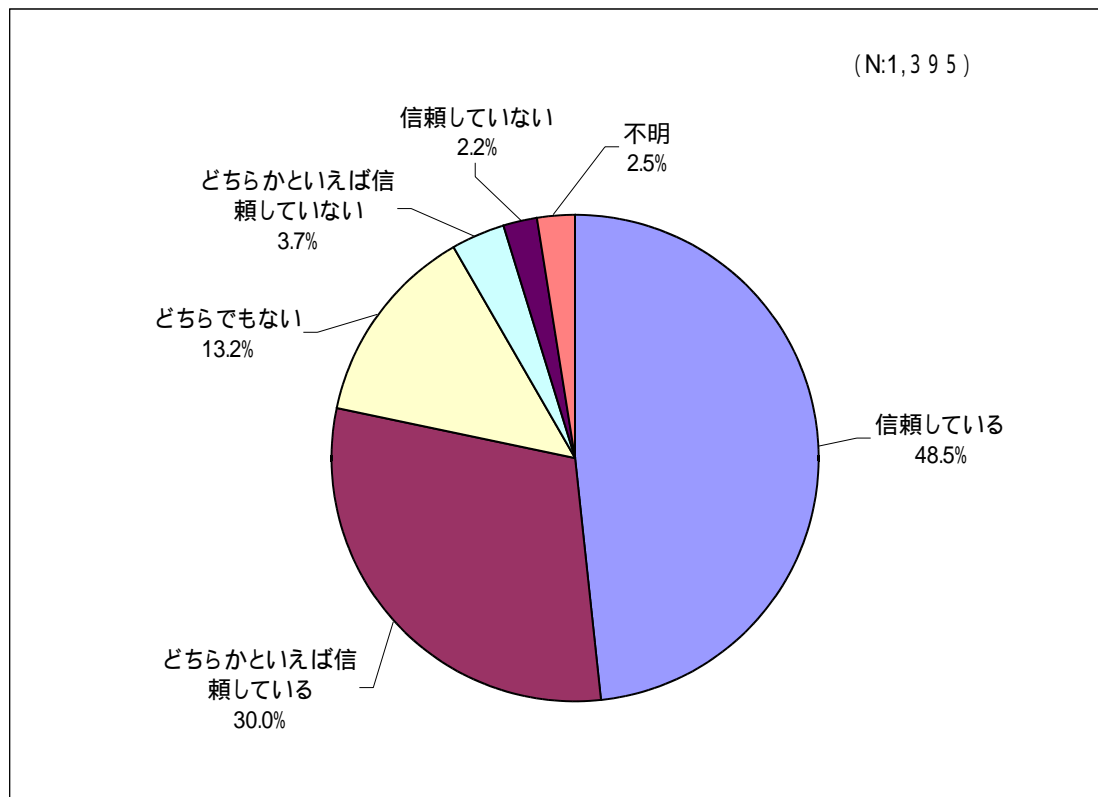
男女別にみると、「信頼意向」は男性が 68.9%、女性が 70.1% であり、女性の方が「信頼意向」が高くなっている。

年齢層別にみると、「信頼意向」は 12 歳～14 歳が 66.1%、15 歳～17 歳が 69.8%、18 歳～20 歳が 73.9%、21 歳～23 歳が 72.9% であり、「信頼意向」は、18 歳～20 歳が最も高くなっている。（図表 11-C-i）



Q11-D：お母さんはあなたのことを信頼していると思うか（SA）

【図表11-D お母さんはあなたのことを信頼していると思うか】



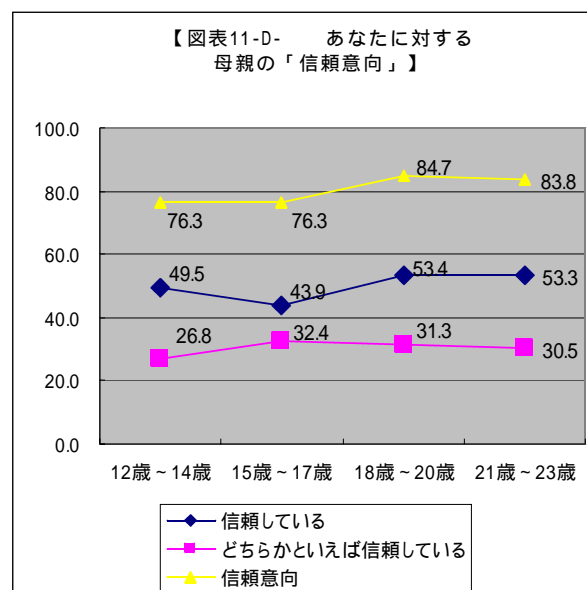
【調査結果】

「お母さんはあなたのことを信頼していると思うか」と聞いた。

全体では、「信頼意向」は78.5%であった。

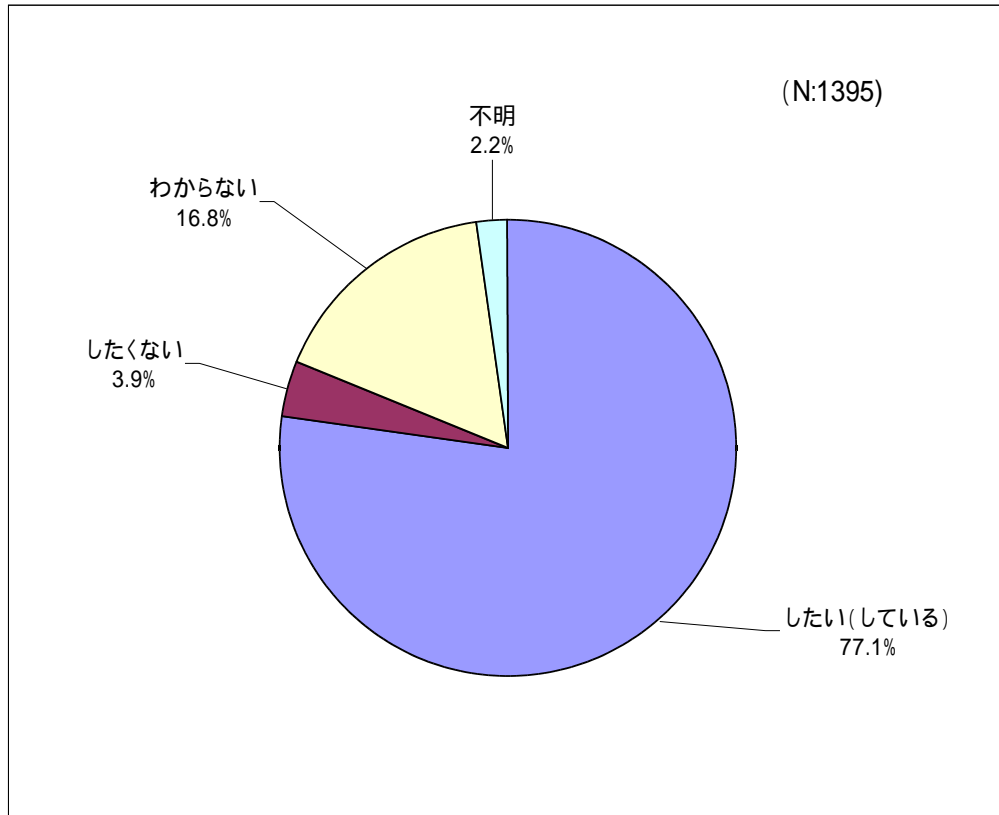
男女別にみると、「信頼意向」は男性が77.0%、女性が79.9%であり、女性において「信頼意向」が高くなっている。

年齢層別にみると、「信頼意向」は12歳～14歳が76.3%、15歳～17歳が76.3%、18歳～20歳が84.7%、21歳～23歳が83.8%であり、「信頼意向」は18歳～20歳が最も高くなっている。（図表11-D-i）



Q 1 2 : 将来、結婚したいか ( S A )

【図表 1 2 将来、結婚したいか】



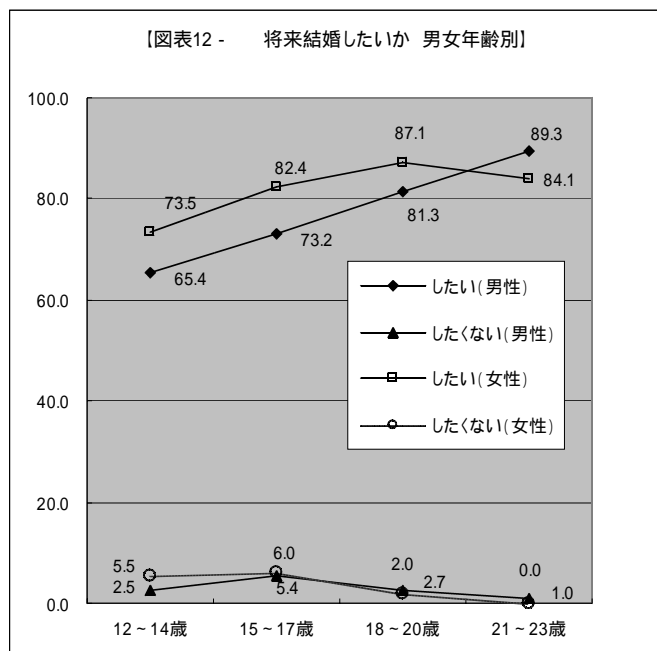
[調査結果]

「将来結婚したいか」と聞いた。

全体では、「したい」が 77.1%、「したくない」 3.9%であった。

男女別でみると、男性が 73.8%、女性が 80.4%で、女性の方が高くなっている。

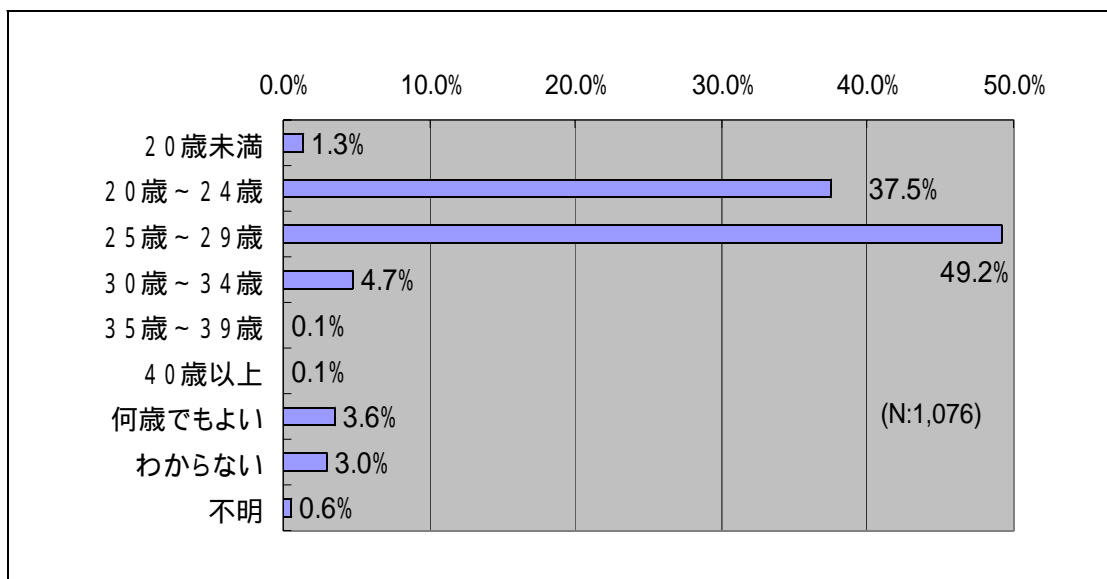
男女年齢層別でみると、「したい」は 12 歳～ 14 歳男性が 65.4 %、12 歳～ 14 歳女性が 73.5 %、15 歳～ 17 歳男性が 73.2 %、15 歳～ 17 歳女性が 82.4 %、18 歳～ 20 歳男性が 81.3 %、18 歳～ 20 歳女性が 87.1 %、21 歳～ 23 歳男性が 89.3 %、21 歳～ 23 歳女性が 84.1 %であった。12 歳～ 20 歳までは女性が男性を上回っているが、21 歳～ 23 歳では、男性と女性が逆転して男性が上回っている。(図表 12-





Q 1 2 - 1 : 何歳で結婚したいか ( S A )

【図表 1 2 - 1 何歳で結婚したいか】



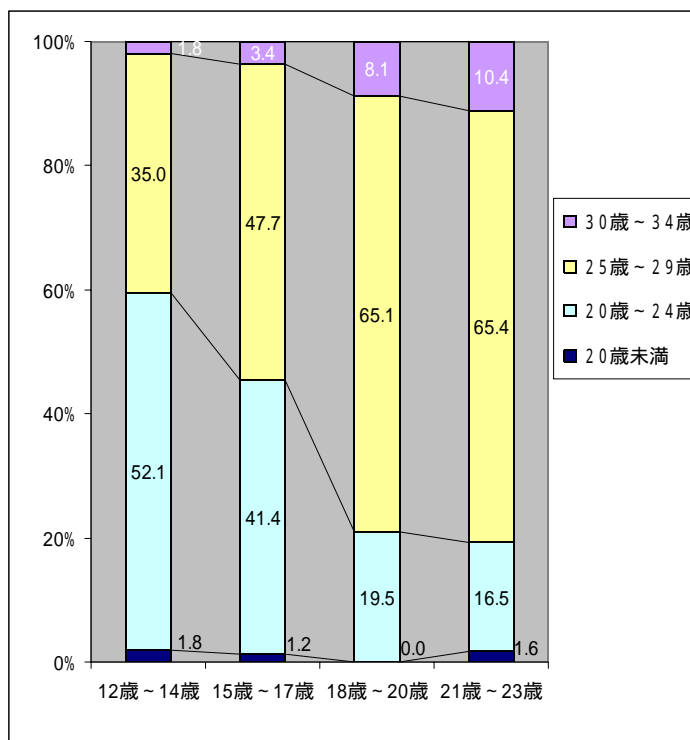
[調査結果]

Q 12 で結婚「したい(してる)」と回答した人に、「何歳で結婚したいか」と聞いた。全体では、「25歳～29歳」が49.2%で最も多く、「20歳～24歳」(37.5%)と続いている。

男女別では、男女共に「25歳～29歳」(男性：53.7%、女性：45.2%)で最も多く、以下、「20歳～24歳」(男性：29.2%、女性：44.7%)と続いている。

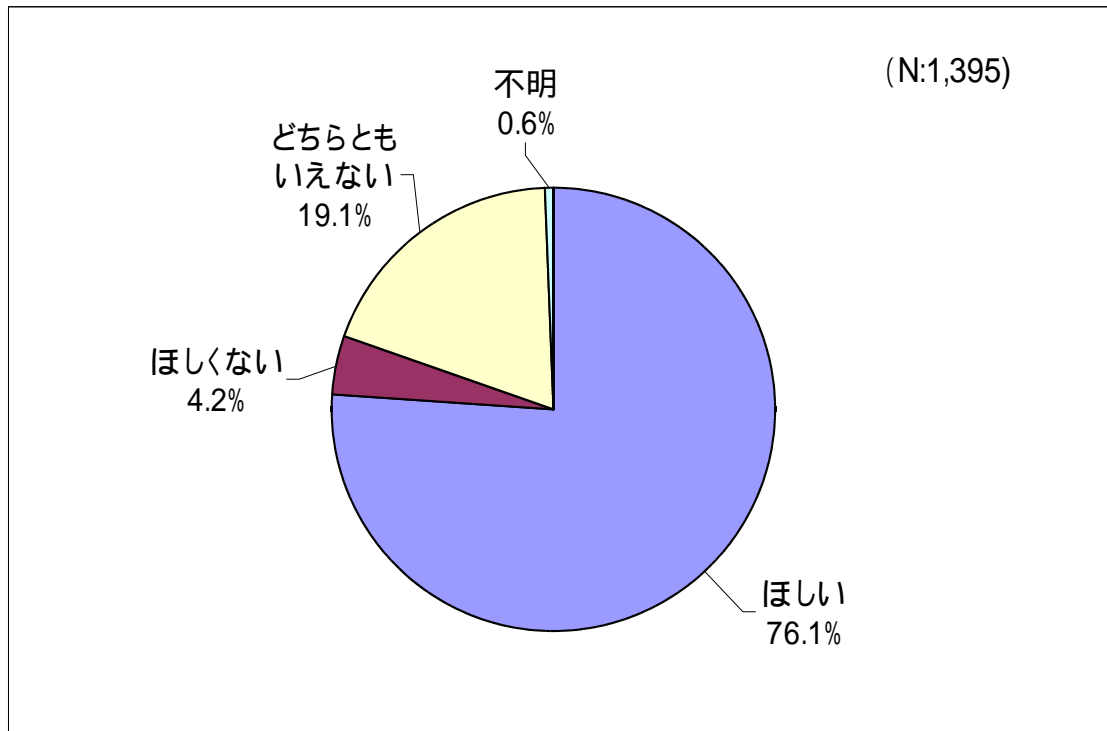
【図表 12-1-i 何歳で結婚したいか 年齢層別】

年齢層別では、12歳～14歳は「20歳～24歳」が52.1%で最も多いが、それ以外の15歳～23歳の各年齢層では「25～29歳」が最も多くなっている。年齢層が上がると「25歳～29歳」「30歳～34歳」の割合が高くなっている。(図表 12-1-i)



Q 1 3 : 将来子どもがほしいか ( S A )

【図表 1 3 将来子どもがほしいか】



[調査結果]

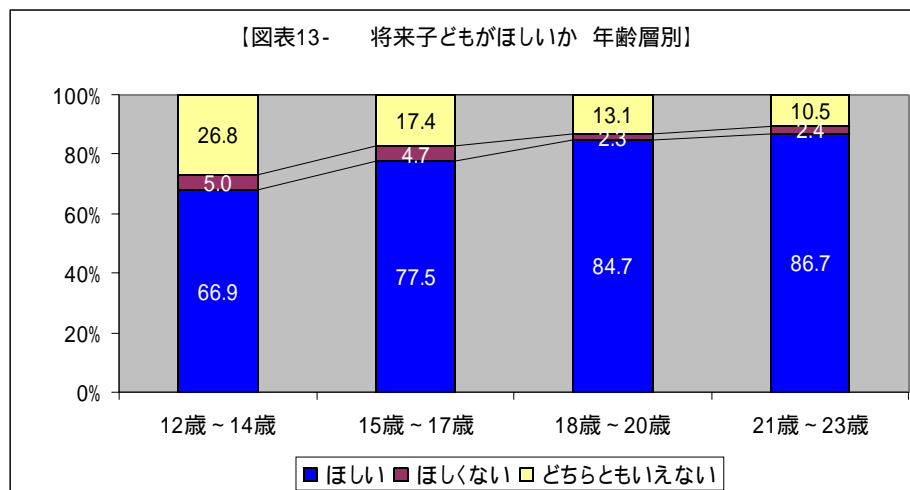
「将来子どもがほしいか」と聞いた。

全体では、「ほしい」が 76.1%、「ほしくない」が 4.2%であった。

男女別にみると、「ほしい」は男性が 72.9%、女性が 79.2%で、女性の方が高くなっている。

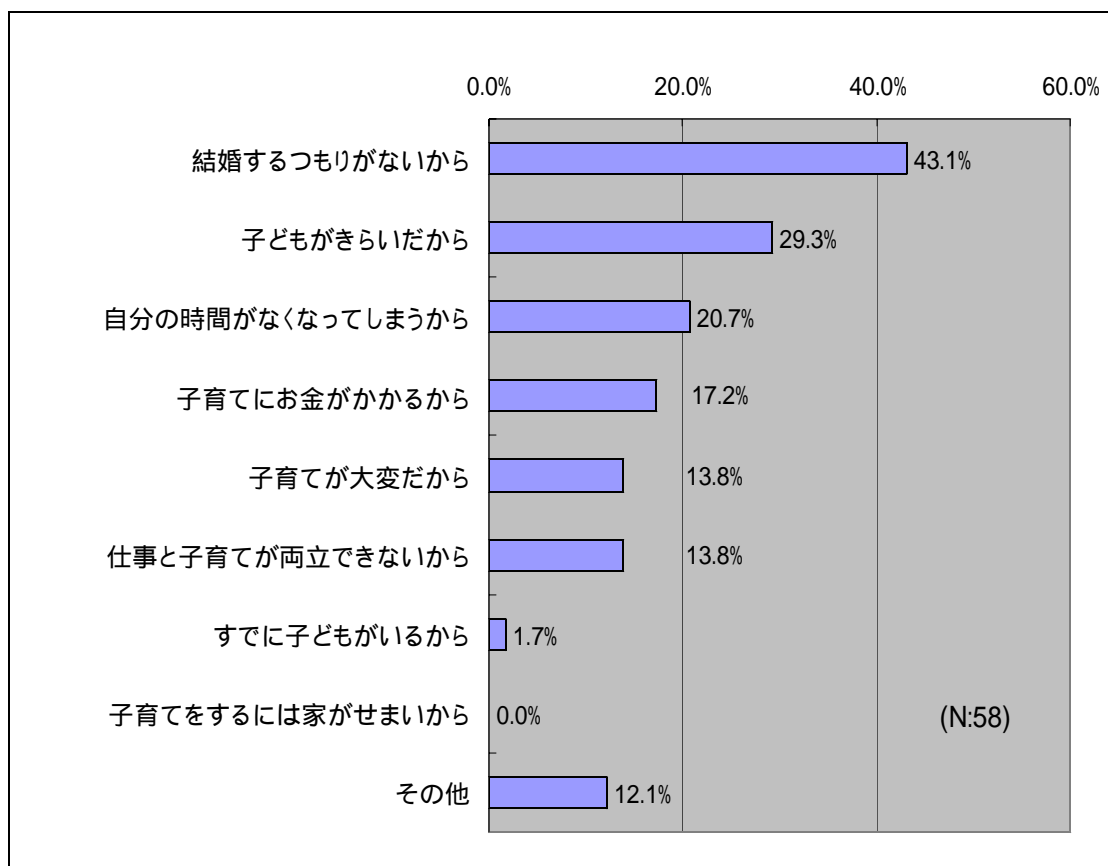
年齢層別にみると、「ほしい」は 12 歳～ 14 歳が 66.9%、15 歳～ 17 歳が 77.5%、18 歳～ 20 歳が 84.7%、21 歳～ 23 歳が 86.7%と、年齢層が上がるとともに高くなっている。

(図表 13-i)



### Q13 - 1 : どうして子どもがほしくないか (MA)

【図表13 - 1 どうして子どもがほしくないか】



#### [調査結果]

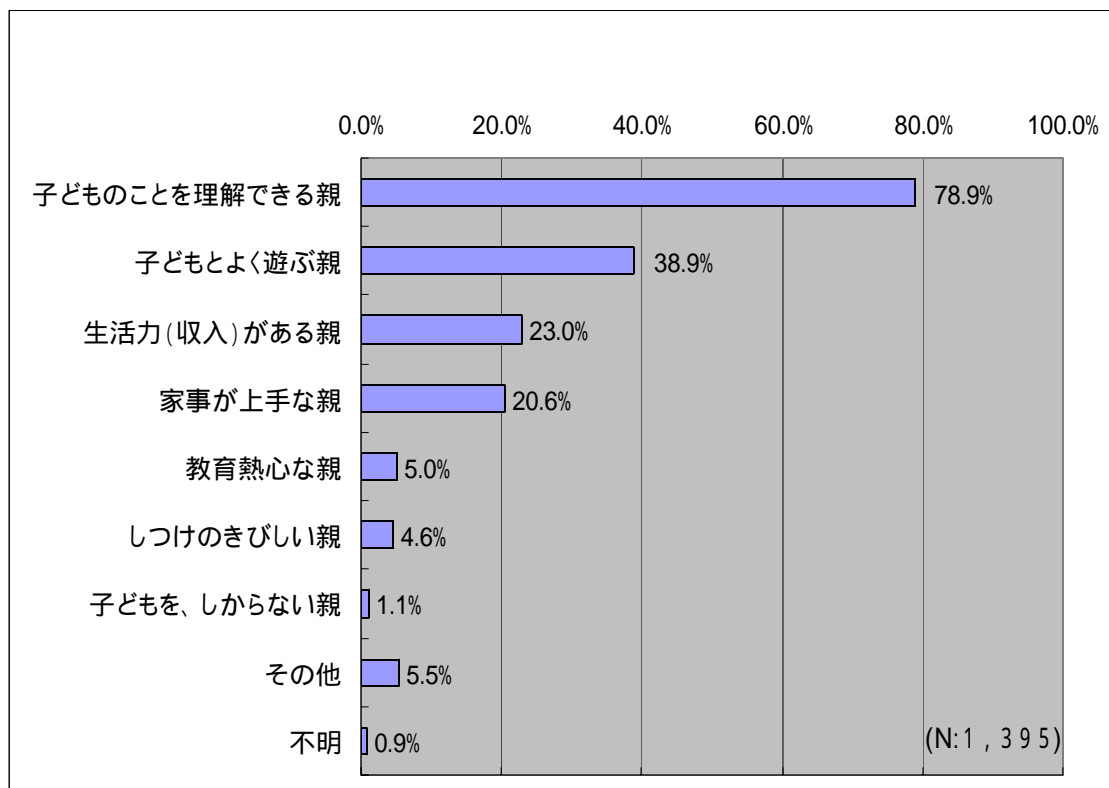
Q13で「ほしくない」と回答した人に、「どうして子どもがほしくないか」と聞いた。「ほしくない」と回答した人は全体の4.2%（男性25人、女性33人）で女性の方が高くなっている。

全体では、「結婚するつもりがないから」が43.1%で最も多く、以下、「子どもがきらいだから」（29.3%）、「自分の時間がなくなってしまうから」（20.7%）と続いている。

男女別にみると、男性は「結婚するつもりがないから」が40.0%で最も多く、以下、「子育てにお金がかかるから」と「自分の時間がなくなってしまうから」が共に（28.0%）と続き、女性は「結婚するつもりがないから」が45.5%で最も多く、以下、「子どもがきらいだから」（33.3%）、「仕事と子育てが両立できないから」（21.2%）と続いている。

## Q14：将来どのような親になりたいか（MA）

【図表14 将来どのような親になりたいか】



### [調査結果]

「将来どのような親になりたいか」と聞いた。

全体では、「子どもを理解できる親」が78.9%で最も多く、「子どもとよく遊ぶ親」(38.9%)、「生活力(収入)がある親」(23.0%)と続いている。

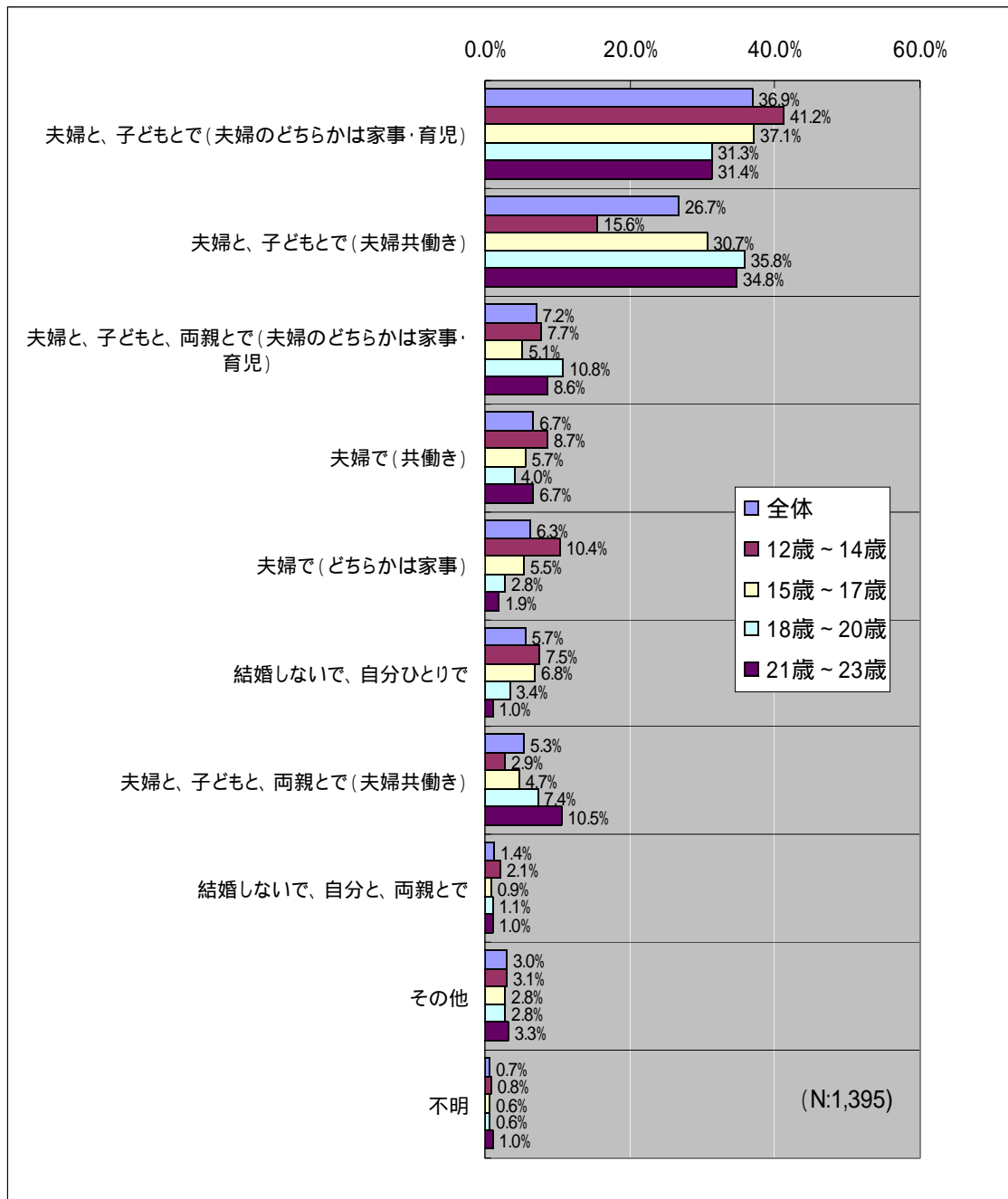
男女別でみると、男女共1～2位は全体と同じで、1位は「子どもを理解できる親」(男性74.0%、女性83.5%)、2位は「子どもとよく遊ぶ親」(男性44.3%、女性33.8%)であった。以下、男性の3位は「生活力(収入)のある親」(29.2%)、女性の3位は「家事が上手な親」(31.3%)であった。

年齢層別にみると、各年齢層共に1～2位は全体と同じで、1位は「子どもを理解できる親」(12歳～14歳：76.5%、15歳～17歳：81.3%、18歳～20歳：77.8%、21歳～23歳：79.0%)、2位は「子どもとよく遊ぶ親」(12歳～14歳：36.2%、15歳～17歳：37.9%、18歳～20歳：43.8%、21歳～23歳：43.8%)であった。以下、12歳～14歳の3位は「家事が上手な親」(25.4%)、15歳～23歳の3位は「生活力(収入)のある親」(15歳～17歳：22.7%、18歳～20歳：25.6%、21歳～23歳：22.9%)であった。

男女・各年齢層において「子どもを理解できる親」になりたいと考えている割合が高くなっている。

## Q15：将来だれと暮らしたいか／家事はどうするか（SA）

【図表15 将来だれと暮らしたいか／家事はどうするか】



### [調査結果]

「将来だれと暮らしたいか/家事はどうするか」と聞いた。

全体では、「夫婦と、子どもとで(夫婦のどちらかは家事・育児)」が36.9%で最も多く、「夫婦と、子どもとで(夫婦共働き)」(26.7%)と続いている。

「結婚しないで、自分一人で」と「結婚しないで、自分と、両親とで」を合わせた回答を「未婚」とし「夫婦で(共働き)」と「夫婦で(夫婦のどちらかは家事・育児)」を合

合わせた回答を「夫婦」とし、「夫婦と、子どもとで（夫婦のどちらかは家事・育児）」と「夫婦と子どもとで（夫婦共働き）」を合わせた回答を「夫婦・子ども」とし、「夫婦と、子どもと、両親とで（夫婦のどちらかは家事・育児）」と「夫婦と、子どもと、両親とで（夫婦共働き）」を合わせた回答を「祖父母・夫婦・子ども」とする。

全体では、「夫婦・子ども」が 63.6%で最も多く、「夫婦」(13.0%)と続いている。男女別にみると、男女共に「夫婦・子ども」(男性 58.8%、女性 68.3%)が最も多く、男性より女性の方が「夫婦・子ども」が多くなっている。年齢層別にみると、各年齢層において「夫婦・子ども」(12歳～14歳：56.8%、15歳～17歳：67.8%、18歳～20歳：67.1%、21歳～23歳：66.2%)が最も多くなっている。

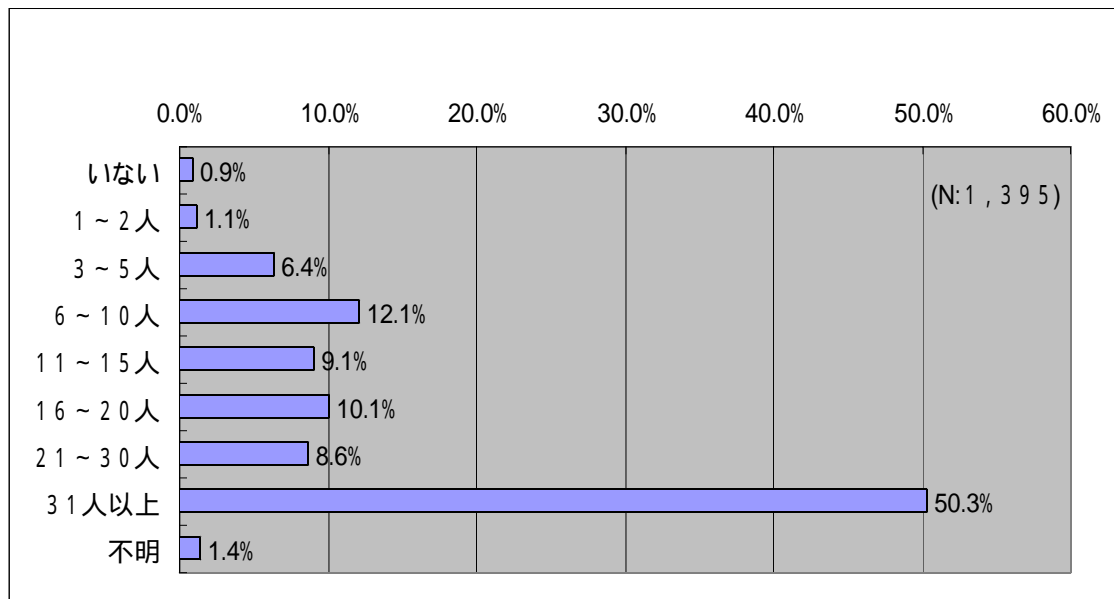
次に、夫婦の職業形態を比較してみる。「夫婦で(共働き)」と「夫婦と、子どもとで(夫婦共働き)」と「夫婦と、子どもと、両親とで(夫婦共働き)」を合わせた回答を「共働き」とし、「夫婦で(どちらかは家事)」と「夫婦と、子どもとで(夫婦のどちらかは家事・育児)」と「夫婦と、子どもと、両親とで(夫婦のどちらかは家事・育児)」を合わせた回答を「どちらかが家事」とする。

全体では、「どちらかが家事」が 50.4%で、「共働き」38.7%となっている。男女別にみると、男女共に「どちらかが家事」(男性 55.3%、女性 45.8%)が最も多く、女性より男性の方が「どちらかが家事」の割合が高くなっている。年齢層別にみると、「どちらかが家事」は12歳～14歳(59.3%)と15歳～17歳(47.7%)において高く、「共働き」は18歳～20歳(47.2%)と21歳～23歳(52.0%)において高くなっている。

将来の家族構成としては、「夫婦・子ども」が最も多かった。将来の就職形態としては、全体では「どちらかが家事」が多いものの、18歳～23歳では「共働き」が多くなっている。また、女性より男性の方が「どちらかが家事」と考えている傾向が高い。

## Q16：友達が何人くらいいるか（SA）

【図表16 友達が何人くらいいるか】



### [調査結果]

「友達が何人くらいいるか」と聞いた。

全体では、「31人以上」が50.3%で最も多く、以下、「6～10人」(12.1%)、「16～20人」(10.1%)と続いている。

男女別でみると、男性は「31人以上」が54.1%で最も多く、以下、「16～20人」(10.9%)と続き、女性は「31人以上」が46.7%で最も多く、以下、「6人～10人」(14.0%)と続いている。

年齢層別でみると、12歳～14歳は「31人以上」が61.5%で最も多く、以下、「16～20人」(8.7%)、「6人～10人」(8.5%)と続き、15歳～17歳は「31人以上」が54.5%で最も多く、以下、「6人～10人」(10.6%)、「16～20人」(10.2%)と続き、18歳～23歳は「31人以上」(18歳～20歳：38.6%、21歳～23歳：23.8%)が最も多く、以下、「6人～10人」(18歳～20歳：17.0%、21歳～23歳：20.0%)、「11人～15人」(18歳～20歳：12.5%、21歳～23歳：15.2%)と続いている。年齢層が上がると「31人以上」の割合が低くなっている。

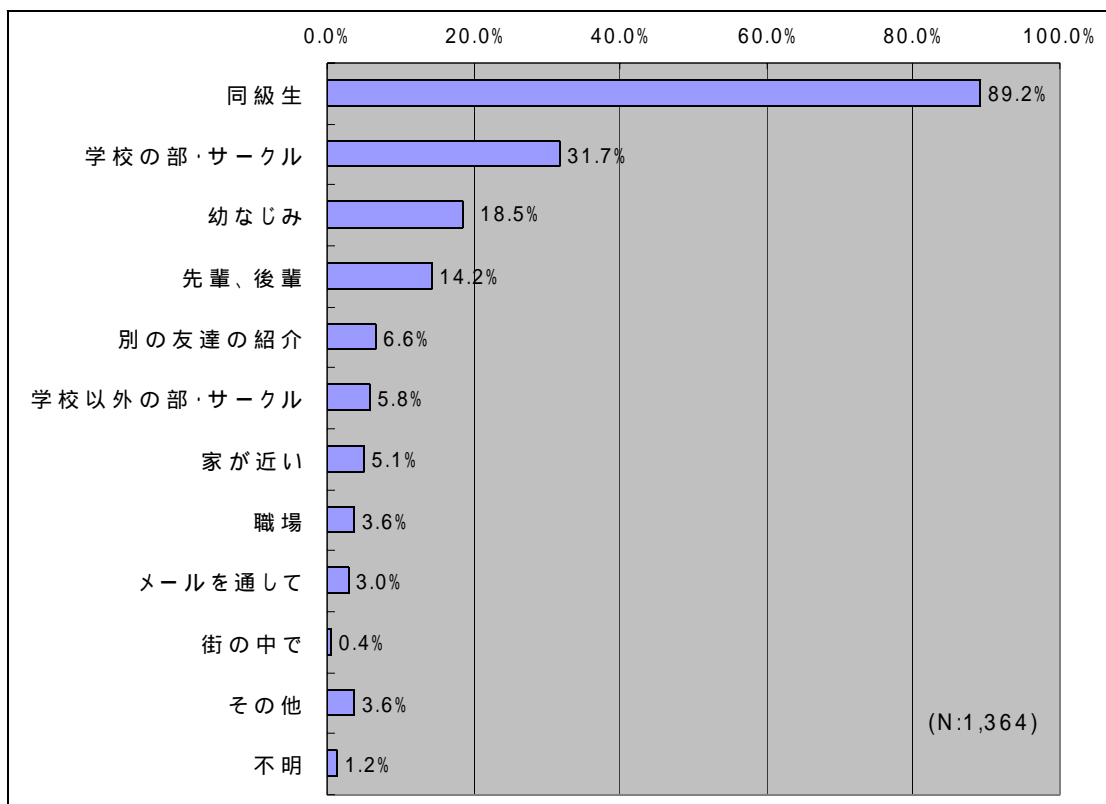
【図表16-i 友達の数 前回調査と今回調査の比較】(単位：%)

「友達」の数	いない	1～2人	3～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
前回調査	0.7	1.5	6.3	12.2	11.5	10.5	56.4
今回調査	0.9	1.1	6.4	12.1	9.1	10.1	58.9

\*今回調査については21人～30人と31人以上の回答を合わせて21人以上とした。

図表 16 - 1 友達と知り合ったきっかけ

【図表 16 - 1 友達と知り合ったきっかけ】



[調査結果]

Q 16で「1～2人」～「31人以上」(【2】～【8】)と回答した人に、「友達と知り合ったきっかけ」について聞いた。

全体では、「同級生」が89.2%で最も多く、以下、「学校の部・サークル」(31.7%)、「幼なじみ」(18.5%)と続いている。

男女別にみると、男女共1～3位は全体と同じで、1位は「同級生」(男性85.4%、女性92.8%)2位は「学校の部・サークル」(男性34.6%、女性29.0%)、3位は「幼なじみ」(男性19.1%、女性17.9%)であった。

年齢層別にみると、1～2位は全体と同じく「同級生」(12歳～14歳：89.4%、15歳～17歳：90.5%、18歳～20歳：90.6%、21歳～23歳：84.2%)が最も多く、以下、「学校の部・サークル」(12歳～14歳：23.3%、15歳～17歳：37.6%、18歳～20歳：39.8%、21歳～23歳：29.6%)と続いている。

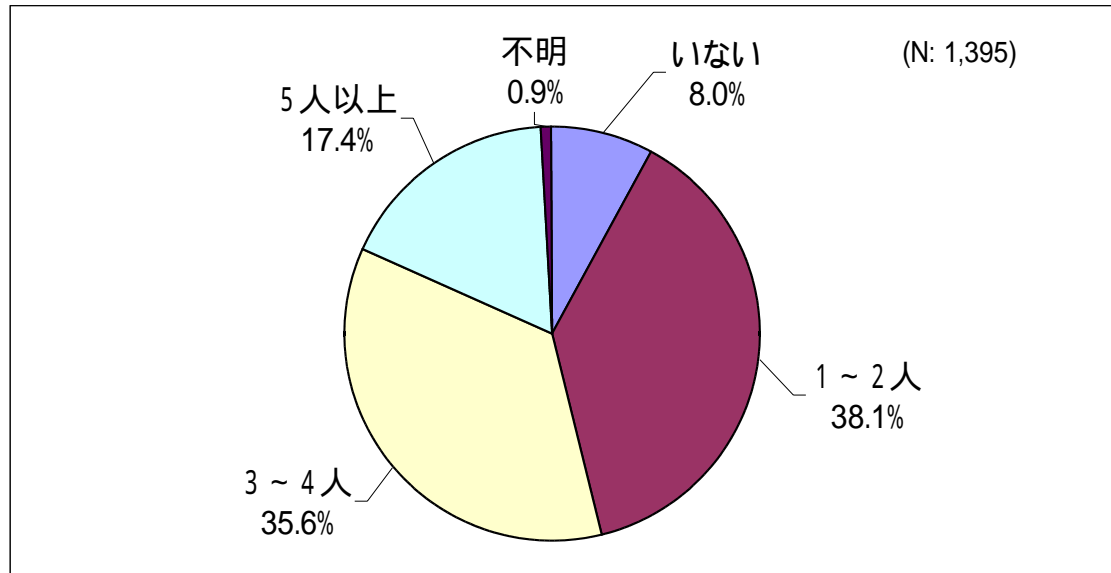
【図表 16-1-i 友達と知り合うきっかけ 前回調査(上位5位まで)】(単位：%)

	同級生	学校の部・サークル	幼なじみ	先輩、後輩	別の友達の紹介
前回調査	90.2	27.0	16.7	15.6	9.4



Q17：心を開いて話せる親友が何人くらいいるか（SA）

【図表17 心を開いて話せる親友が何人くらいいるか】



[調査結果]

「心を開いて話せる親友が何人くらいいるか」と聞いた。

全体では、「1～2人」が38.1%で最も多く、以下、「3～4人」(35.6%)、「5人以上」(17.4%)と続いている。

男女別でみると、男女順位は全体と同じで、1位は「1～2人」(男性35.6%、女性40.5%)、2位は「3～4人」(男性34.6%、女性36.5%)、3位は「5人以上」(男性19.6%、女性15.3%)であった。

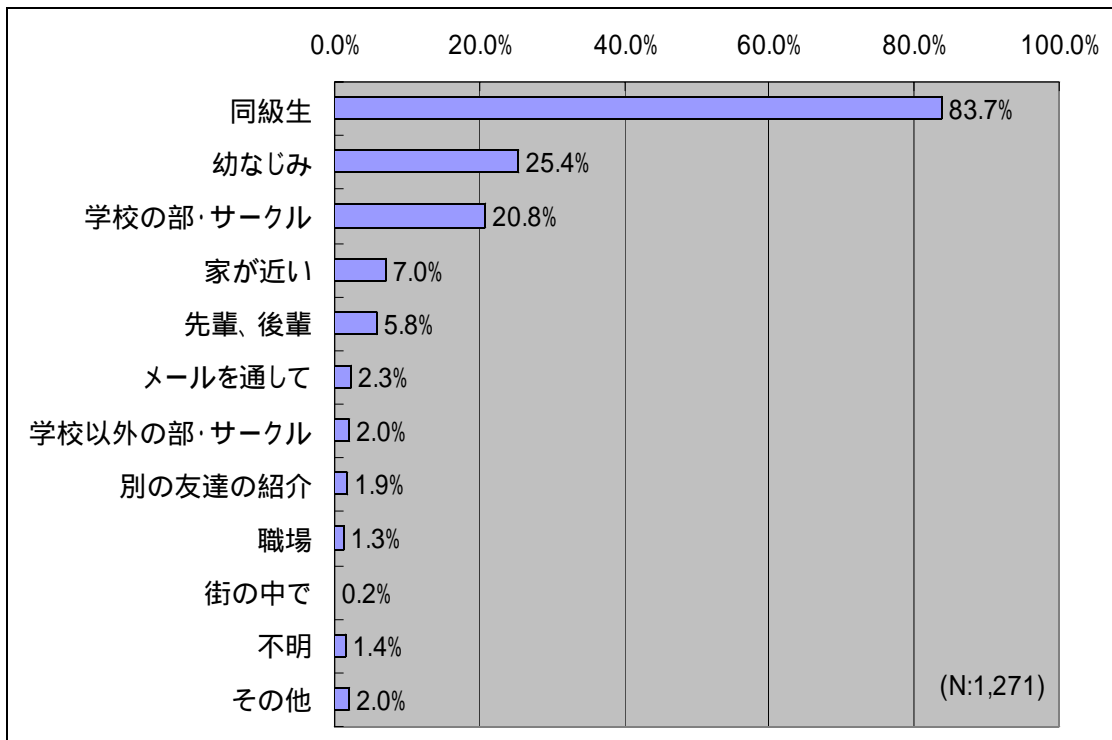
年齢層別でみると、12歳～17歳は「1～2人」(12歳～14歳：40.3%、15歳～17歳：36.7%)が最も多く、以下、「3～4人」(12歳～14歳：32.8%、15歳～17歳：35.4%)、「5人以上」(12歳～14歳：18.5%、15歳～17歳：17.6%)と続き、18歳～23歳は「3～4人」(18歳～20歳：38.1%、21歳～23歳：40.0%)、「1～2人」(18歳～20歳：37.5%、21歳～23歳：37.1%)、「5人以上」(18歳～20歳：18.8%、21歳～23歳：13.3%)と続いている。

【図表17-i 友達の数 前回調査と今回調査】(単位：%)

「親友」の数	いない		1～2人		3～4人		5人以上	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回
全体	6.7	8.0	40.1	38.1	34.5	35.6	17.8	17.4
男性	8.2	8.9	37.7	35.6	35.1	34.6	18.2	19.6
女性	5.4	7.0	42.3	40.5	33.9	36.5	17.5	15.3

Q17-1：親友と知り合ったきっかけ（MA）

【図表17-1 親友と知り合ったきっかけ】



[調査結果]

Q17で「1～2人」、「3～4人」及び「5人以上」と回答した人に、「親友と知り合ったきっかけ」について聞いた。

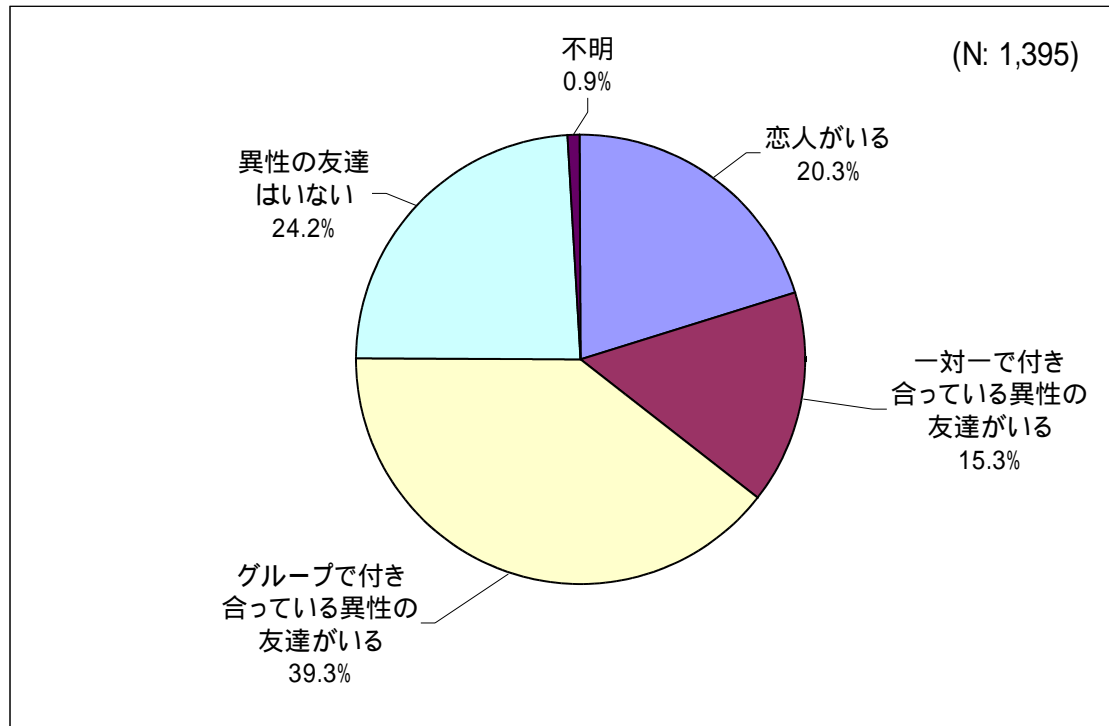
全体では、「同級生」が83.7%で最も多く、以下、「幼なじみ」(25.4%)、「学校の部・サークル」(20.8%)と続いている。

男女別にみると、男女共1～3位は全体と同じで、1位は「同級生」(男性80.6%、女性86.6%)、2位は「幼なじみ」(男性27.1%、女性23.9%)、3位は「学校の部・サークル」(男性24.5%、女性17.5%)であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「同級生」が86.2%で最も多く、以下、「幼なじみ」(26.3%)、「学校の部・サークル」(16.1%)と続き、15歳～17歳は「同級生」が83.1%で最も多く、以下、「幼なじみ」(31.2%)、「学校の部・サークル」(24.1%)と続き、18歳～20歳は「同級生」が83.7%で最も多く、以下、「学校の部・サークル」(27.1%)、「幼なじみ」(19.3%)と続き、21歳～23歳は「同級生」が79.5%で最も多く、以下、「学校の部・サークル」(18.4%)、「幼なじみ」(14.2%)と続いている。

Q18：異性の友達はあるか（SA）

【図表 18 異性の友達はあるか】



[調査結果]

「異性の友達はあるか」と聞いた。

「恋人がいる」は、全体：20.3%、男性：16.1%、女性：24.3%、12歳～14歳：11.6%、15歳～17歳：21.4%、18歳～20歳：26.1%、21歳～23歳：32.4%で、男性より女性の方が高く、年齢層が上がると高くなっている。

「一対一で付き合っている異性の友達がいる」と「グループで付き合っている異性の友達がいる」を合わせた回答を「異性の友達がいる」とすると、「異性の友達がいる」は、全体：54.6%、男性：52.6%、女性：56.5%、12歳～14歳：57.2%、15歳～17歳：55.1%、18歳～20歳：56.8%、21歳～23歳：45.7%で、男性より女性の方が高くなっている。

「異性の友達はいない」は、全体：24.2%、男性：30.1%、女性：18.5%、12歳～14歳：30.6%、15歳～17歳：22.5%、18歳～20歳：16.5%、21歳～23歳：20.0%で、女性より男性の方が高くなっている。

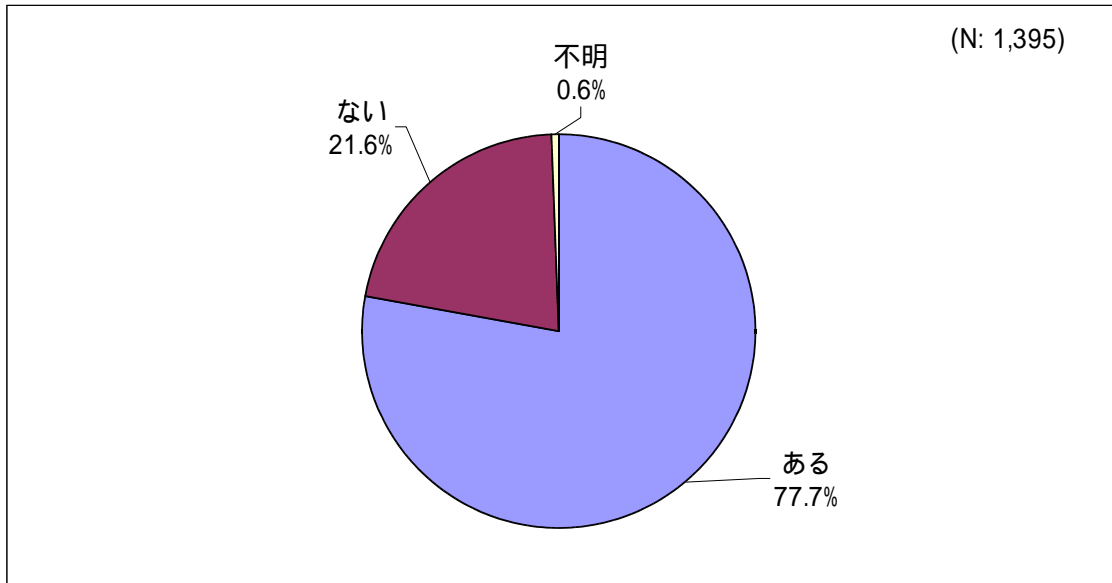
【図表 18-i 「恋人がいる」 前回調査と今回調査との比較】（単位：％）

「恋人がいる」	全体	男性	女性	中学生	高校生	大学生	社会人
前回調査	18.6	15.2	21.6	11.6	20.5	21.8	33.6
今回調査	20.3	16.1	24.3	11.6	21.4	29.9	29.4

注) 今回調査の大学生は短大、大学、大学院、予備校、専修・各種・高等専門学校生の合計、社会人は勤め人、自営、フリーランス、家事専業、無職の合計とする。

Q19：今、悩みごとがあるか（SA）

【図表19 今、悩みごとがあるか】



[調査結果]

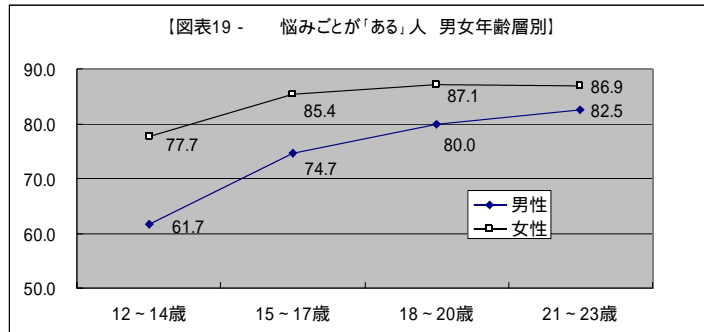
「今、悩みごとがあるか」と聞いた。

全体では、「ある」が 77.7%、「ない」が 21.6%であった。

男女別でみると、「ある」は、男性が 71.8%、女性が 83.3%で、男性より女性の方が「ある」が高くなっている。

男女年齢層別にみると、男性は 21 歳～ 23 歳において「ある」が 82.5 %、女性は 18 歳～ 20 歳において「ある」が 86.9 %と最も高くなっている。(図表 19- )

Q18 の悩みごとが「ある」人の Q16 における「親友」の数は 1 ～ 2 人が最も高く 39.4 %、最も低いのは「いない」の 8.9 %であった。

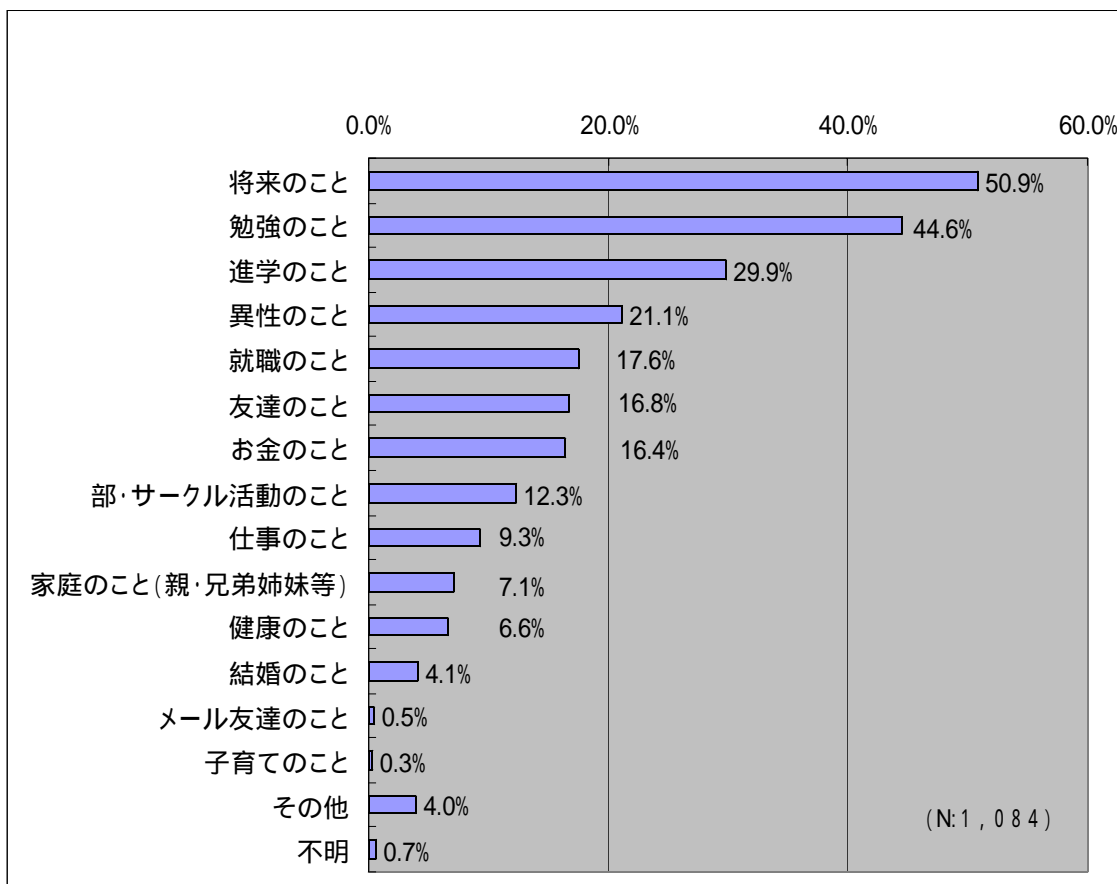


【図表9- Q18 悩みごとが「ある」人の Q16「親友」数】(単位：%)

Q18 悩みごとが「ある」	Q16「親友」の数			
	いない	1～2人	3～4人	5人以上
	8.9	39.4	35.7	16.1

## Q19 - 1 : 悩んでいることは何か (MA)

【図表19 - 1 悩んでいることは何か】



### [調査結果]

Q19で悩みごとが「ある」と回答した人に、「悩んでいることは何か」と聞いた。

全体では、「将来のこと」が50.9%で最も多く、以下、「勉強のこと」(44.6%)、「進学のこと」(29.9%)と続いている。

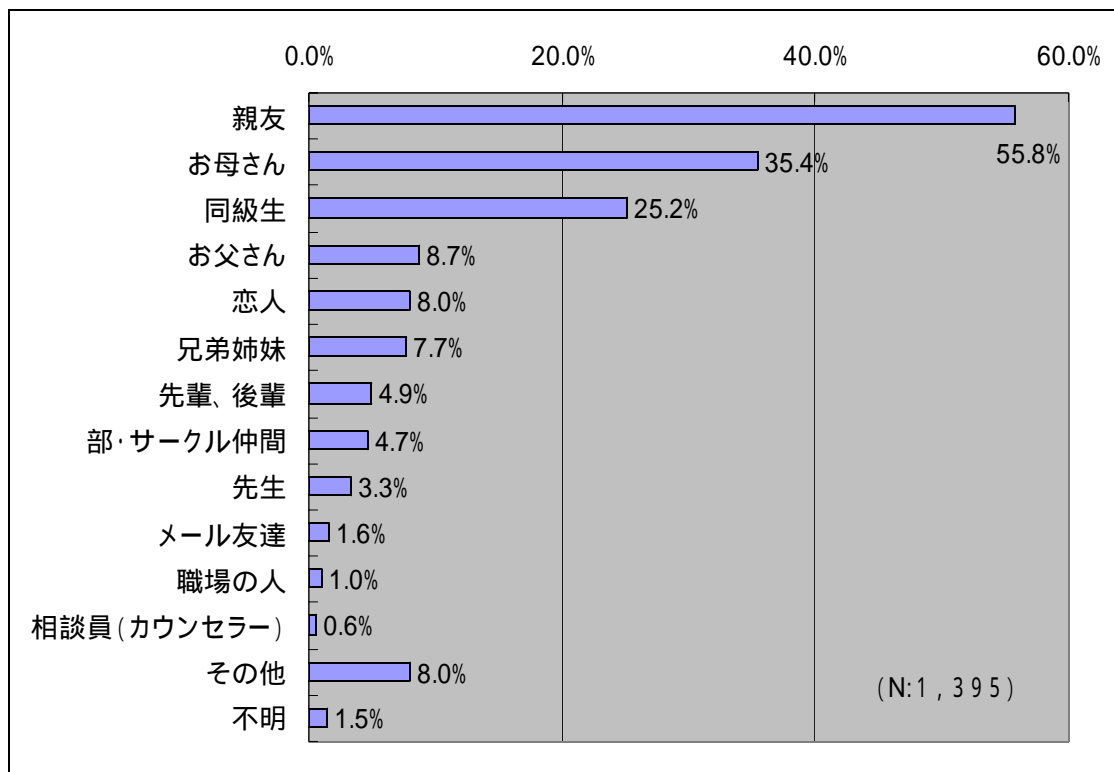
男女別にみると、男女共1～2位は全体と同じで、1位は「将来のこと」(男性55.1%、女性47.5%)、2位は「勉強のこと」(男性45.7%、女性43.6%)、3位は「進学のこと」(男性29.8%、女性30.0%)であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「勉強のこと」が63.9%で最も多く、以下、「進学のこと」(41.5%)、「将来のこと」(39.7%)と続き、15歳～17歳は「将来のこと」が56.7%で最も多く、以下、「勉強のこと」(47.0%)、「進学のこと」(41.1%)と続き、18歳～20歳は「将来のこと」が55.4%で最も多く、以下、「就職のこと」(41.2%)、「勉強のこと」(30.4%)と続き、21歳～23歳は「将来のこと」が54.5%で最も多く、以下、「仕事のこと」(34.8%)、「就職のこと」(28.7%)と続いている。

12歳～14歳では、勉強や進学のことを悩んでいる割合が高く、15歳～23歳では、将来のことや、勉強、進学、就職、仕事のことを悩んでいる割合が高くなっている。

## Q20：悩みごとがあったとき、だれに相談するか（MA）

【図表20 悩みごとがあったとき、だれに相談するか】



### [調査結果]

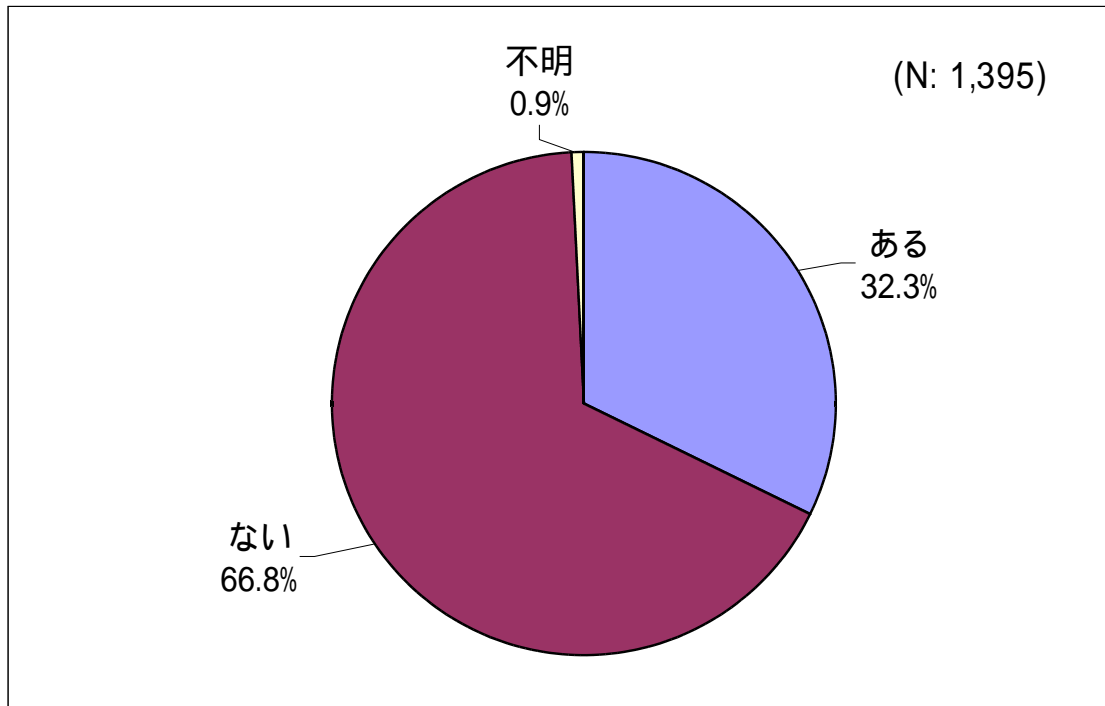
「悩みごとがあったとき、だれに相談するか」と聞いた。

全体では、「親友」が55.8%で最も多く、以下、「お母さん」(35.4%)、「同級生」(25.2%)と続いている。

男女別でみると、男女共1～3位は全体と同じで1位は「親友」(男性50.0%、女性61.4%)2位は「お母さん」(男性29.6%、女性41.0%)3位は「同級生」(男性24.9%、女性25.5%)であった。また、「親友」に悩みごとを相談する傾向は、男性より女性の方が高かった。

Q 2 1 : 「死にたい」と思ったことがあるか ( S A )

【図表 2 1 「死にたい」と思ったことがあるか】



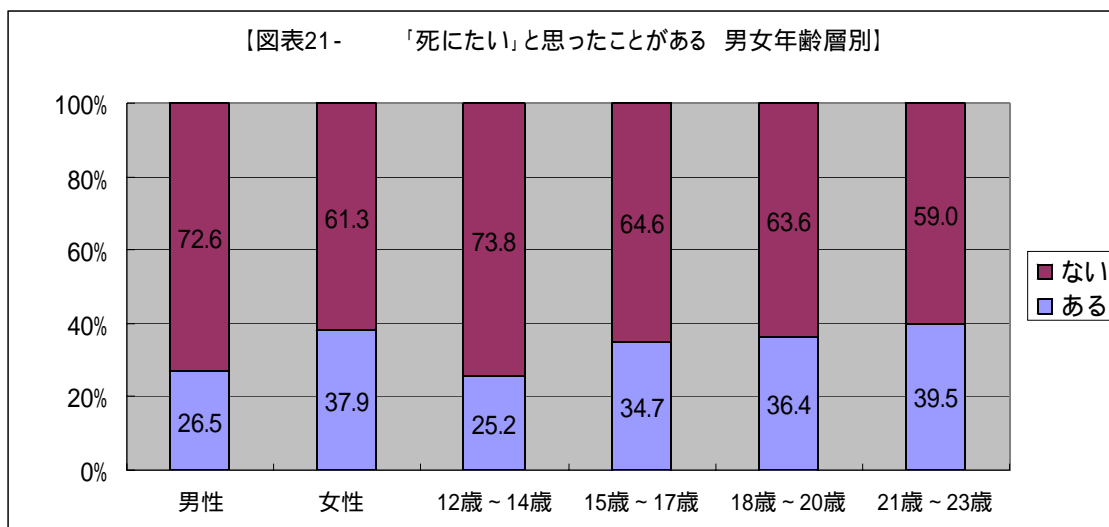
[調査結果]

「『死にたい』と思ったことがあるか」と聞いた。

全体では、「ある」が 32.3%で、「ない」が 66.8%であった。

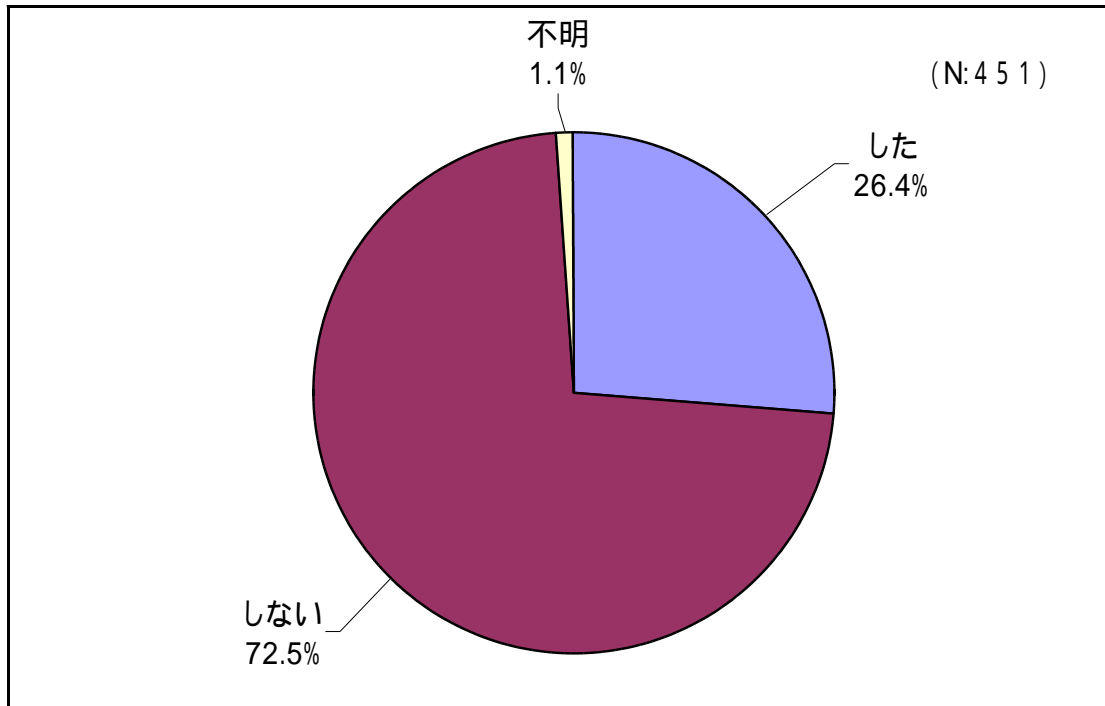
男女別でみると、「ある」は、男性が 26.5%で、女性が 37.9%で、男性より女性の方が「『死にたい』と思っている」割合が高くなっている。

年齢層別にみると、「ある」が 12 歳～ 14 歳で 25.2 %と最も低く、年齢層が上がるほど高くなっている。(図表 21- )



Q 2 1 - 1 : 「死にたい」と思ったとき、だれかに相談したか ( S A )

【図表 2 1 - 1 「死にたい」と思ったとき、だれかに相談したか】



[調査結果]

Q 21 で「死にたい」と思ったことが「ある」と回答した人に「「死にたい」と思ったとき、だれかに相談したか」と聞いた。

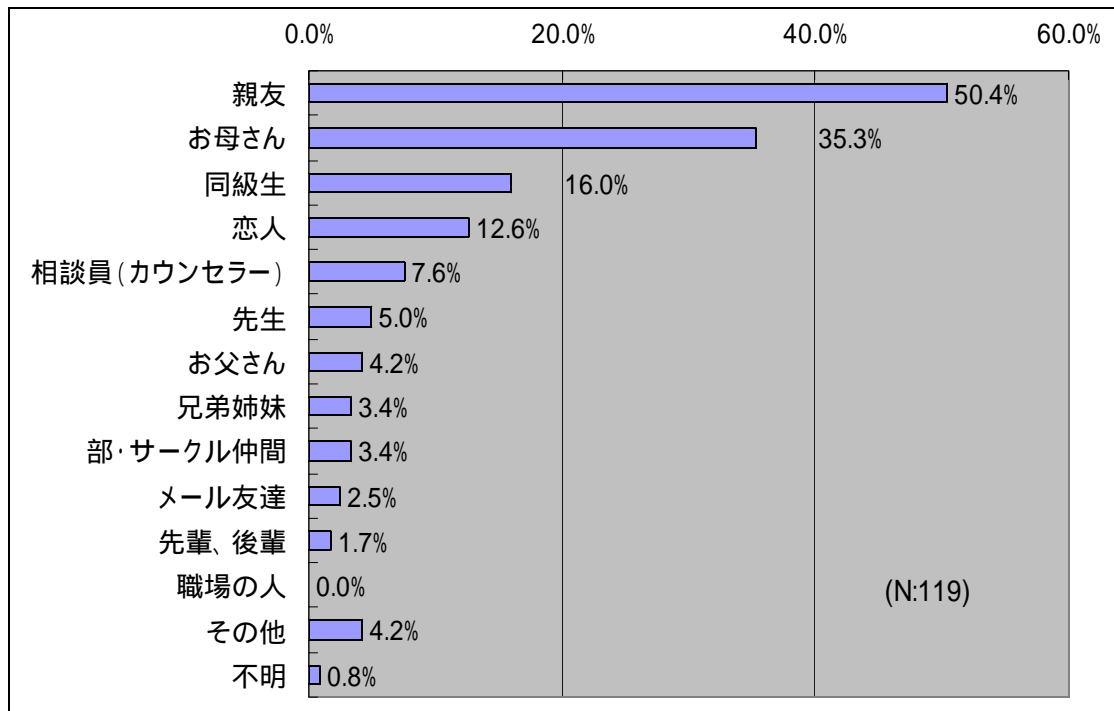
全体では、「した」が 26.4%で、「しない」が 72.5%であった。

男女別でみると、「した」は、男性が 19.3%で、女性が 31.1%であった。



Q 2 1 - 2 : 「死にたい」と思ったとき、だれに相談したか ( M A )

【図表 2 1 - 2 「死にたい」と思ったとき、だれに相談したか】



[調査結果]

Q 21-1 で「死にたい」と思ったとき、だれかに相談「した」と回答した人に、「だれに相談したか」と聞いた。

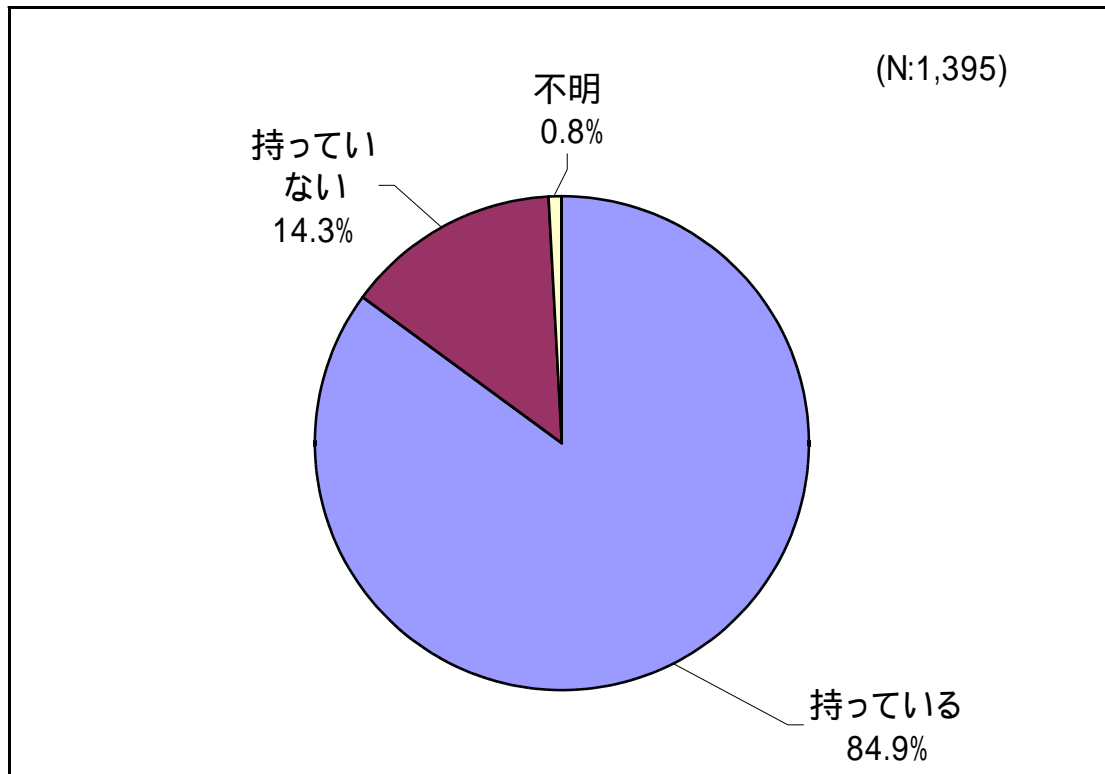
全体では、「親友」が 50.4% で最も多く、以下、「お母さん」(35.3%)、「同級生」(16.0%)と続いている。

男女別にみると、男性は「親友」が 48.6% で最も多く、以下、「お母さん」(37.1%)、「同級生」(22.9%)続き、女性は「親友」が 51.24% で最も多く、以下、「お母さん」(34.5%)と続いている。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳は「親友」が 48.3% で最も多く、以下、「お母さん」(37.9%)、「同級生」(27.6%)と続き、15 歳～ 17 歳は「親友」が 53.5% で最も多く、以下、「お母さん」(37.2%)、「恋人」と「同級生」が共に(14.0%)と続き、18 歳～ 20 歳は「親友」が 52.6% で最も多く、以下、「お母さん」(36.8%)、「恋人」と「同級生」が共に(15.8%)と続き、21 歳～ 23 歳は「親友」が 46.4% で最も多く、以下、「お母さん」(28.6%)、「恋人」(17.9%)と続いている。

Q 2 2 : 自分の携帯電話・PHSを持っているか ( S A )

【図表 2 2 自分の携帯電話・PHS を持っているか】



[調査結果]

「自分の携帯電話・PHSを持っているか」と聞いた。

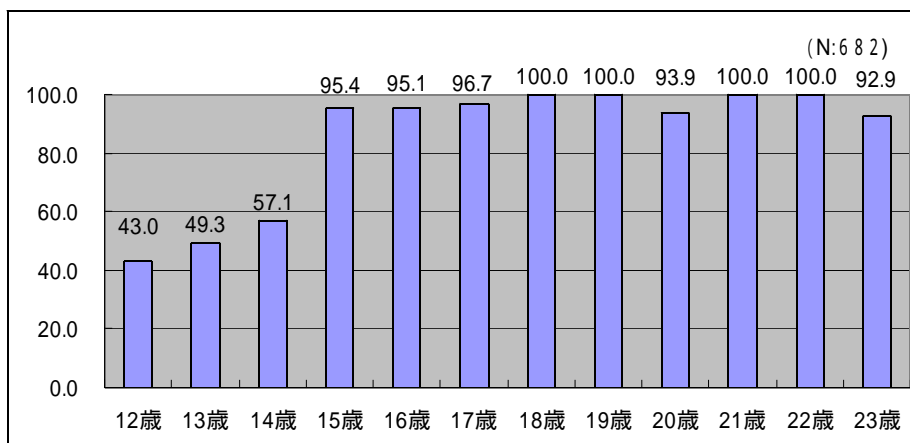
全体では、「持っている」は84.9%で、「持っていない」は14.3%であった。

男女別にみると、「持っている」は、男性が80.2%、女性が89.3%であった。

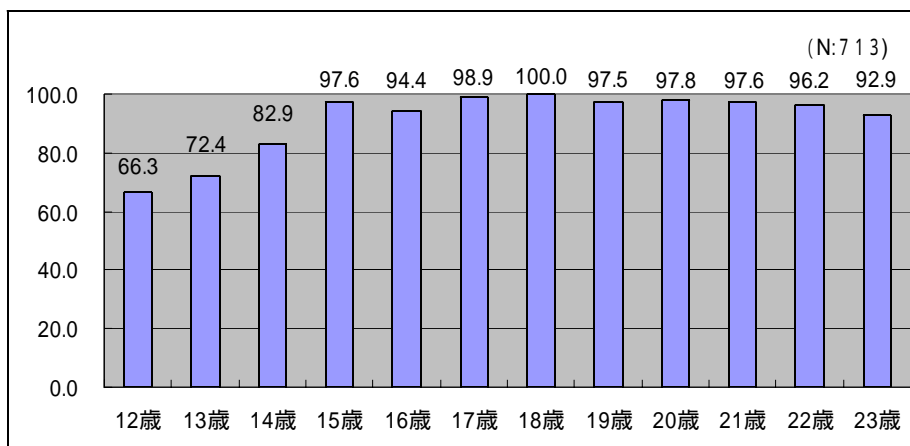
男女年齢別にみると、12歳において「持っている」は男性が43.0%、女性が66.3%で女性の所有率が圧倒的に多く、13歳と14歳においても同様の傾向が見られた。なかでも14歳女性の保有率は82.9%と低年齢ながら男性全体の保有率を超えている。

年齢層別にみると、「持っている」は、12歳～14歳(62.0%)の中学生層から15歳～17歳(96.4%)の高校生層の間で大きく増加しており、15歳～23歳においてはいずれも95.0%を超えている。(図表 22- )

【図表 22- 携帯電話・PHS の男女年齢別所有率 男性】



【図表 22- 携帯電話・PHS の男女年齢別所有率 女性】



参考：今回調査と比較すると、携帯電話の所有率は約 5 年間で大きく増加しており、特に中学生の所有率が飛躍的に増加した。(図表 22- )

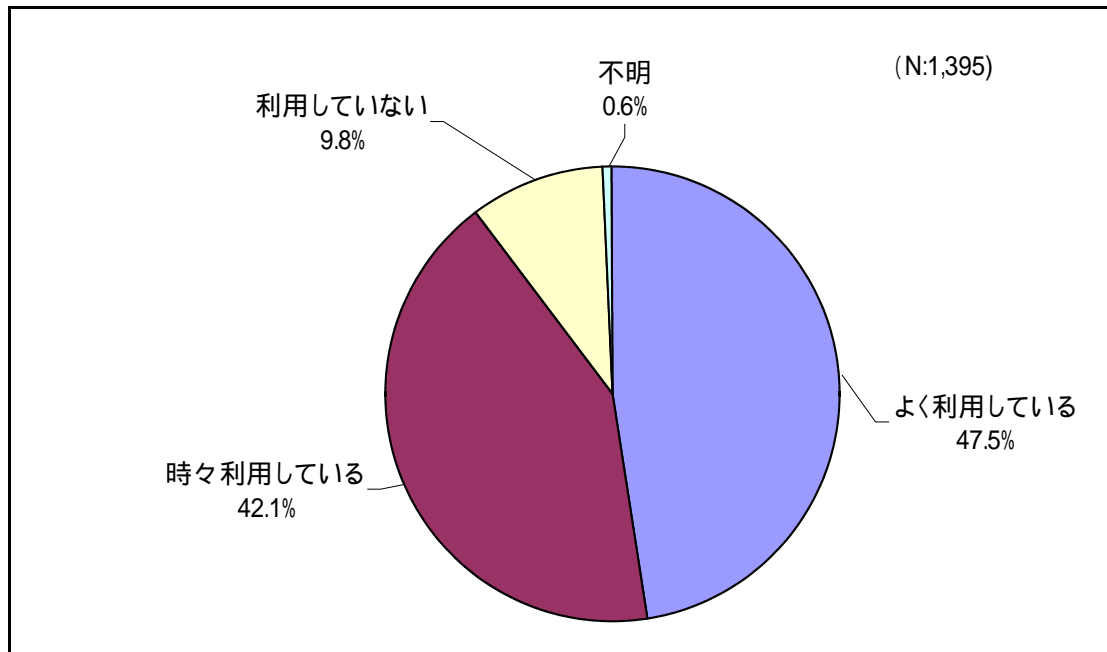
【図表 22- 携帯電話・PHS の所有率 前回調査との比較】(単位：%)

	全体	中学生	高校生	大学生	社会人
前回調査	70.9	38.2	90.6	98.2	91.4
今回調査	84.9	62.0	96.4	97.7	97.6

注) 今回調査の大学生は短大、大学、大学院、予備校、専修・各種・高等専門学校生の合計、社会人は勤め人、自営、フリーランス、家事専業、無職の合計とする。

Q23：インターネットを利用しているか（SA）

【図表23 インターネットを利用しているか】



[調査結果]

「インターネットを利用しているか」と聞いた。

全体では、「よく利用している」（47.5%）と「時々利用している」（42.1%）を合わせた回答を「利用意向」とし、「利用していない」（9.8%）を「未利用意向」とすると、「利用意向」は89.6%、「未利用意向」は9.8%であった。

男女別にみると、男性（利用意向：87.8%、未利用意向：11.9%）と、女性（利用意向：91.2%、未利用意向：7.9%）それぞれ「利用意向」が「未利用意向」を上回る回答結果となった。

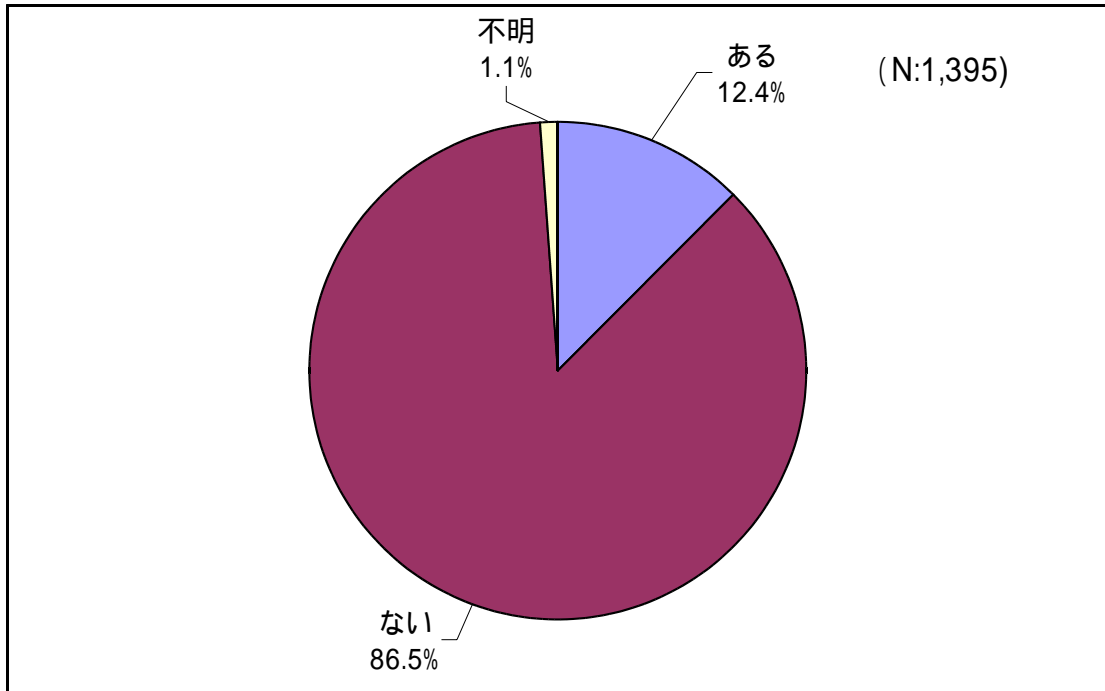
年齢層別にみると、12歳～14歳（利用意向：84.4%、未利用意向：14.8%）、15歳～17歳（利用意向：92.0%、未利用意向：7.6%）、18歳～20歳（利用意向：93.7%、未利用意向：6.3%）、21歳～23歳（利用意向：91.4%、未利用意向：7.1%）の各年齢層で「利用意向」が「未利用意向」を上回った。また、「利用意向」を前回調査と比較しても、全年齢層において大きく上回る回答結果となった。（図表23- ）

【図表23- インターネットの年齢層別利用率 前回調査との比較】（単位：%）

	12歳～14歳	15歳～17歳	18歳～20歳	21歳～23歳
前回調査	76.0	78.6	78.6	71.9
今回調査	84.4	92.0	93.7	91.4

Q 2 4 : 「インターネットカフェ」を利用したことがあるか ( S A )

【図表 2 4 「インターネットカフェ」を利用したことがあるか】



[調査結果]

「『インターネットカフェ』を利用したことがあるか」と聞いた。

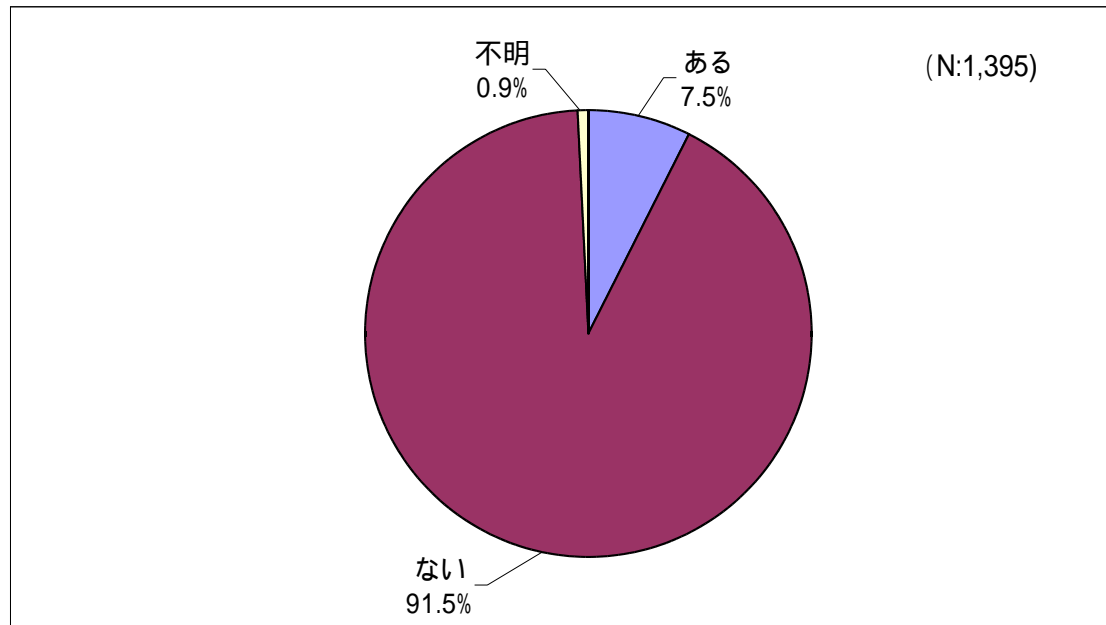
全体では、「ある」が 12.4%、「ない」が 86.5%であった。

男女別でみると、「ある」は男性が 12.9%、女性が 11.9%であった。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳で 5.2%、15 歳～ 17 歳で 6.4%、18 歳～ 20 歳で 21.0%、21 歳～ 23 歳で 36.7%と回答しており、年齢層が上がるとう「ある」割合が高くなっている。

Q25：「出会い系サイト」を閲覧したことがあるか（SA）

【図表25 「出会い系サイト」を閲覧したことがあるか】



[調査結果]

「『出会い系サイト』を閲覧したことがあるか」と聞いた。

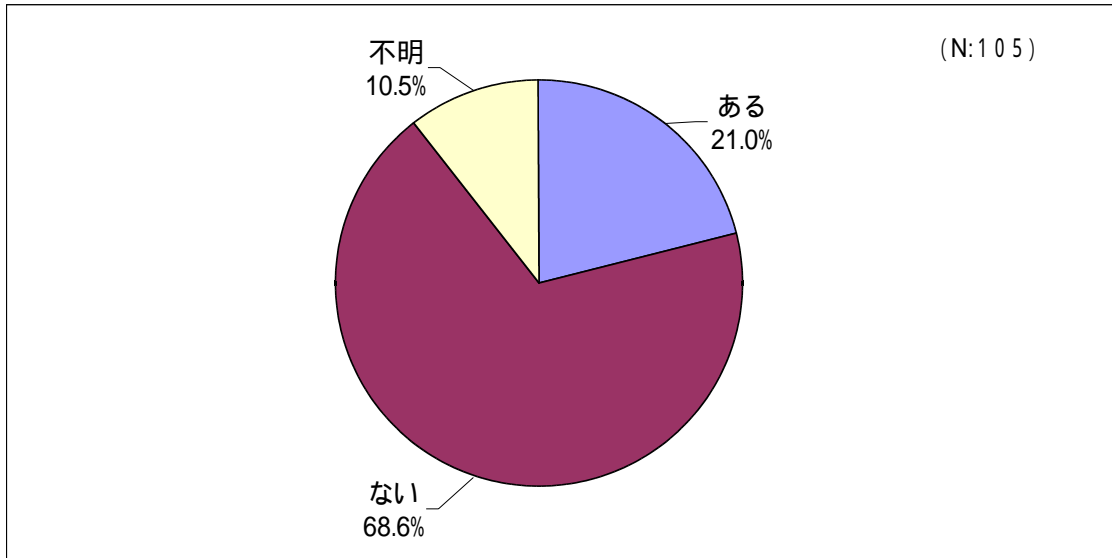
全体では、「ある」が7.5%で、「ない」が91.5%であった。

男女別にみると、「ある」は男性が7.5%、女性が7.6%で男女共にほぼ同じ割合であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳で1.9%、15歳～17歳で5.9%、18歳～20歳で10.8%、21歳～23歳で21.9%と回答しており、年齢層が上がると「ある」割合が高くなっている。

Q 25 - 1 : 「出会い系サイト」で知り合った相手と直接会ったことがあるか ( S A )

【図表 25 - 1 「出会い系サイト」で知り合った相手と直接会ったことがあるか】



[調査結果]

Q 25 で「ある」と回答した人に、「『出会い系サイト』で知り合った相手と直接会ったことがあるか」ときいた。

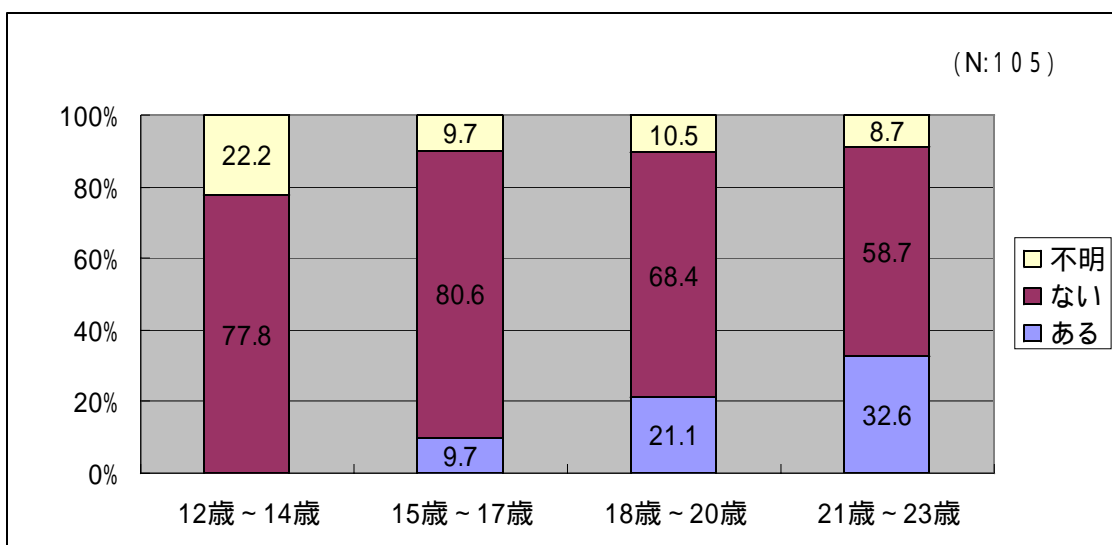
全体では、「ある」が 21.0%、「ない」が 68.6%であった。

男女別にみると、「ある」は男性が 13.7%、女性が 27.8%であった。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳で 0.0%、15 歳～ 17 歳 で 9.7%、18 歳～ 20 歳で 21.1%、21 歳～ 23 歳で 32.6%と回答しており、年齢が上がると「ある」割合が高くなっている。

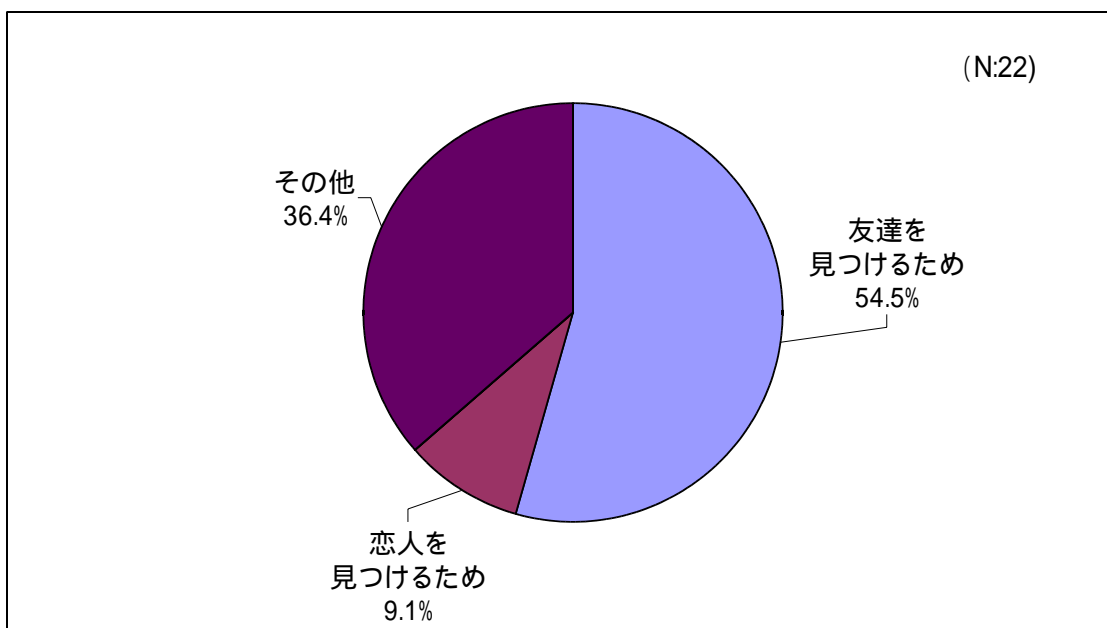
(図表 25- )

【図表 25- 「出会い系サイト」で知り合った相手と直接会ったことがあるか】



Q 25 - 2 : 直接会った理由は何か ( S A )

【図表 25 - 2 直接会った理由は何か】



[調査結果]

Q 25-1 で「ある」と回答した人に「直接会った理由は何か」と聞いた。

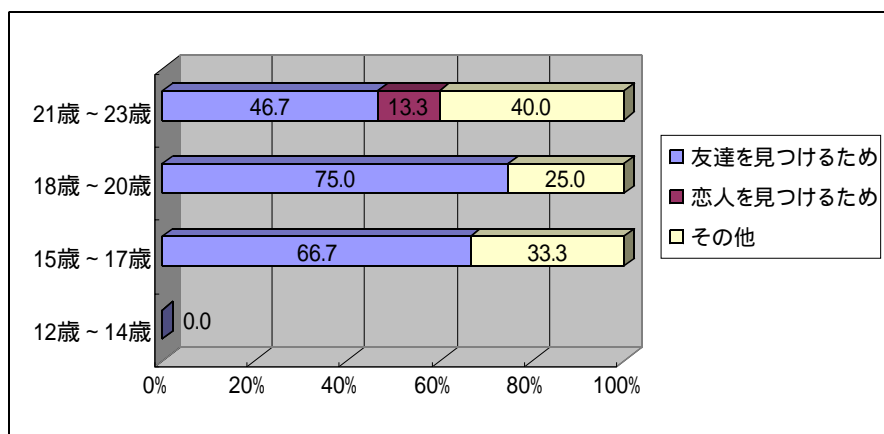
全体では、「友達を見つけるため」が 54.5 % で最も多く、以下、「その他」(36.4%)、「恋人を見つけるため」(9.1%)と続いている。

男女別にみると、男性は「友達を見つけるため」と「その他」が共に 42.9% で最も多く、以下、「恋人を見つけるため」(14.3%)、女性は「友達を見つけるため」60.0% が最も多く、以下、「その他」(33.3%)、「恋人を見つけるため」(6.7%)と続いている。

年齢層別にみると、21 歳 ~ 23 歳でのみ「恋人を見つけるため」(13.3 %) 回答があった。(図表 25-2-i)

また、前回調査では「援助交際相手を見つけるため」(6.9 %)、「話し相手を見つけるため」(11.5 %)との回答があったが、今回調査ではこの回答はなかった。

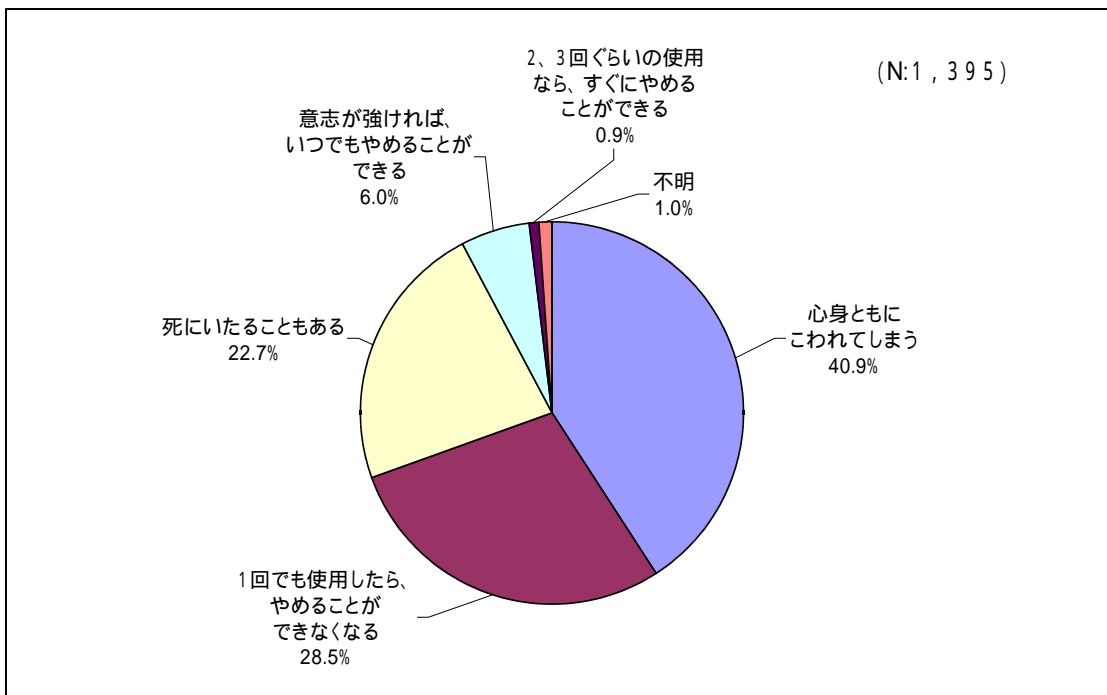
【図表 25-2-i 直接会った理由は何か 年齢層別】





## Q 2 6 : 覚せい剤などの薬物について、どう考えているか ( S A )

【図表 2 6 覚せい剤などの薬物について、どう考えているか】



### [調査結果]

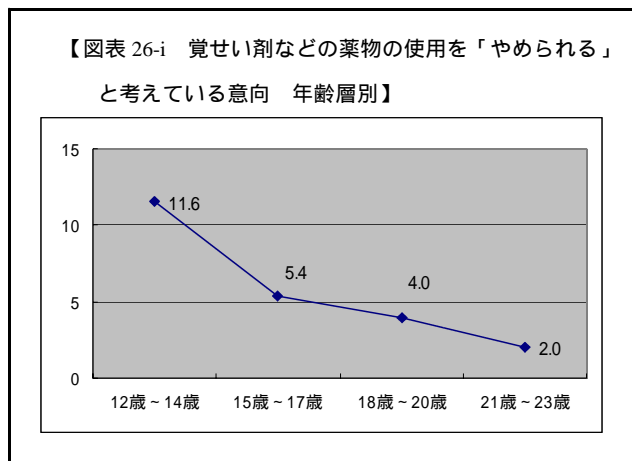
「覚せい剤などの薬物について、どう考えているか」と聞いた。

全体では、「心身ともにこわれてしまう」が 40.9%と最も多く、以下、「1回でも使用したら、やめることができなくなる」(28.5%)、「死にいたることもある」(22.7%)、「意思が強ければ、いつでもやめることができる」(6.0%)、「2、3回ぐらいの使用なら、すぐにやめることができる」(0.9%)続いている。「意思が強ければ、いつでもやめることができる」と「2、3回ぐらいの使用なら、すぐにやめることができる」を合わせた回答を「やめられる意向」とすると、「やめられる意向」は 6.9%であった。

男女別にみると、「やめられる意向」は男性が 8.1%、女性が 5.7%であり男性の方がやめられると思っている意向が高い。

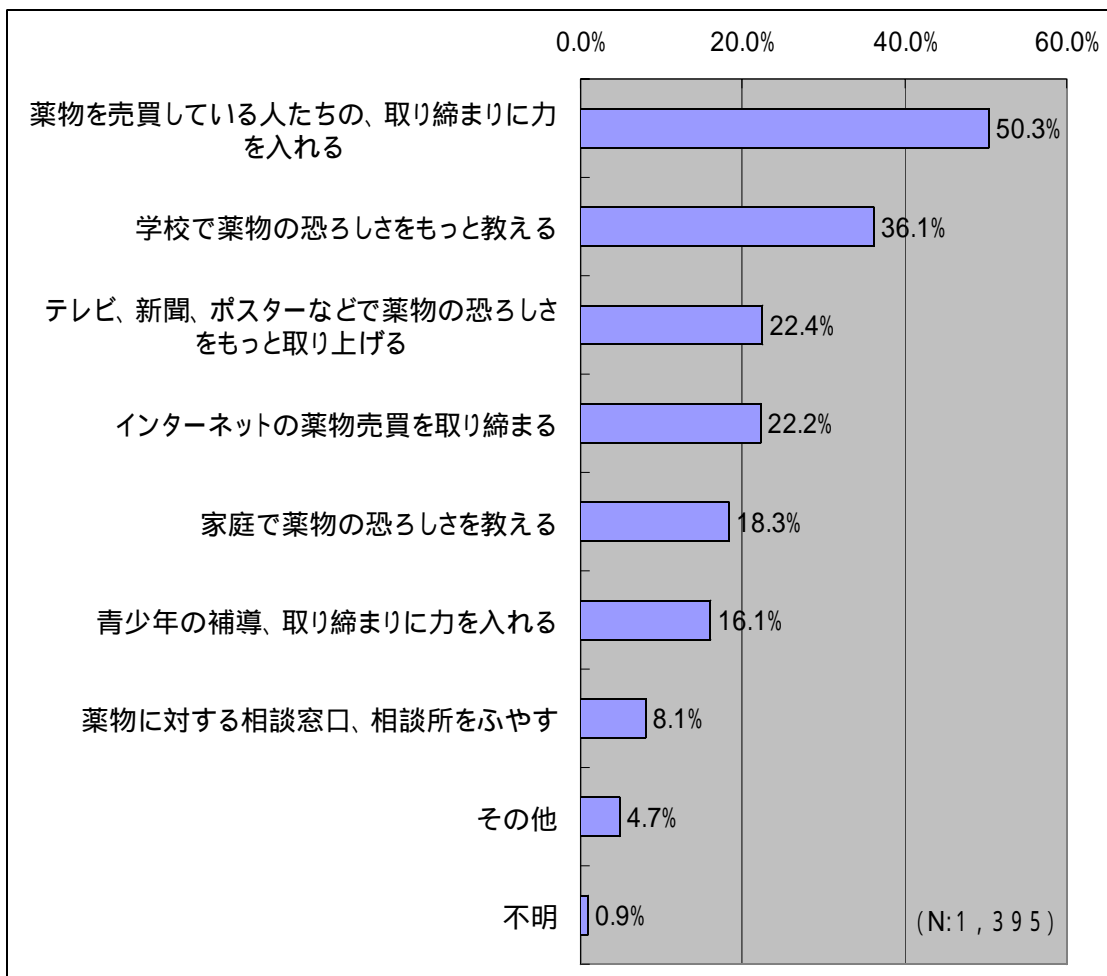
年齢層別にみると、「やめられる意向」は 12 歳～14 歳が 11.6%、15 歳～17 歳が 5.4%、18 歳～20 歳が 4.0%、21 歳～23 歳が 2.0%で、年齢が上がるとやめられると思っている傾向は低くなっている。

(図表 26-i)



Q 2 7 : 青少年を薬物から守るためには何をしたらよいか ( M A )

【図表 2 7 青少年を薬物から守るためには何をしたらよいか】



[調査結果]

「青少年を薬物から守るためには何をしたらよいか」と聞いた。

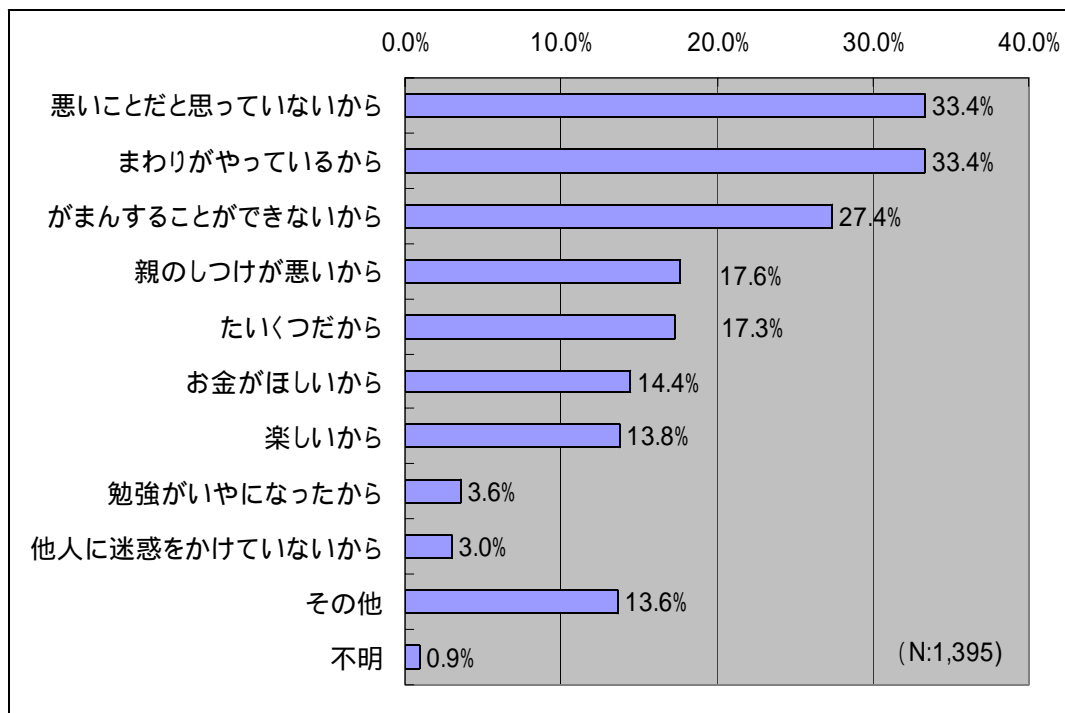
全体では、「薬物を販売している人たちの、取り締まりに力を入れる」が 50.3%で最も多く、以下、「学校で薬物の恐ろしさをもっと教える」(36.1%)「テレビ、新聞、ポスターなどで薬物の恐ろしさをもっと取り上げる」(22.4%)、「インターネットの薬物売買を取り締まる」(22.2%)と続いている。

男女別にみると、男女共 1 ~ 2 位は全体と同じで、1 位は「薬物を販売している人たちの、取り締まりに力を入れる」(男性 49.9%、女性 50.6%)2 位は「学校で薬物の恐ろしさをもっと教える」(男性 34.2%、女性 37.9%)、3 位男性「インターネットの薬物売買を取り締まる」(21.7%)、3 位女性「テレビ、新聞、ポスターなどで薬物の恐ろしさをもっと取り上げる」(23.4%)であった。

年齢層別にみると、各年齢層共に 1 ~ 2 位は全体と同じで「薬物を販売している人たちの、取り締まりに力を入れる」であった。

Q 2 8 : 万引き、タバコ、シンナー、薬物等の非行をするのはなぜか ( M A )

【図表 2 8 万引き、タバコ、シンナー、薬物等の非行をするのはなぜか】



[調査結果]

「万引き、タバコ、シンナー薬物等の非行をするのはなぜか」と聞いた。

全体では、「まわりがやっているから」と「悪いことだと思っていないから」(33.4%)が最も多く、以下「がまんすることができないから」(27.4%)、と続いている。

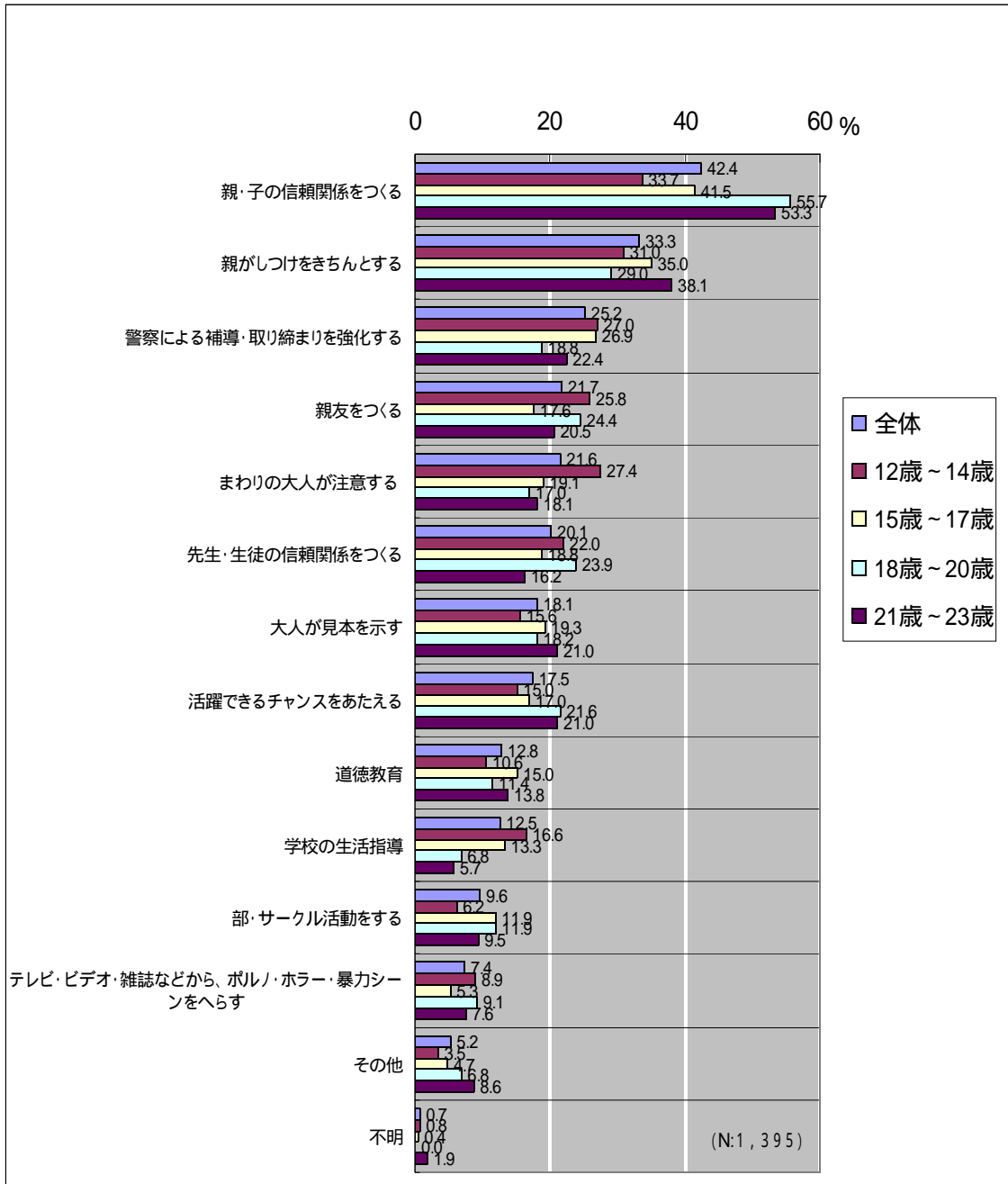
男女別にみると、男性は「悪いことだと思っていないから」34.5%が最も多く、以下、「まわりがやっているから」(32.0%)、「がまんすることができないから」(26.0%)と続き、女性は「まわりがやっているから」34.8%が最も多く、以下、「悪いことだと思っていないから」(32.4%)、「がまんすることができないから」(28.8%)であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「悪いことだと思っていないから」が34.9%で最も多く、以下、「まわりがやっているから」(30.8%)、「がまんすることができないから」(26.6%)と続き、15歳～17歳は「まわりがやっているから」が35.6%で最も多く、以下、「悪いことだと思っていないから」(32.8%)、「がまんすることができないから」(28.6%)と続き、18歳～20歳は「まわりがやっているから」が35.2%で最も多く、以下、「悪いことだと思っていないから」(33.0%)、「がまんすることができないから」(27.8%)と続き、21歳～23歳は「まわりがやっているから」が32.4%で最も多く、以下、「悪いことだと思っていないから」(31.9%)、「がまんすることができないから」(25.7%)と続いている。

参考：前回調査では、「悪いことだと思っていないから」が34.3%で最も多く、以下、「まわりがやっているから」(30.1%)と続いている。前回調査も今回調査も「悪いことだと思っていないから」(前回調査：34.3%今回調査：33.4%)が最も多かった。

Q 2 9 : 非行をなくすためには何が必要か ( M A )

【図表 2 9 非行をなくすためには何が必要か】



[調査結果]

「非行をなくすためには何が必要か」と聞いた。

全体では、「親・子の信頼関係をつくる」が 42.4%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(33.3%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」(25.2%)と続いている。

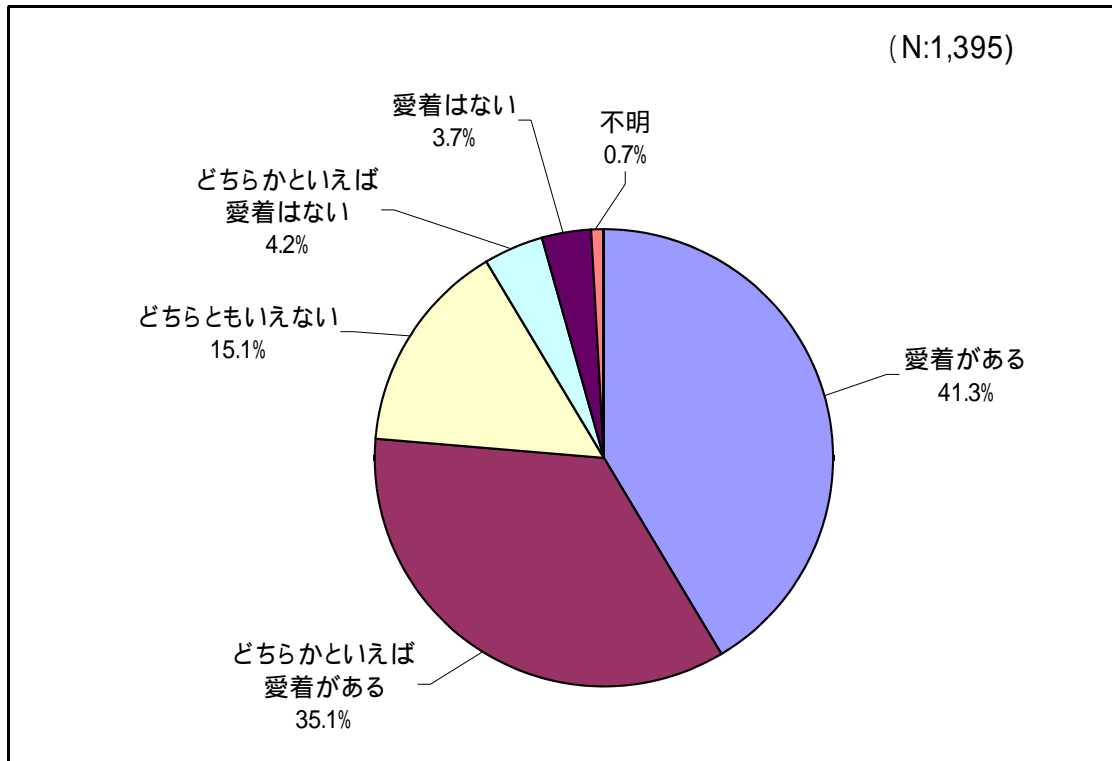
男女別にみると、男性は「親がしつけをきちんとする」が 37.5%で最も多く、以下、「親・子の信頼関係をつくる」が(33.0%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」

(27.4%)と続き、女性は「親・子の信頼関係をつくる」が 51.3%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(29.3%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」(23.1%)と続いている。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「親・子の信頼関係をつくる」が 33.7%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(31.0%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」(27.0%)と続き、15歳～17歳は「親・子の信頼関係をつくる」が 41.5%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(35.0%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」(26.9%)と続き、18歳～20歳は「親・子の信頼関係をつくる」が 55.7%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(29.0%)、「親友をつくる」(24.4%)と続き、21歳～23歳は「親・子の信頼関係をつくる」が 53.3%で最も多く、以下、「親がしつけをきちんとする」(38.1%)、「警察による補導・取り締まりを強化する」(22.4%)と続いている。

Q30：今住んでいる地域に愛着を感じるか（SA）

【図表30 今住んでいる地域に愛着を感じるか】



【調査結果】

「今住んでいる地域に愛着を感じるか」と聞いた。

全体では、「愛着がある」が(41.3%)で最も多く、以下、「どちらかといえば愛着がある」(35.1%)、「どちらともいえない」(15.1%)、「どちらかといえば愛着はない」(4.2%)、「愛着はない」(3.7%)と続いている。「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた回答を「愛着がある意向」とすると、「愛着がある意向」は76.4%であった。

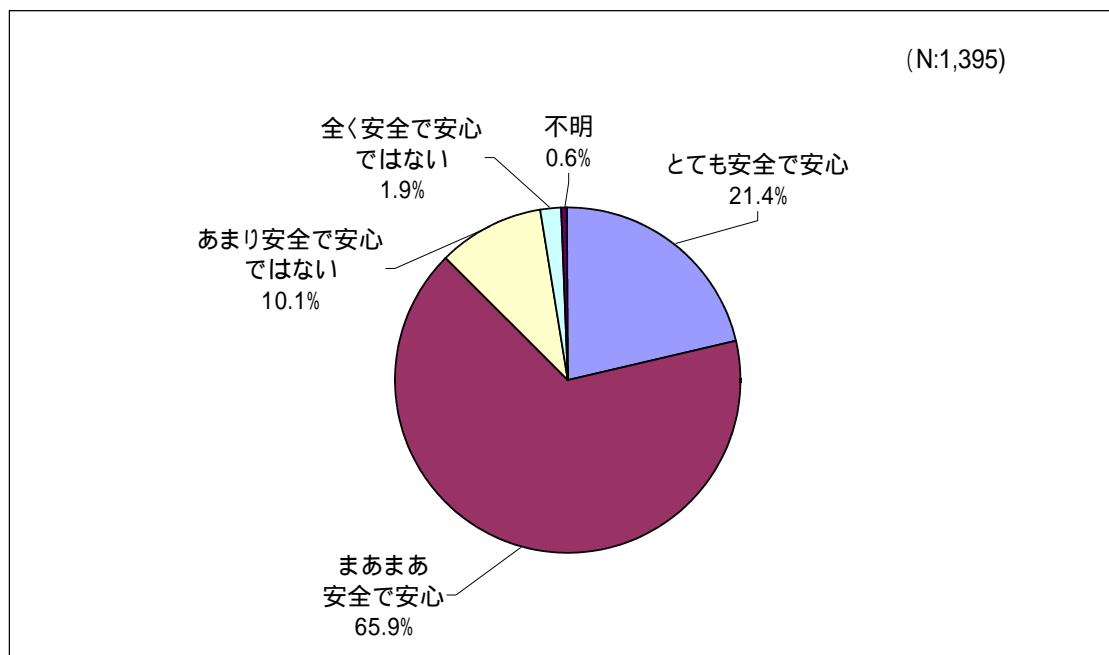
男女別にみると、「愛着がある意向」は男性が77.8%、女性が75.0%であり、女性より男性の方が「愛着がある意向」が高かった。

年齢層別にみると、「愛着がある意向」は12歳～14歳が73.0%、15歳～17歳が78.8%、18歳～20歳が80.7%、21歳～23歳が74.8%と、18歳～20歳が最も高かった。

参考：前回調査では、「愛着がある」が42.7%、「どちらかといえば愛着がある」が29.6%で「愛着がある意向」は72.3%であった。今回調査では、「愛着がある意向」は4.1ポイント増加している。

### Q 3 1 : 今住んでいる地域は、安全で安心して暮らせると感じるか ( S A )

【図表 3 1 今住んでいる地域は、安全で安心して暮らせると感じるか】



#### [調査結果]

「今住んでいる地域は、安全で安心して暮らせると感じるか」と聞いた。

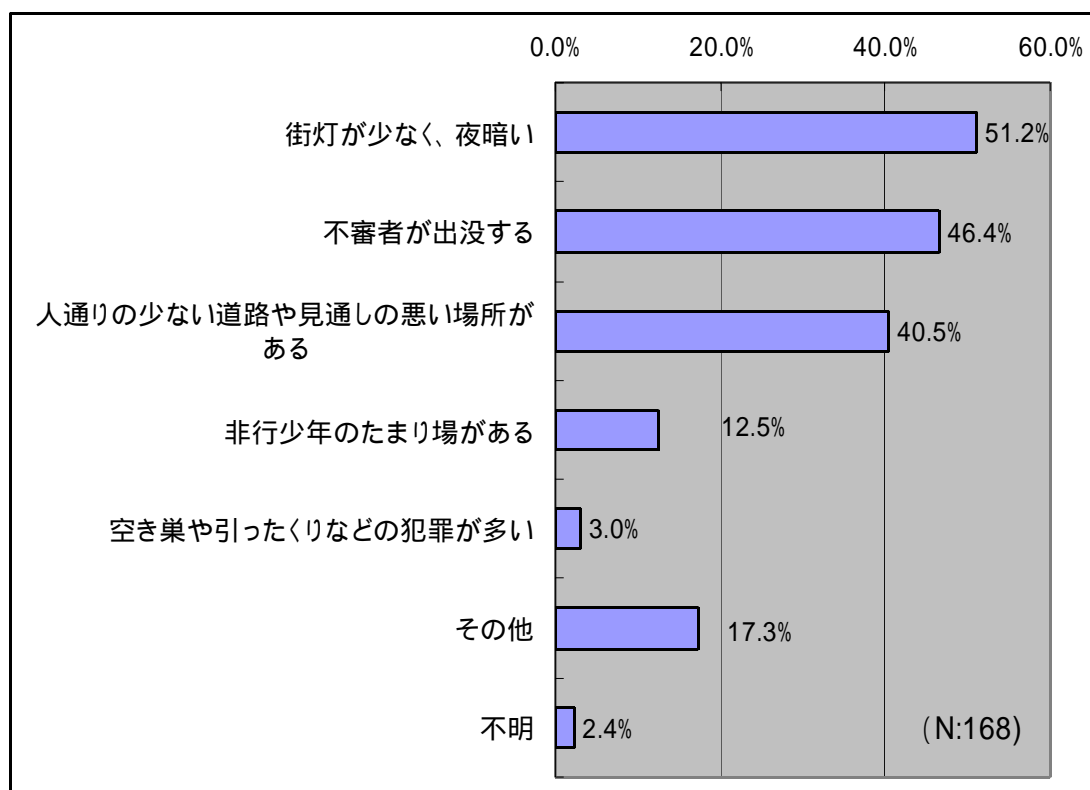
全体では、「まあまあ安全で安心」が(65.9%)で最も多く、以下、「とても安全で安心」(21.4%)、「あまり安全で安心ではない」(10.1%)、「全く安全で安心ではない」(1.9%)と続いている。「とても安全で安心」と「まあまあ安全で安心」を合わせた回答を「安心である意向」とすると、「安心である意向」は 87.3%であった。

男女別にみると、「安心である意向」は男性が 90.9%、女性が 83.8%であり、女性より男性の方が「安心である意向」が高かった。

年齢層別にみると、「安心である意向」は 12 歳～ 14 歳が 73.0%、15 歳～ 17 歳が 87.3%、18 歳～ 20 歳が 87.5%、21 歳～ 23 歳が 87.2%と、18 歳～ 20 歳が最も高かった。

Q 3 1 - 1 : 安全で安心して暮らせない理由は何か ( M A )

【図表 3 1 - 1 安全で安心して暮らせない理由は何か】



[調査結果]

Q 31 で「あまり安全で安心ではない」または「全く安全で安心ではない」と回答した人に、「安全で安心して暮らせない理由は何か」と聞いた。

全体では、「街灯が少なく、夜暗い」が 51.2%と最も多く、以下、「不審者が出没する」(46.4%)、「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」(40.5%)と続いている。

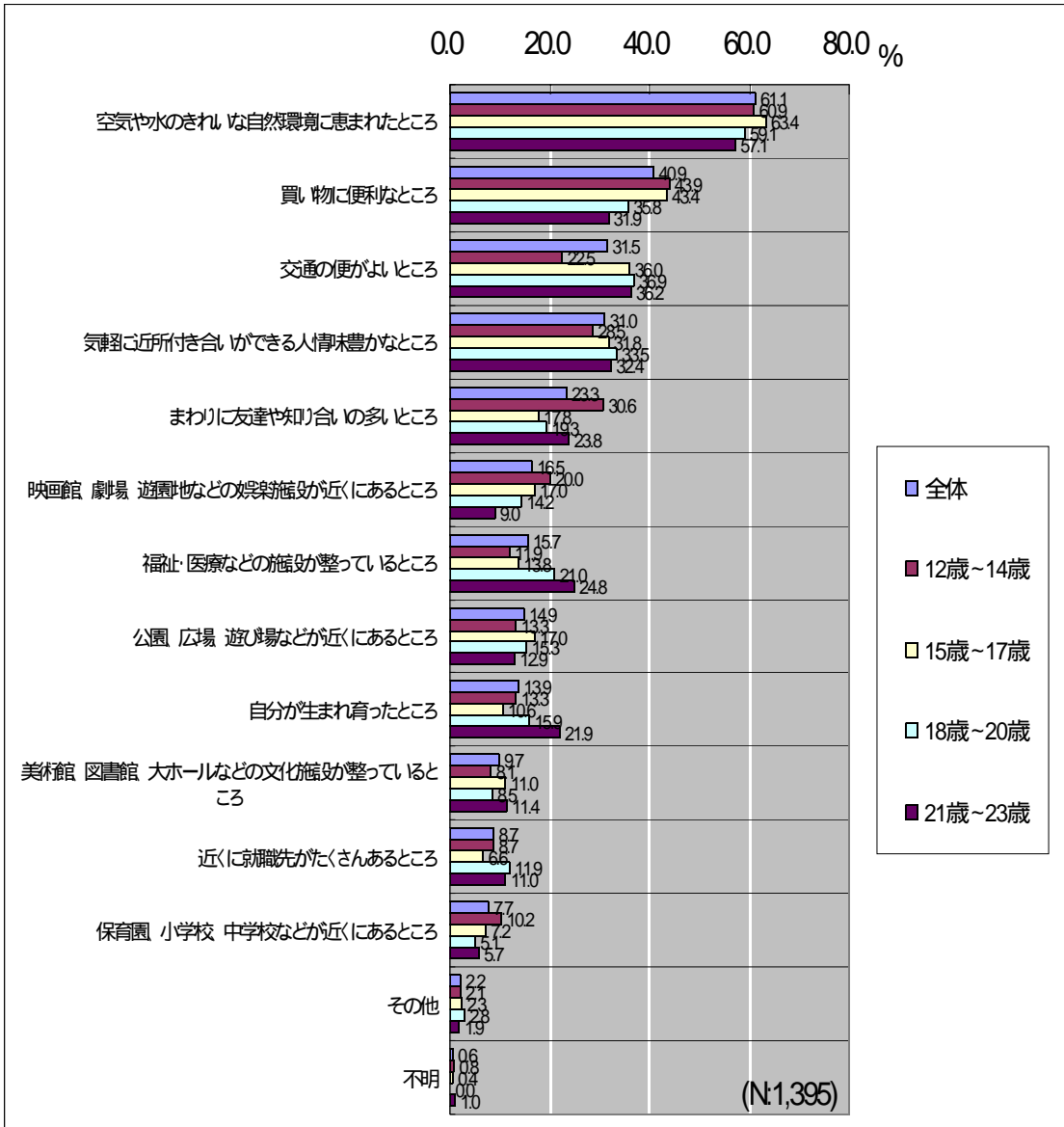
男女別にみると、男性は「不審者が出没する」と「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」が 42.1%で最も多く、以下、「街灯が少なく、夜暗い」(40.4%)、「非行少年のたまり場がある」と「その他」(22.8%)と続き、女性は「街灯が少なく、夜暗い」が 56.8%と最も多く、以下、「不審者が出没する」(48.6%)、「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」(39.6%)と続いている。

年齢層別にみると、12 歳～ 14 歳は「街灯が少なく、夜暗い」が 55.2%と最も多く、以下、「不審者が出没する」(53.4%)、「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」(46.6%)と続き、15 歳～ 17 歳は「不審者が出没する」が 54.7%と最も多く、以下、「街灯が少なく、夜暗い」(53.1%)、「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」(31.3%)と続き、18 歳～ 20 歳は「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」と「街灯が少なく、夜暗い」が共に 45.5%と最も多く、以下、「その他」(31.8%)と続き、21 歳～ 23 歳は「人通りの少ない道路や見通しの悪い場所がある」が 45.8%と最も多く、以下、「街灯が少なく、夜暗い」(41.7%)、「その他」(29.2%)と続いている。



Q 3 2 : 住みたいと思っているのは、どんなところか ( M A )

【図表 3 2 住みたいと思っているのは、どんなところか】



[調査結果]

「住みたいと思っているのは、どんなところか」と聞いた。

全体では「空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ」が 61.1%で最も多く、以下、「買い物に便利なところ」(40.9%)、「交通の便がよいところ」(31.5%)と続いている。

男女別にみると、男女共 1 ~ 3 位は全体と同じで 1 位は「空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ」(男性 65.0%、女性 57.4%)、2 位は「買い物に便利なところ」(男性 36.1%、女性 45.4%)、3 位は「交通の便がよいところ」(男性 32.3%、女性 30.7%)であった。年齢層別にみると、各年齢層で「空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ」(12歳 ~ 14歳 : 60.9%、15歳 ~ 17歳 : 63.4%、18歳 ~ 20歳 : 59.1%、21歳 ~ 23歳 : 57.1%)

で最も多く、以下、12歳～14歳では、「買い物に便利なところ」(43.9%)、「まわりに友達や知り合いの多いところ」(30.6%)と続き、15歳～17歳では、「買い物に便利なところ」(43.4%)、「交通の便がよいところ」(36.0%)と続き、18歳～20歳では、「交通の便がよいところ」(36.9%)、「買い物に便利なところ」(35.8%)と続き、21歳～23歳では、「交通の便がよいところ」(36.2%)、「気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ」(32.4%)、「買い物に便利なところ」(31.9%)と続いている。(図表 32-i)

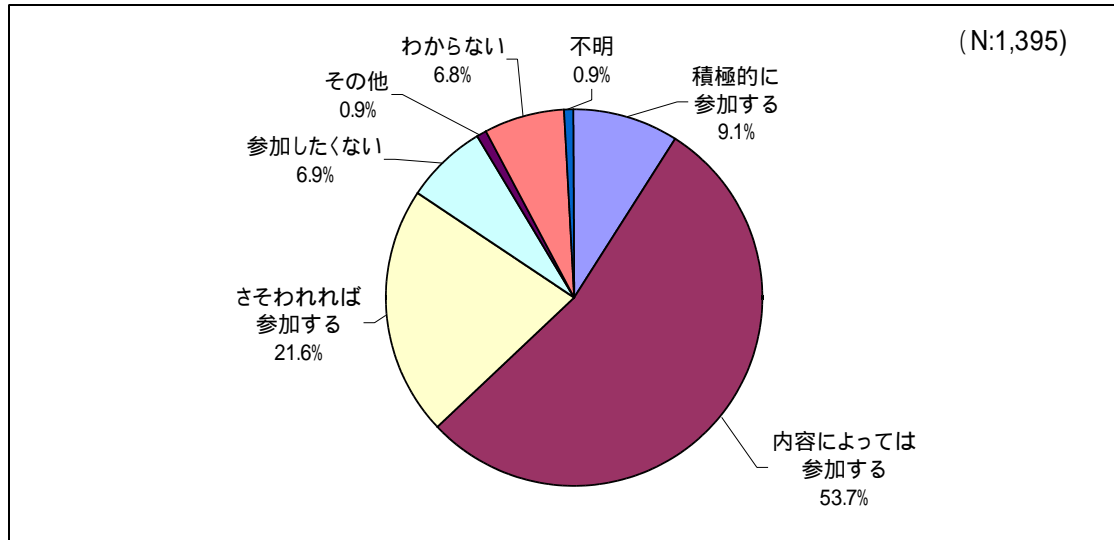
【図表 32-i 住みたいと思っているのは、どんなところか 年齢層別】(単位：%)

順位	12歳～14歳		15歳～17歳		18歳～20歳		21歳～23歳	
1	空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ	60.9	空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ	63.4	空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ	59.1	空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ	57.1
2	買い物に便利なところ	43.9	買い物に便利なところ	43.4	交通の便がよいところ	36.9	交通の便がよいところ	36.2
3	まわりに友達や知り合いの多いところ	30.6	交通の便がよいところ	36.0	買い物に便利なところ	35.8	気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ	32.4
4	気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ	28.5	気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ	31.8	気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ	33.5	買い物に便利なところ	31.9
5	交通の便がよいところ	22.5	まわりに友達や知り合いの多いところ	17.8	福祉・医療などの施設が整っているところ	21.0	福祉・医療などの施設が整っているところ	24.8
6	映画館、劇場、遊園地などの娯楽施設が近くにあるところ	20.0	公園、広場、遊び場などが近くにあるところ	17.0	まわりに友達や知り合いの多いところ	19.3	まわりに友達や知り合いの多いところ	23.8
7	公園、広場、遊び場などが近くにあるところ	13.3	映画館、劇場、遊園地などの娯楽施設が近くにあるところ	17.0	自分が生まれ育ったところ	15.9	自分が生まれ育ったところ	21.9
8	自分が生まれ育ったところ	13.3	福祉・医療などの施設が整っているところ	13.8	公園、広場、遊び場などが近くにあるところ	15.3	公園、広場、遊び場などが近くにあるところ	12.9
9	福祉・医療などの施設が整っているところ	11.9	美術館、図書館、大ホールなどの文化施設が整っているところ	11.0	映画館、劇場、遊園地などの娯楽施設が近くにあるところ	14.2	美術館、図書館、大ホールなどの文化施設が整っているところ	11.4
10	保育園、小学校、中学校などが近くにあるところ	10.2	自分が生まれ育ったところ	10.6	近くに就職先がたくさんあるところ	11.9	近くに就職先がたくさんあるところ	11.0
11	近くに就職先がたくさんあるところ	8.7	保育園、小学校、中学校などが近くにあるところ	7.2	美術館、図書館、大ホールなどの文化施設が整っているところ	8.5	映画館、劇場、遊園地などの娯楽施設が近くにあるところ	9.0
12	美術館、図書館、大ホールなどの文化施設が整っているところ	8.1	近くに就職先がたくさんあるところ	6.6	保育園、小学校、中学校などが近くにあるところ	5.1	保育園、小学校、中学校などが近くにあるところ	5.7
13	その他	2.1	その他	2.3	その他	2.8	その他	1.9
14	不明	0.8	不明	0.4	不明	0	不明	1.0

参考：前回調査では、「空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ」が63.9%で最も多く、以下「買い物に便利なところ」(43.9%)、「まわりに友達や知り合いの多いところ」(28.1%)、「気軽に近所付き合いができる人情味豊かなところ」(27.2%)、「交通の便がよいところ」(26.0%)と続いている。前回調査も今回調査も1位は「空気や水のきれいな自然環境に恵まれたところ」(前回調査：63.9%、今回調査：61.1%)で、環境の関心が高いことが窺える。

### Q 3 3 : 地域をよくするための活動があれば参加するか ( S A )

【図表 3 3 地域をよくするための活動があれば参加するか】



#### [調査結果]

「地域をよくするための活動があれば参加するか」と聞いた。

全体では、「内容によっては参加する」が 53.7%と最も多く、以下、「さそわれれば参加する」(21.6%)、「積極的に参加する」(9.1%)、「参加したくない」(6.9%)、「わからない」(6.8%)と続いている。「積極的に参加する」と「内容によっては参加する」と「さそわれれば参加する」を合わせた回答を「参加意向」とすると、「参加意向」は 84.4%であった。

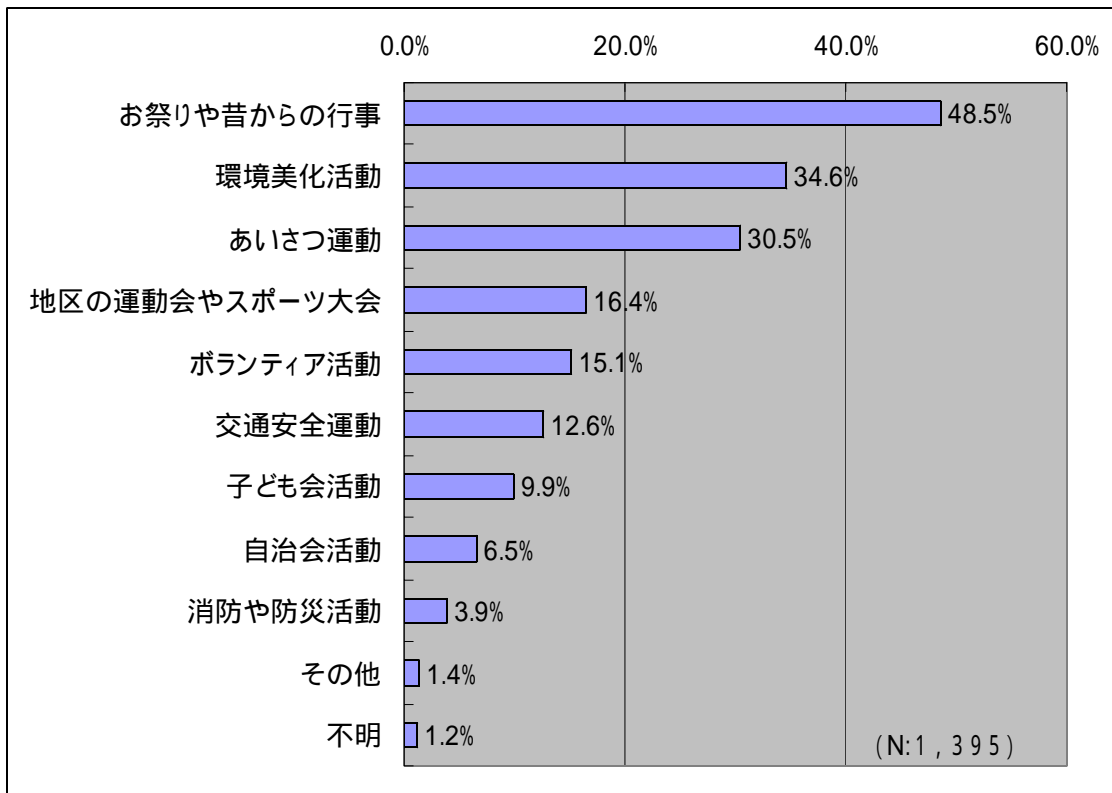
男女別にみると、「参加意向」は男性が 85.9%、女性が 83.1%で女性の方が高かった。

年齢層別にみると、「参加意向」は 12 歳～ 14 歳が 88.4%、15 歳～ 17 歳が 83.1%、18 歳～ 20 歳が 82.5%、21 歳～ 23 歳が 80.4%と、12 歳～ 14 歳が最も高かった。

参考：「積極的に参加する」(10.5%)「内容によっては参加する」(48.1%)、「さそわれれば参加する」(19.0%)を合わせた回答を「参加意向」とすると、「参加意向」は 77.6%であった。また、「参加したくない」は 10.8%であった。

Q34：地域をよくするためには、どのような活動が大切だと思うか（MA）

【図表34 地域をよくするためには、どのような活動が大切だと思うか】



【調査結果】

「地域をよくするためには、どのような活動が大切だと思うか」と聞いた。

全体では、「お祭りや昔からの行事」が48.5%で最も多く、以下、「環境美化活動」(34.6%)「あいさつ運動」(30.5%)と続いている。

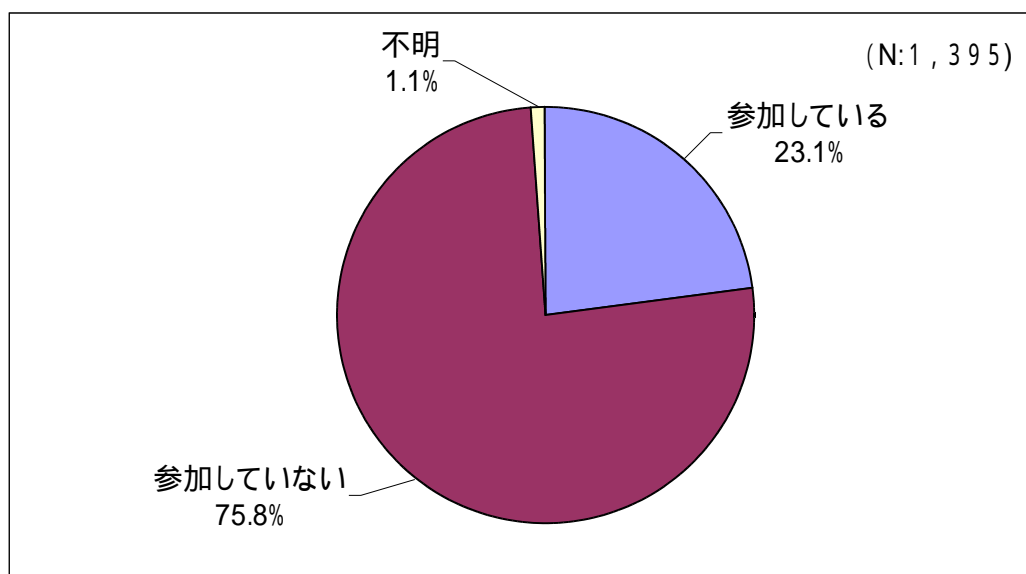
男女別にみると、男女共1～3位は全体と同じで、1位は「お祭りや昔からの行事」(男性41.5%、女性55.3%)、2位は「環境美化活動」(男性36.2%、女性33.0%)、3位は「あいさつ運動」(男性32.3%、女性28.8%)であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「お祭りや昔からの行事」が42.2%で最も多く、以下、「あいさつ運動」と「環境美化活動」で(36.2%)、「地区の運動会やスポーツ大会」(17.5%)と続き、15歳～23歳は1～3位は全体と同じで、1位は「お祭りや昔からの行事」(15歳～17歳：52.5%、18歳～20歳：49.4%、21歳～23歳：52.4%)、2位は「環境美化活動」(15歳～17歳：36.9%、18歳～20歳：30.1%、21歳～23歳：28.6%)、3位は「あいさつ運動」(15歳～17歳：27.3%、18歳～20歳：28.4%、21歳～23歳：27.1%)であった。

参考：前回調査も今回調査も1～3位同じで、1位は「お祭りや昔からの行事」(前回調査：51.5%、今回調査：48.5%)、2位は「環境美化活動」(前回調査：36.9%、今回調査：34.6%)、3位は「あいさつ運動」(前回調査：24.5%、今回調査：30.5%)と続いている。

Q 3 5 : 学校・職場以外で団体・グループ活動などに参加しているか ( S A )

【図表 3 5 学校・職場以外で団体・グループ活動などに参加しているか】



[調査結果]

「学校・職場以外で団体・グループ活動などに参加しているか」と聞いた。

全体では、「参加している」が 23.1%、「参加していない」が 75.8%であった。

男女別にみると、男性の 26.7%、女性の 19.6%が「参加している」と回答している。また、男性の 72.1%、女性の 79.2%が「参加していない」と回答しており、女性より男性の参加率が高いことが窺える。

年齢層別にみると、「参加している」は 12 歳～ 14 歳が 30.8%、15 歳～ 17 歳が 15.7%、18 歳～ 20 歳が 24.4%、21 歳～ 23 歳が 22.9%と、12 歳～ 14 歳の参加率が高く、15 歳～ 17 歳の参加率が低くなっている。(図表 35-i)

【図表 35-i 学校・職場以外で団体・グループ活動などに参加しているか 年齢層別】(単位：%)

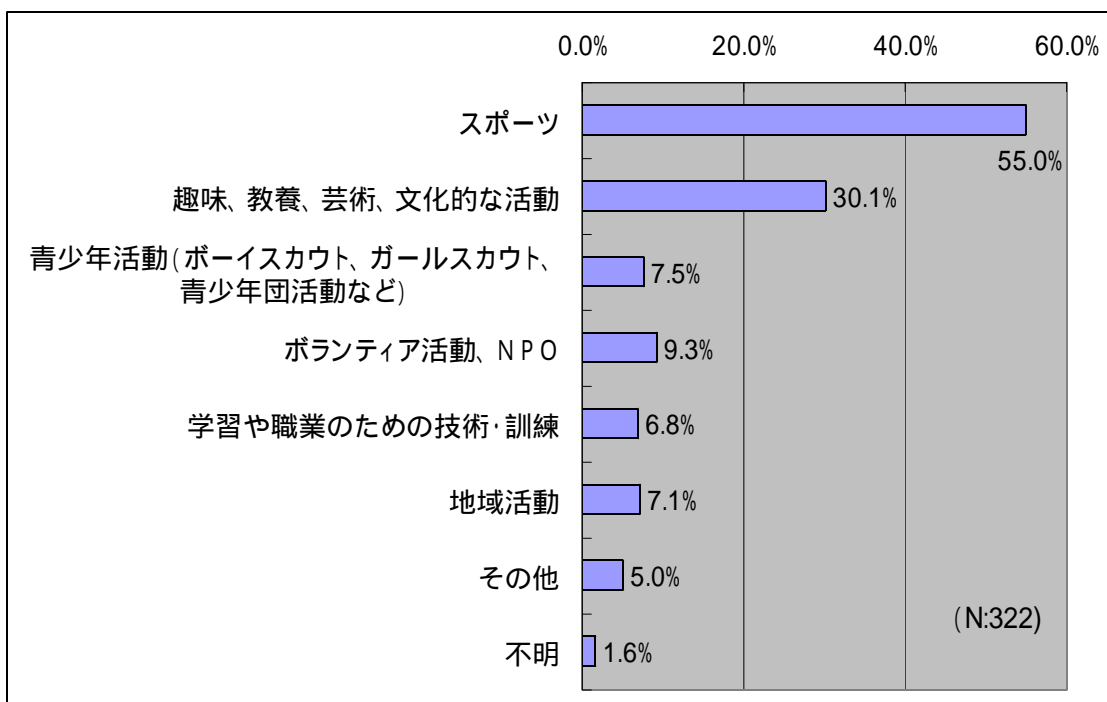
	参加している	参加していない
全体	23.1	75.8
男性	26.7	72.1
女性	19.6	79.2
12歳～14歳	30.8	67.6
15歳～17歳	15.7	83.5
18歳～20歳	24.4	74.4
21歳～23歳	22.9	76.2

参考：前回調査では、「参加している」が 22.3%、「参加していない」が 76.4%であった。

男女別にみると、「参加している」は男性が 26.4%、女性が 18.6%が「参加していない」は男性が 72.6%、女性が 80.0%であった。

Q 3 5 - 1 : 参加している団体で、どのような活動をしているか ( M A )

【図表 3 5 - 1 参加している団体で、どのような活動をしているか】



[調査結果]

Q 35 で「参加している」と回答した人に「参加している団体で、どのような活動をしているか」と聞いた。

全体では、「スポーツ」が 55.0% で最も多く、以下、「趣味、教養、芸術、文化的な活動」(30.1%)、「ボランティア活動、NPO」(9.3%)と続いている。

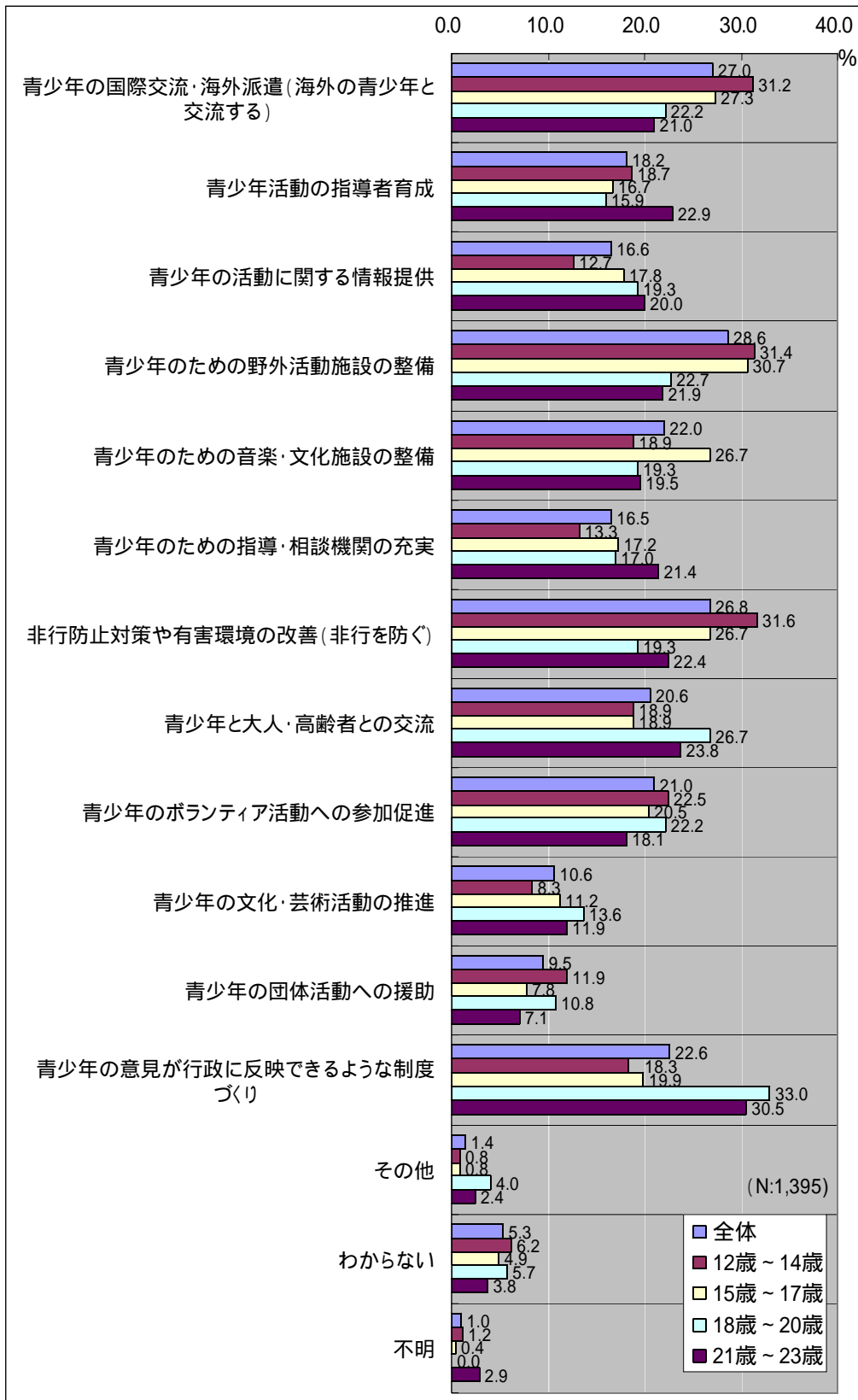
男女別にみると、男性は「スポーツ」が 70.3% で最も多く、以下、「趣味、教養、芸術、文化的な活動」(19.2%)、「ボランティア活動、NPO」(8.2%)と続き、女性は「趣味、教養、芸術、文化的な活動」が 44.3% で最も多く、以下、「スポーツ」(35.0%)、「ボランティア活動、NPO」と「学習や職業のための技術・訓練」が共に(10.7%)と続いている。

年齢層別にみると、各年齢 1 ~ 2 位は全体と同じで、1 位は「スポーツ」(12 歳 ~ 14 歳 : 56.1%、15 歳 ~ 17 歳 : 49.4%、18 歳 ~ 20 歳 : 62.8%、21 歳 ~ 23 歳 : 54.2%)、2 位は「趣味、教養、芸術、文化的な活動」(12 歳 ~ 14 歳 : 29.1%、15 歳 ~ 17 歳 : 31.3%、18 歳 ~ 20 歳 : 25.6%、21 歳 ~ 23 歳 : 35.4%)であった。

参考：前回調査では、「スポーツ」が 55.9%、で最も多く、以下、「趣味、教養、芸術、文化的な活動」(27.2%)、「ボランティア活動、NPO」(9.6%)、「地域活動」(8.5%)、「青少年活動(ボーイスカウト、ガールスカウト、青少年団活動など)」(3.7%)、「学習や職業のための技術・訓練」(3.7%)と続いている。

Q36：青少年健全育成事業で特に力を入れていくべきことは何か（MA）

【図表36 青少年健全育成事業で特に力を入れていくべきことは何か】



#### [調査結果]

「青少年健全育成事業で特に力を入れていくべきことは何か」と聞いた。

全体では、「青少年のための野外活動施設の整備」が 28.6%で最も多く、以下、「青少年の国際交流・海外派遣」(27.0%)、「非行防止対策や有害環境の改善」(26.8%)と続いている。

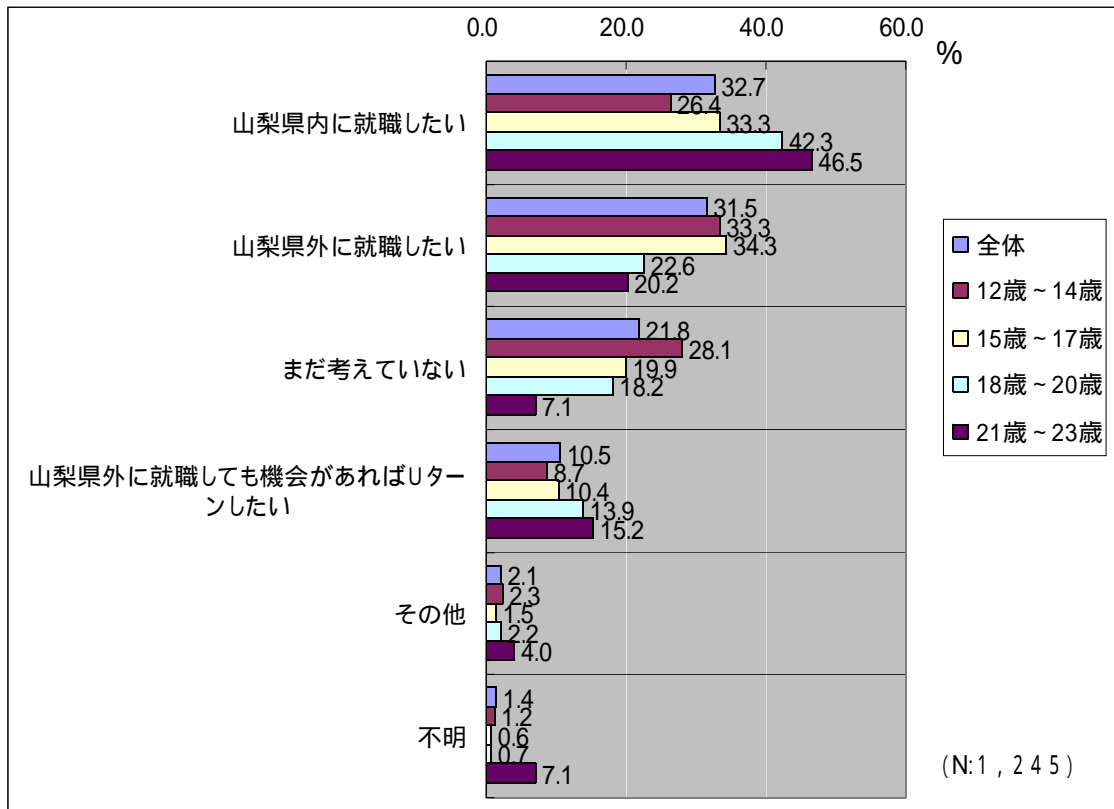
男女別にみると、男性は「青少年のための野外活動施設の整備」が 37.0%で最も多く、以下、「非行防止対策や有害環境の改善」(28.0%)と続き、女性は「青少年の国際交流・海外派遣」が 27.1%で最も多く、以下、「非行防止対策や有害環境の改善（非行を防ぐ）」(25.7%)と続いている。

年齢層別にみると、12歳～14歳は「非行防止対策や有害環境の改善」(31.6%)、15歳～17歳は「青少年のための野外活動施設の整備」(30.7%)、18歳～23歳は「青少年の意見が行政に反映できるような制度づくり」(18歳～20歳：33.0%、21歳～23歳：30.5%)が最も多く、年齢層によって異なる回答結果となった。



## Q 3 7 : 将来どこに就職したいか ( S A )

【図表 3 7 将来どこに就職したいか】



### [調査結果]

働いていない人に「将来どこに就職したいか」と聞いた。

全体では、「山梨県内に就職したい」(32.7%)を「県内意向」とし、「山梨県外に就職したい」(31.5%)と「山梨県外に就職しても機会があればUターンしたい」(10.5%)を合わせた回答を「県外意向」とすると、「県内意向」は32.7%、「県外意向」42.0%と、「県外意向」が「県内意向」を9.3%上回る結果となった。また、「まだ考えていない」は21.8%であった。

男女別にみると、男性は「県外意向」が「県内意向」を8.0%、女性は「県外意向」が「県内意向」を10.6%上回る回答結果であった。

年齢層別にみると、12歳～14歳は15.6%、15歳～17歳は11.4%「県外意向」が「県内意向」を上回り、18歳～20歳は5.8%、21歳～23歳は11.1%「県内意向」が「県外意向」を上回る結果となった。

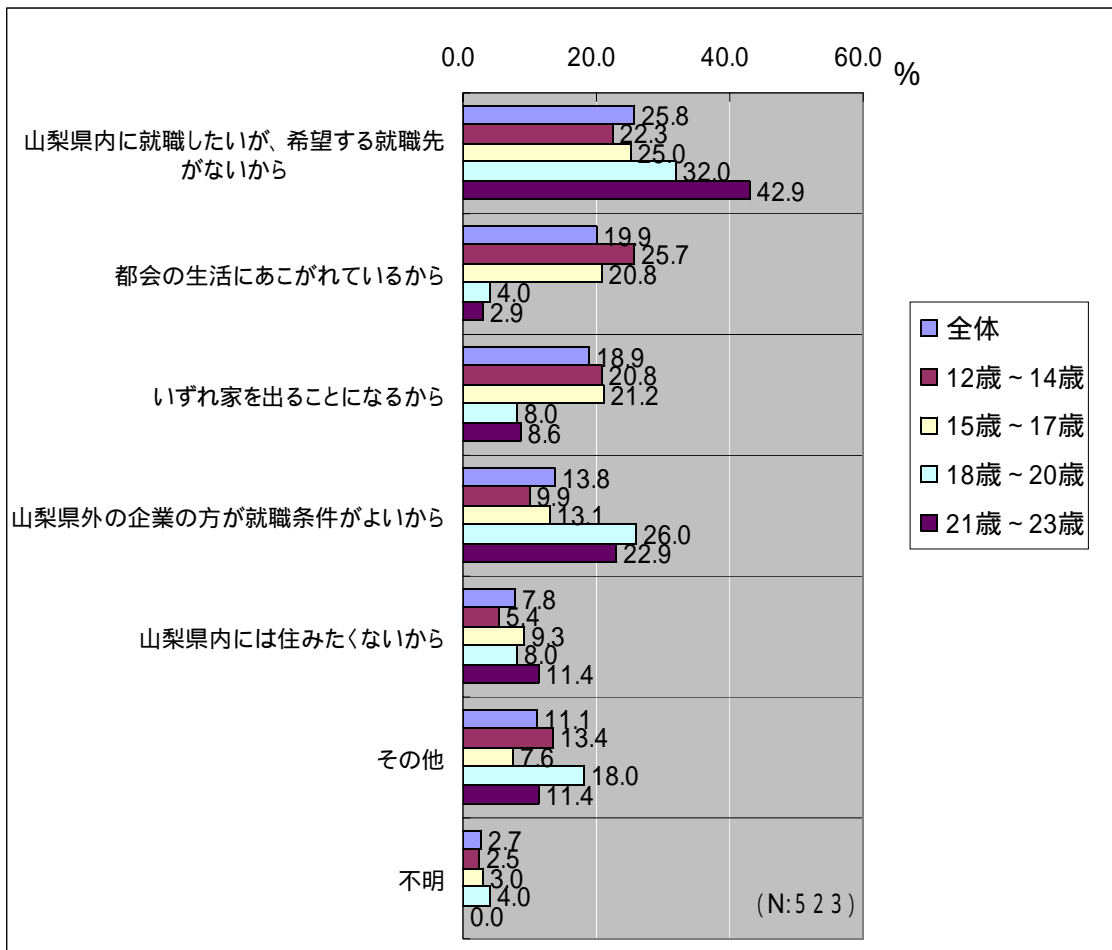
【図表 37-i 将来どこに就職したいか 男女別/年齢別】 (単位：%)

	県内意向	県外意向	その差
男性	33	41	-8
女性	32.4	43	-10.6
12歳～14歳	26.4	42	-15.6
15歳～17歳	33.3	44.7	-11.4
18歳～20歳	42.3	36.5	5.8
21歳～23歳	46.5	35.4	11.1

参考：前回調査では、「山梨県外に就職したい」が 32.2%で最も多く、以下、「山梨県内に就職したい」(30.7%)、「まだ考えていない」(24.3%)、「山梨県外に就職しても機会があればUターンしたい」(8.6%)と続いている。「県内意向」は 1.7%「県外意向」は 40.8%と、「県外意向」が「県内意向」を 10.1%上回る結果となった。

Q 37 - 1 : 山梨県外に就職したい理由 ( S A )

【図表 37 - 1 山梨県外に就職したい理由】



[調査結果]

Q 37で「山梨県外に就職したい」または「山梨県外に就職しても機会があればUターンしたい」と回答した人に、「山梨県外に就職したい理由」について聞いた。

全体では、「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」が25.8%で最も多く、以下、「都会の生活にあこがれているから」(19.9%)、「いずれ家を出ることになるから」(18.9%)と続いている。

男女別にみると、男性は「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」が23.8%で最も多く、以下、「いずれ家を出ることになるから」(20.6%)、「都会の生活にあこがれているから」(19.0%)と続き、女性は「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」が27.7%で最も多く、以下、「都会の生活にあこがれているから」(20.7%)、「いずれ家を出ることになるから」(17.3%)と続いている。

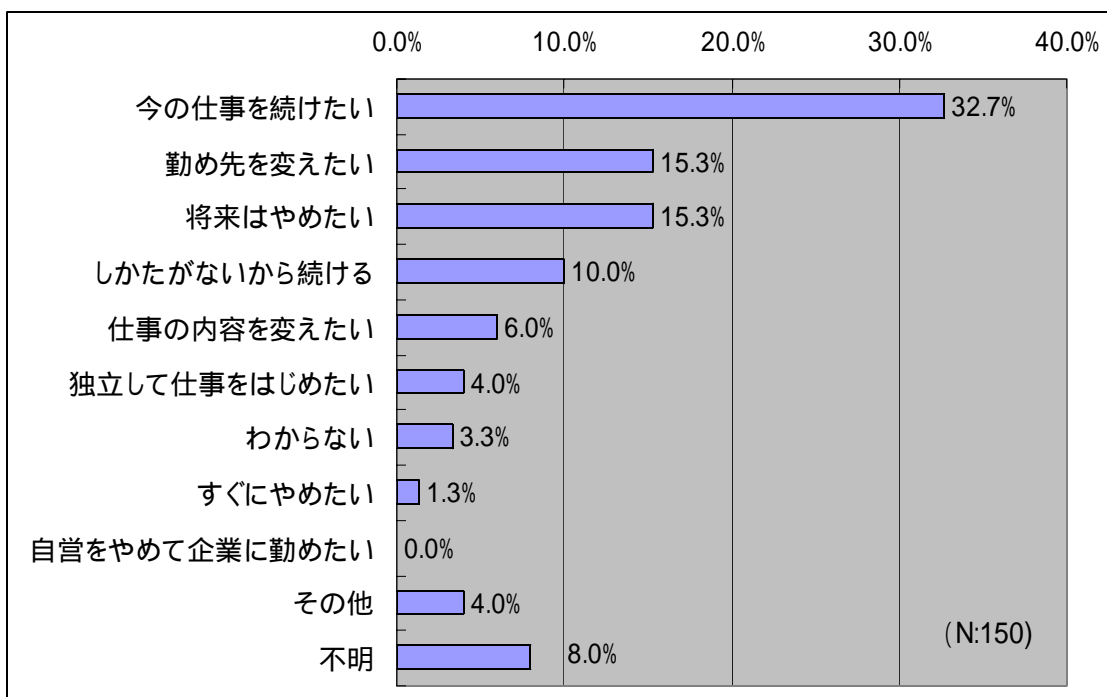
年齢層別にみると、12歳～14歳は「都会の生活にあこがれているから」が25.7%で最も多く、以下、「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」(22.3%)、「いずれ家を出ることになるから」(20.8%)と続き、15歳～17歳は「山梨県内に就職したいが、

希望する就職先がないから」が 25.0%で最も多く、以下、「いずれ家を出ることになるから」(21.2%)、「都会の生活にあこがれているから」(20.8%)、18 歳～ 20 歳は「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」が 32.0%で最も多く、以下、「山梨県外の企業の方が就職条件がよいから」(26.0%)、「いずれ家を出ることになるから」と「山梨県内には住みたくないから」が共に(8.0%)、21 歳～ 23 歳は「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」が 42.9%で最も多く、以下、「山梨県外の企業の方が就職条件がよいから」(22.9%)、「山梨県内には住みたくないから」(11.4%)であった。

参考：前回調査では、「都会の生活にあこがれているから」が 24.1%で最も多く、以下、「いずれ家を出ることになるから」(22.1%)、「山梨県内に就職したいが、希望する就職先がないから」(19.7%)と続いている。

### Q38：今の仕事について、どう考えているか（SA）

【図表38 今の仕事について、どう考えているか】



#### [調査結果]

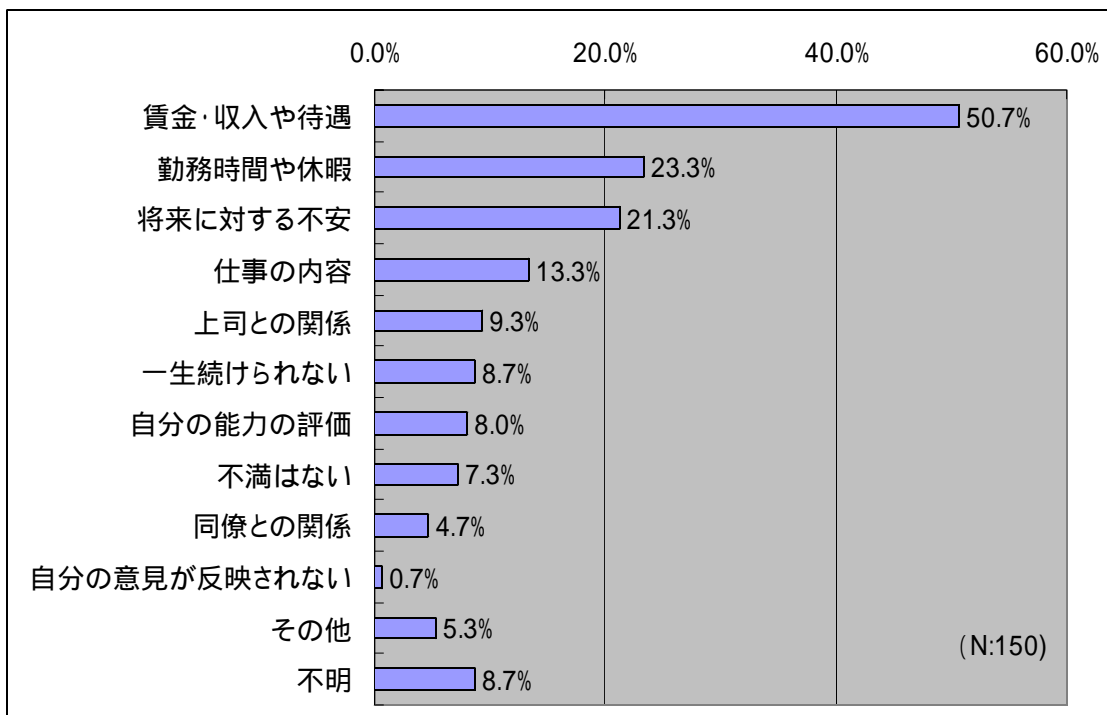
働いている人に、「今の仕事について、どう考えているか」と聞いた。

全体では、「今の仕事を続けたい」が 32.7%で最も多く、以下、「勤め先を変えたい」と「将来はやめたい」が共に（15.3%）、「しかたがないから続ける」（10.0%）と続いている。

男女別にみると、男性は「今の仕事を続けたい」が 32.8%で最も多く、以下、「将来はやめたい」（16.4%）、「しかたがないから続ける」（11.9%）と続き、女性は「今の仕事を続けたい」が 32.5%で最も多く、以下、「勤め先を変えたい」（20.5%）、「将来はやめたい」（14.5%）と続いている。

Q39：今の仕事に対して不満に感じていること（MA）

【図表39 今の仕事に対して不満に感じていること】



[調査結果]

働いている人に「今の仕事に対して不満に感じていること」について聞いた。

全体では、「賃金・収入や待遇」が50.7%と最も多く、以下、「勤務時間や休暇」(23.3%)、「将来に対する不安」(21.3%)と続いている。

男女別にみると、男性は「賃金・収入や待遇」が55.2%と最も多く、以下、「将来に対する不安」(25.4%)、「勤務時間や休暇」(22.4%)と続き、女性は「賃金・収入や待遇」が47.0%で最も多く、以下、「勤務時間や休暇」(24.1%)、「将来に対する不安」(18.1%)と続いている。

年齢層別にみると、18歳～20歳は「賃金・収入や待遇」が38.5%で最も多く、以下、「将来に対する不安」(25.6%)、「勤務時間や休暇」(20.5%)と続き、21歳～23歳は「賃金・収入や待遇」が55.0%で最も多く、以下、「勤務時間や休暇」(24.3%)、「将来に対する不安」(19.8%)と続いている。また、「不満はない」は18歳～20歳が12.8%であるのに対して、21歳～23歳は5.4%であった。

参考：前回調査では、「賃金・収入や待遇」が43.2%で最も多く、以下、「将来に対する不安」(23.4%)、「勤務時間や休暇」(19.8%)、「不満はない」(13.5%)と続いている。